

目 次

安全にお使いいただくために	
必ずお読みください	2
この取扱説明書の見かた	9

1 お使いになる前に

システム構成図	12
特長	14
セットを確認してください	15
各部の名前	16
メニューの操作について	23
メニューの項目の選択方法	23
メニュー画面での操作のしかた	23
カレンダ、時計を合わせます (カレンダー設定、時計設定)	24

2 電話をかける／受ける

電話をかけるには(外線発信)	25
ハンドセットを取りあげてかける	25
ハンドセットを置いたままかける (オフックダイヤル)	25
電話がかかってきたときは(外線着信)	27
相手の方に待っていただくには(保留)	28
同じ相手にかけ直すには(再ダイヤル)	29
ワンタッチダイヤルで電話をかけるには	30
ワンタッチダイヤルを登録する	30
ワンタッチダイヤルで電話をかける	31
電話帳に電話番号を登録するには (電話帳ダイヤル)	32
電話帳に登録する	32
名前、フリガナを入力する	35
電話帳を使って電話をかけるには (電話帳ダイヤル)	37
電話を取りつぐには(保留転送)	38
内線でお話しするには(内線通話)	39

3 留守番電話を使う

留守番電話として使うには	40
留守番電話を便利に使うには	41
留守番電話の便利な使い方	41
留守番電話をセットするには	43
留守番電話を解除するには	44
録音された用件を聞くには	45
応答メッセージを録音するには	46

4 リモコン操作する

リモコン操作でできること	47
リモート暗証番号を登録するには	48
外出先から用件を聞くには	49
番号でできるリモコン操作 (ダイレクトリモコン操作番号)	52

5 用件を転送する

用件を外出先に転送するには(転送)	53
転送とは	53
用件の転送先を登録してセットするには	54
転送先で用件を受けるには	55

6 より便利に使う

かかってきた電話にかけ直すには (着信履歴)	56
かかってきた方の電話番号と名前を登録するには (ワンタッチダイヤル/電話帳ダイヤル)	57
ワンタッチダイヤルに登録する	57
ハンドセットを置いたままで電話をかけるには (ハンズフリー通話)	58
ハンドセットを置いたままで電話を受けるには (ハンズフリー通話)	59
INSネットサービスの特長	60
i・ナンバーを利用するには	61
i・ナンバーを設定する	61
i・ナンバーの設定例	62
ナンバー・ディスプレイを利用するには	63
電話がかかってくると	63
ネーム・ディスプレイを利用するには	64
ナンバー・ディスプレイを利用した便利な機能	65
外から特定の電話機を呼び出すには (モデムダイヤルインサービス/i・ナンバー/ サブアドレス通知サービス)	66
メッセージ到着お知らせサービスを利用するには	67
メッセージ到着お知らせサービスを利用する	67
メッセージ到着お知らせサービスの設定例	68
i・ナンバーサービスを利用している場合の設定例	69
かかってきた電話を他の外線へ転送するには (転送電話)	71
転送電話とは	71
転送電話を設定するには(転送電話)	72
転送先の外線を設定する	72

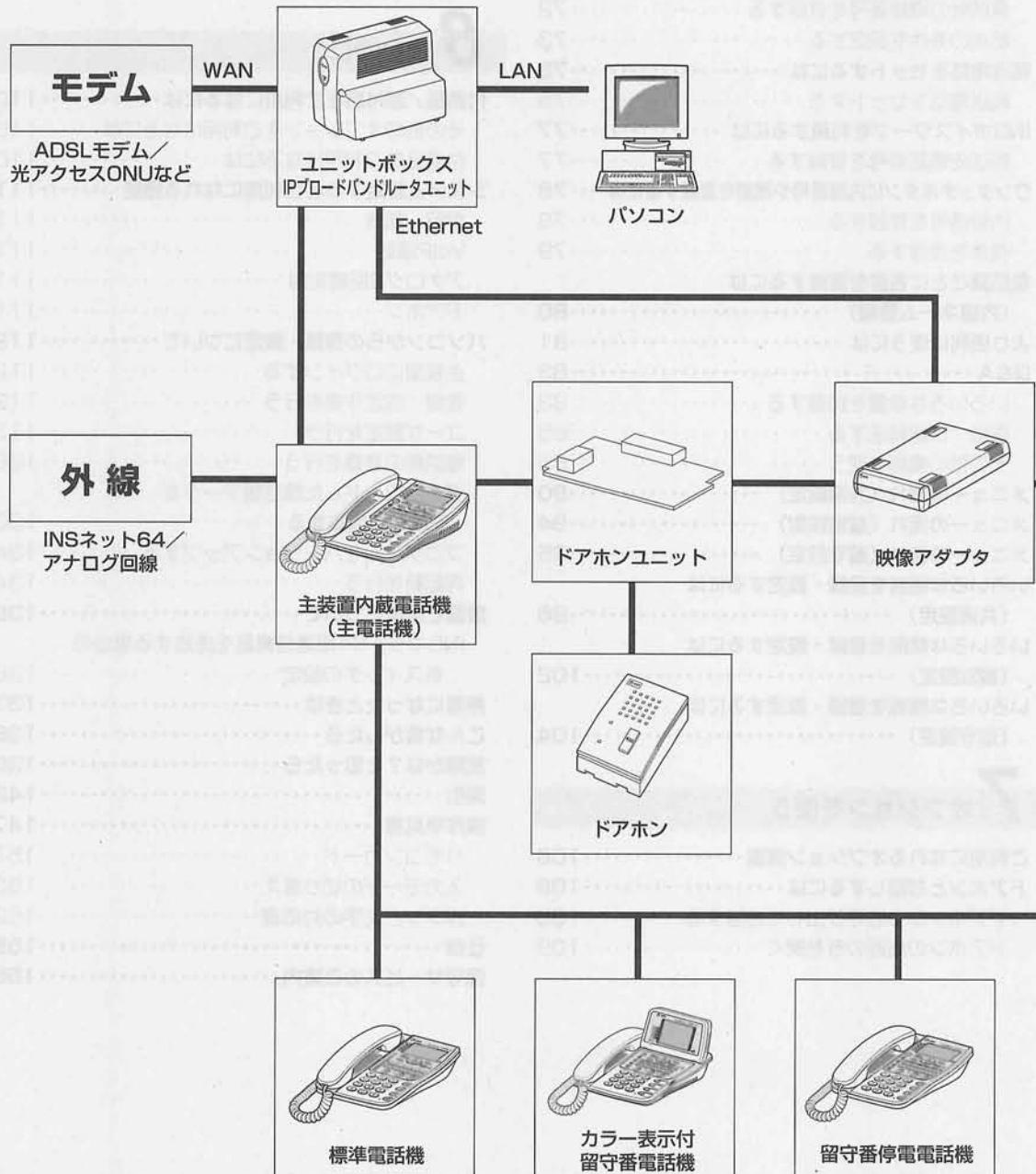
発信者の電話番号を登録する	72
転送の条件を設定する	73
転送電話をセットするには	75
転送電話をセットする	75
INSボイスワープを利用するには	77
転送先電話番号を登録する	77
ワンタッチボタンに内線番号や機能を登録するには	78
内線番号を登録する	78
機能を登録する	79
電話機ごとに名前を登録するには	
(内線ネーム登録)	80
より便利に使うには	81
Q&A	83
いろいろな音量を調整する	83
保留／保留転送する	85
その他の機能を使う	85
メニューの流れ（共通設定）	90
メニューの流れ（個別設定）	94
メニューの流れ（留守設定）	95
いろいろな機能を登録・設定するには	
(共通設定)	96
いろいろな機能を登録・設定するには	
(個別設定)	102
いろいろな機能を登録・設定するには	
(留守設定)	104

7 オプションを使う

ご利用になれるオプション装置	106
ドアホンとお話しするには	109
ドアホンからの呼び出しに応答する	109
ドアホンの周囲の音を聞く	109

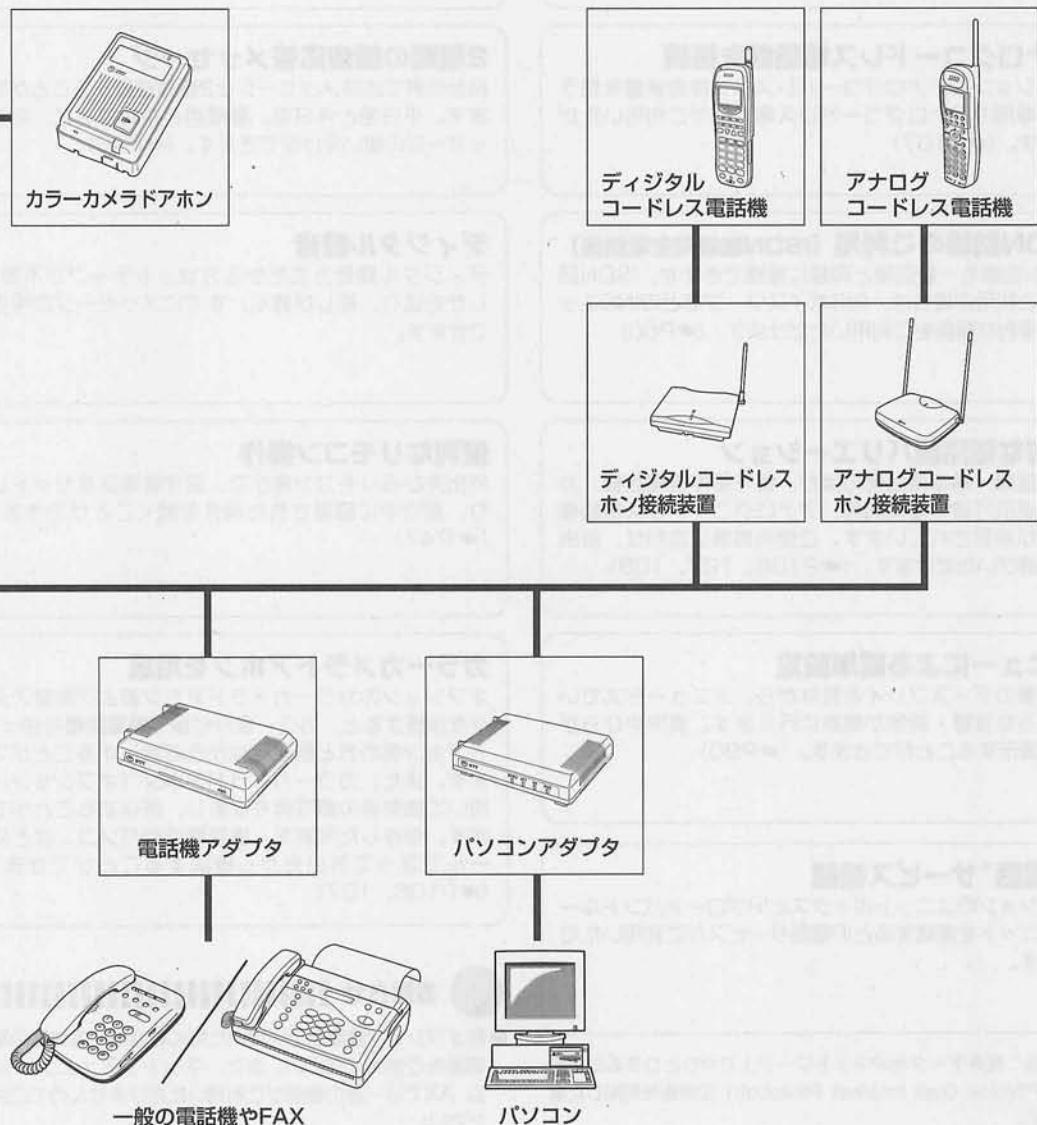
8 ご参考に

付属品／添付品をご利用になるには	110
その他のオプションをご利用になるには	110
付属品をご利用になるには	110
システム設定するとご利用になれる機能	111
保留・転送	111
VoIP通話	111
アナログ2回線利用	111
ドアホン	111
パソコンからの登録・設定について	112
主装置にログインする	112
登録・設定作業を行う	112
ユーザ設定を行う	113
電話帳の登録を行う	126
ダウンロードした電話帳データを	
Excelで編集する	130
プログラムをバージョンアップする	134
再起動を行う	134
設置と接続について	135
INSネット64用通信機器を接続する場合の	
各スイッチの設定	136
停電になったときは	137
こんな音がしたら	138
故障かな？と思ったら	139
索引	142
操作早見表	147
リモコンカード	151
入力モードの切り替え	153
ボタンと文字の対応表	153
仕様	155
保守サービスのご案内	156



お知らせ

- 主装置内蔵電話機および標準電話機以外の機器はオプション品です。
- システムの設置には工事が必要です。工事には別途工事料金がかかります。
- 上記のシステム構成図は一例です。配線や収容端末により、上図のように設置できない場合があります。
- ドアホンユニットは主電話機内に装着されます。
- IPプロードバンドルータユニットはユニットボックスに装着されます。
- ISDN回線用主電話機のみパソコンアダプタが接続できます。
- アナログ回線用主電話機のみ留守番停電電話機が接続できます。



最大7台までの電話機を接続可能

ネットコミュニティシステム AX には、最大8台（主電話機も含む）までの電話機、2台までのドアホンを接続することができます。

受話音量調節機能

主電話機、標準電話機、留守番停電電話機、カラー表示付留守番電話機には、受話音量調節機能が装備されています。さらに受話増機能で相手の方の声を大きくし、聞き取りやすくできます。（☞P83、84）

アナログコードレス電話機を接続

オプションのアナログコードレスホン接続装置を使うと、専用のアナログコードレス電話機をご利用いただけます。（☞P107）

ISDN回線のご利用（ISDN回線用主電話機）

ISDN回線も一般回線と同様に接続できます。ISDN回線をご利用の場合は、INSボイスサーブなどのINSネットの便利な機能をご利用いただけます。（☞P60）

豊富な電話機バリエーション

主電話機、標準電話機のほか、留守番停電電話機、カラー表示付留守番電話機、アナログコードレス電話機などが用意されています。ご使用環境に合わせ、自由にお選びいただけます。（☞P106、107、108）

メニューによる簡単設定

電話機のディスプレイを見ながら、メニュー形式でいろいろな登録・設定が簡単に行えます。漢字やひらがなも表示することができます。（☞P90）

IP電話*サービス機能

オプションのユニットボックスとIPブロードバンドルータユニットを接続するとIP電話サービスをご利用いただけます。

ナンバー・ディスプレイ（発信電話番号表示サービス）

電話をかけてきた相手の方の電話番号(発信電話番号)や発信企業名や氏名、電話番号を通知できない理由をディスプレイに表示するなどの機能をご利用いただけます。（☞P63）

すぐに使える留守番電話

応答メッセージなどの準備をしなくてもすぐに留守番電話として使えます。（☞P40）

2種類の録音応答メッセージ

自分の声で応答メッセージを2種類録音することができます。平日用と休日用、昼間用と夜間用など、応答メッセージの使い分けができます。（☞P46）

デジタル録音

デジタル録音方式だからカセットテープが不要で、しかも送り、戻しが速く、すぐにメッセージの再生ができます。

便利なリモコン操作

外出先からリモコン操作で、留守番電話をセットしたり、留守中に録音された用件を聞くことができます。（☞P47）

カラーカメラドアホンを用意

オプションのカラーカメラドアホンおよび映像アダプタを接続すると、カラー表示付留守番電話機を使って、ドアホン側の方と顔を見ながらお話しすることができます。また、カラーカメラドアホン（オプション）を用いて訪問者の顔写真を撮影し、保存することができます。保存した写真を、携帯電話やパソコンなどにメールで送って外出先から確認することができます。（☞P106、107）

**お知らせ**

- 各オプション装置をご利用いただく場合は、各機器の取扱説明書をご参照ください。また、ネットコミュニティシステム AXでは一部の機能をご利用いただけませんのでご注意ください。

* IP電話：音声データをIPネットワーク上でやりとりするための「VoIP(Voice Over Internet Protocol)」の技術を利用した電話です。

主装置内蔵電話機（主電話機）

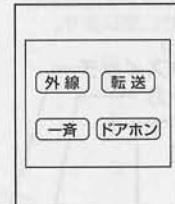
■本体（1台）



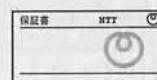
■付属品



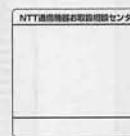
取扱説明書
(1部)



電話機用シール
(1枚)



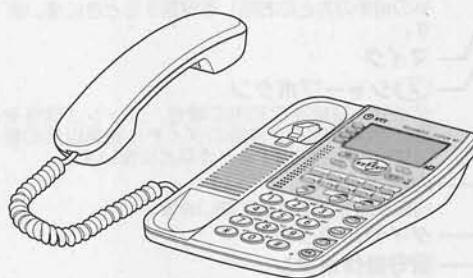
保証書 (1枚)



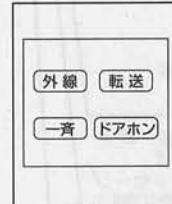
「NTT通信機器お取扱
相談センタ」シール
(1枚)

標準電話機

■本体（1台）



■付属品



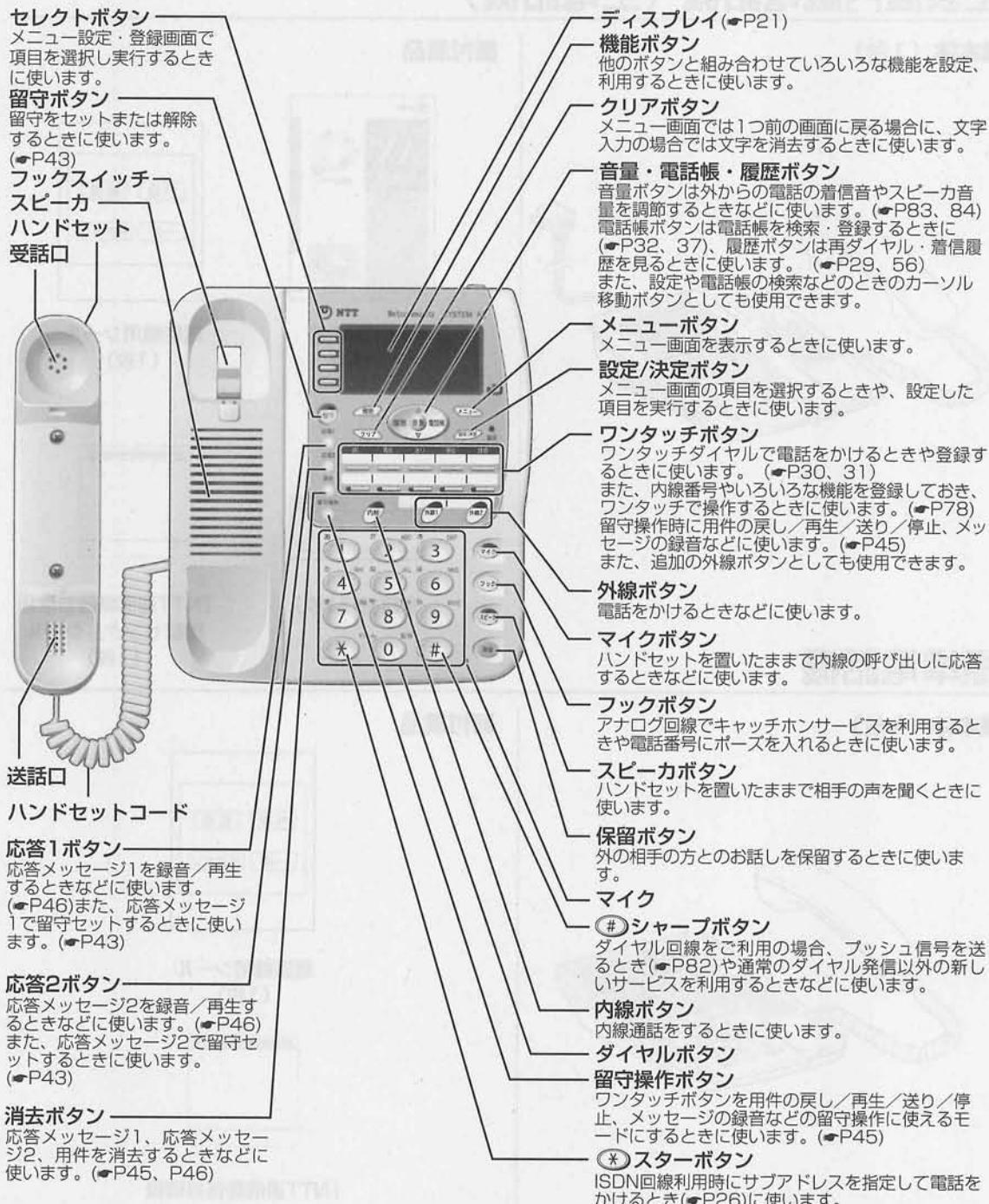
電話機用シール
(1枚)



「NTT通信機器お取扱
相談センタ」シール
(1枚)

●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合には、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

主装置内蔵電話機（主電話機）

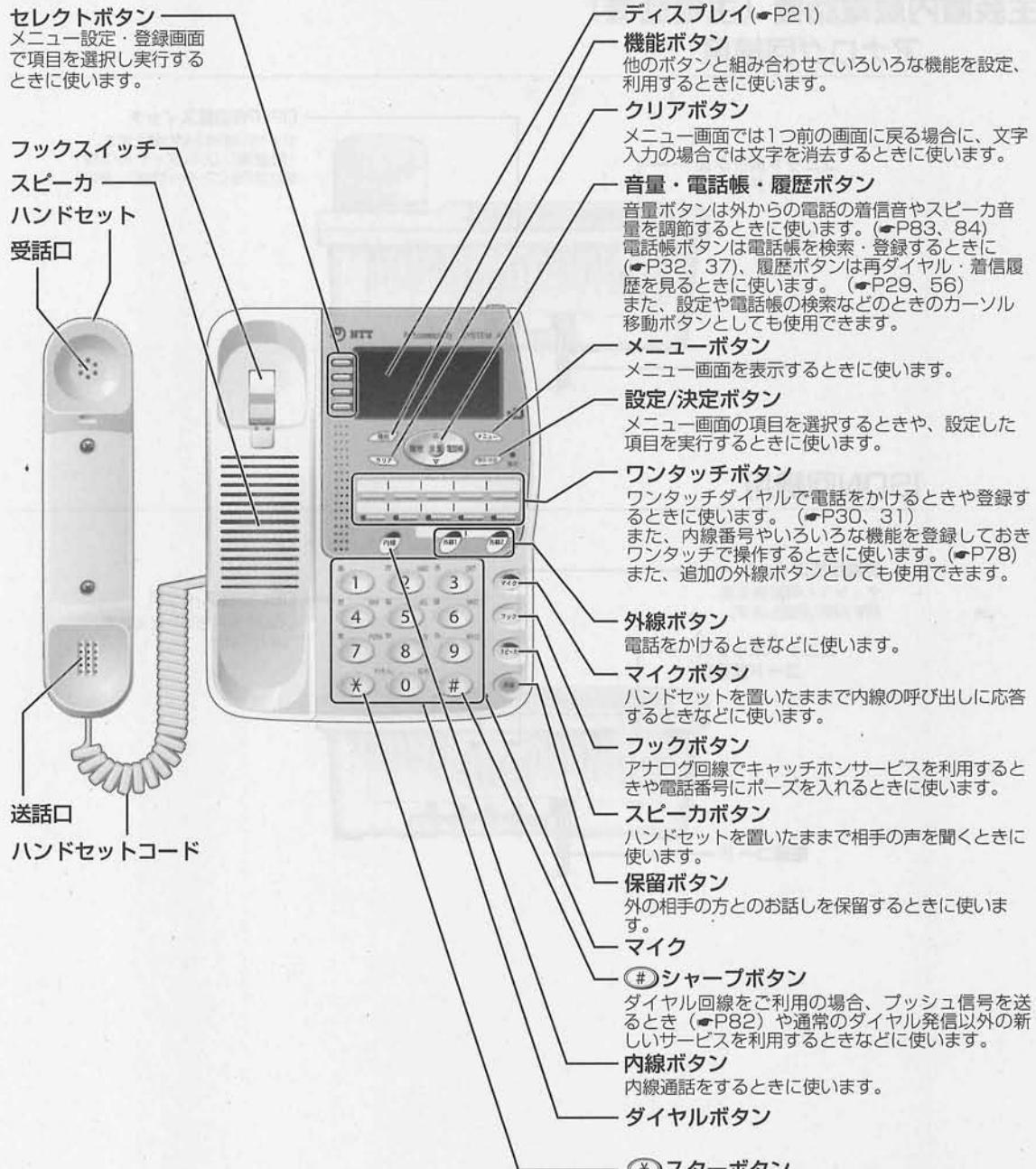


お知らせ

- アナログ回線用主電話機で1回線のみをご契約の場合は、は使用できません。

ダイヤルボタン⑤の部分に突起が付いていますが、この突起は目のご不自由な方が電話をかけるときのダイヤル操作を容易にするためのものです。

標準電話機

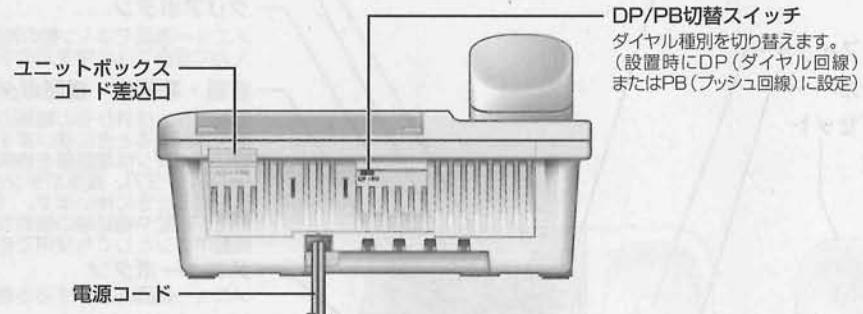


ダイヤルボタン⑤の部分に突起が付いています。が、この突起は目のご不自由な方が電話をかけるときのダイヤル操作を容易にするためのものです。

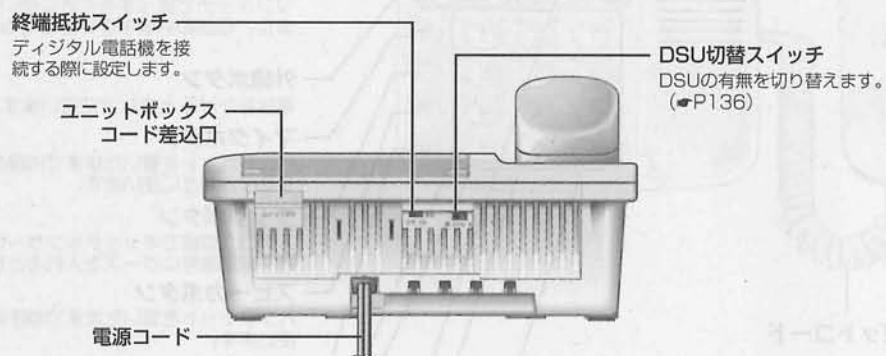
- お知らせ**
- アナログ回線用主電話機で1回線のみをご契約の場合は、 は使用できません。

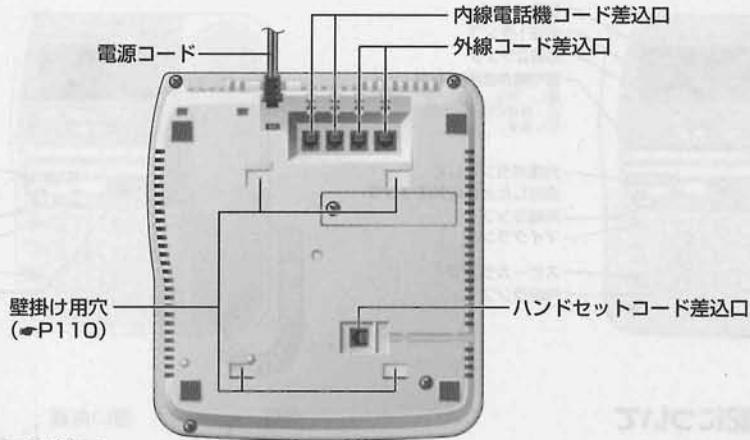
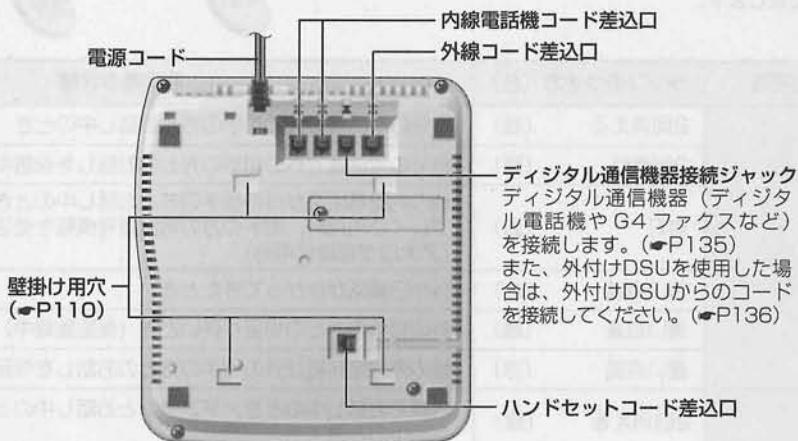
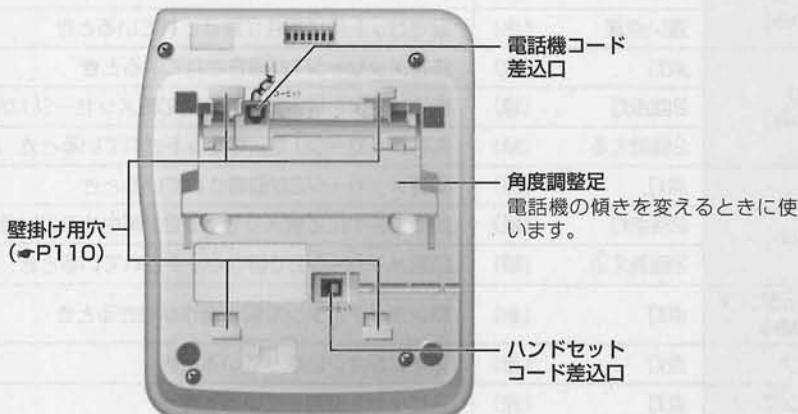
【背面】

主装置内蔵電話機（主電話機）
アナログ回線用



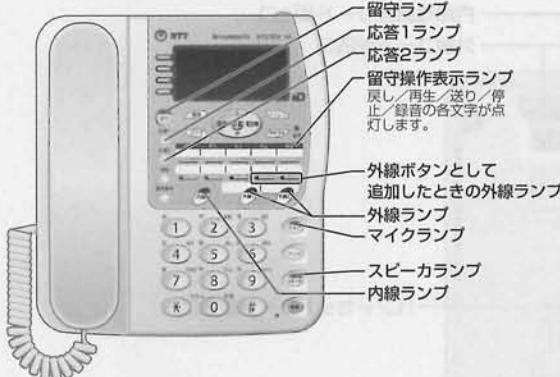
ISDN回線用



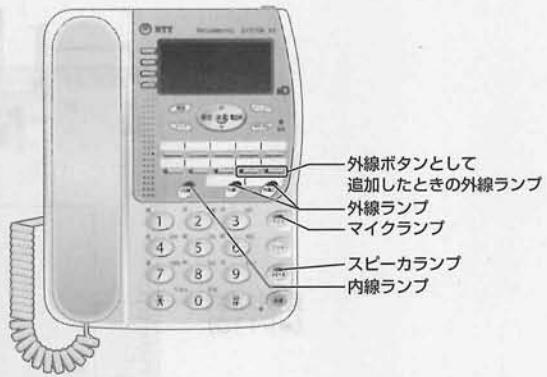
【底面】**主装置内蔵電話機（主電話機）****アナログ回線用****ISDN回線用****標準電話機**

【ランプ表示】

主装置内蔵電話機（主電話機）



標準電話機



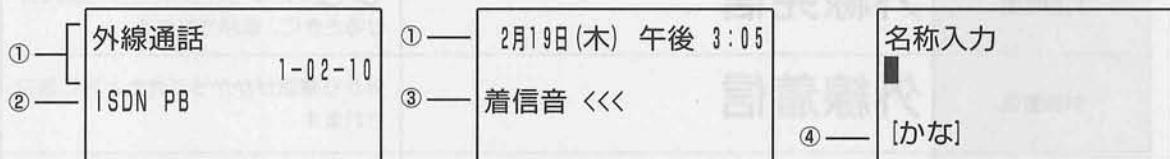
■ランプの表記について

この取扱説明書では、ランプについて
右のように表します。



ランプの種類	ランプのつき方（色）	電話機の状態
外線ランプ	2回消える (緑)	自分の電話機で外の相手の方とお話し中のとき
	2回点灯 (緑)	自分の電話機で外の相手の方とのお話を保留中のとき
	点灯 (赤)	他の内線電話機が外の相手の方とお話し中のとき／ナンバー・ディスプレイご利用時、相手の方の電話番号情報を受信しているとき（アナログ回線使用時）
	速い点滅 (赤)	外から電話がかかってきたとき
	速い点滅 (緑)	外の相手の方との保留が長いとき（保留警報中）
	遅い点滅 (赤)	他の内線電話機が外の相手の方とのお話を保留中のとき
内線ランプ	2回消える (緑)	内線でお話し中のとき／ドアホンとお話し中のとき／自分の電話機で保留中のとき
	速い点滅 (赤)	内線で呼び出されているとき／ドアホンから呼び出されているとき
留守ランプ (主電話機のみ)	点灯 (赤)	留守セットされているとき
	遅い点滅 (赤)	留守セット中に用件が録音されているとき
応答1ランプ (主電話機のみ)	点灯 (緑)	応答メッセージ1が録音されているとき
	2回点灯 (緑)	留守設定または自動応答中に応答メッセージ1が再生されているとき
	2回消える (緑)	応答メッセージ1で留守セットされているとき
応答2ランプ (主電話機のみ)	点灯 (緑)	応答メッセージ2が録音されているとき
	2回点灯 (緑)	自動応答中に応答メッセージ2が再生されているとき
	2回消える (緑)	応答メッセージ2で留守セットされているとき
留守操作表示ランプ (主電話機のみ)	点灯 (赤)	ワンタッチボタンで留守操作ができるとき
マイクランプ	点灯 (赤)	マイクがオンになっているとき
スピーカランプ	点灯 (赤)	スピーカを使用しているとき

【ディスプレイの見かた】 主装置内蔵電話機（主電話機）／標準電話機



■こんなときに表示されます

① 文字や数字	カレンダ・時計表示、ダイヤルしている電話番号、かけてきた相手の方の電話番号など（ナンバー・ディスプレイご利用時）、登録または設定の内容など
② ISDN	ISDN回線を利用しているとき
PB	プッシュ(PB)回線を使用しているとき／ダイヤル(DP)回線を使用している場合にPB信号を送ることができるとき(DP→PB切替)／ISDN回線、VoIP回線を使用している場合にPB信号を送ることができるとき
VoIP	VoIP回線を使用しているとき
着信音	着信音量を調節しているとき
受話音	ハンドセットを取りあげ、受話音量を調整しているとき
スピーカ音	スピーカ音量を調整しているとき
<<<<<	着信音量、受話音量、スピーカ音量の大きさ
④ [かな] [カナ] [ABC] [123]	ワンタッチダイヤル、電話帳などの名前を登録するときの文字の種類

【ディスプレイの文字表示例】

主装置内蔵電話機（主電話機）／標準電話機

電話機の状態	ディスプレイ表示	説明
外線発信	外線発信	○ボタンを押して、外に電話をかけるときに、表示されます
外線着信	外線着信	外から電話がかかってきたときに表示されます
外線着信 (ナンバー・ディスプレイご利用時)	外線着信 0312345678	ナンバー・ディスプレイご利用時に、外から電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などとともに表示されます ISDN回線相互間の通信時、相手の方が発信者番号を通知しているときにも表示されます
通話中	外線通話 1-02-10	外の相手の方とお話し中のときに、通話時間とともに表示されます
通話終了	通話終了 1-03-20	外の相手の方との電話が終わり、ハンドセットを置いたときに、通話時間とともに表示されます
保留	保留	外の相手の方とのお話し中に○ボタンを押したときに表示されます
内線発信	内線発信	ハンドセットを取りあげたとき、または○ボタンを押したときに表示されます
他の内線電話機 が使用中のとき	使用中	他の内線電話機が外の相手の方とお話し中に○ボタンを押したとき、および内線呼び出し先の内線電話機が話し中のときに表示されます
留守セット時 (主電話機のみに 表示)	録音エリア <<<<<<<<<	○ボタンを押したときに、録音可能時間の目安が一時的に表示されます。<が多いほど録音可能時間は長くなります
留守セット中 (主電話機のみに 表示)	4件 午後 3:30	留守セット中、録音された用件の件数と現在の時刻が表示されます



ワンポイント

● ディスプレイに表示される電話番号の桁数について

主電話機・標準電話機・留守番停電電話機・カラー表示付留守番電話機のディスプレイに表示される電話番号は、20桁までです。21桁以降は右から左へ順次表示されます。

アナログコードレス電話機のディスプレイには、16桁まで表示されます。17桁以降は右から左へ順次表示されます。

メニューの操作について

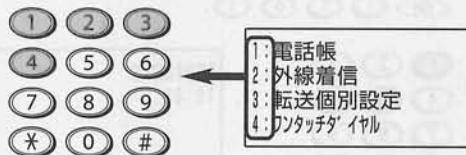
ネットコミュニティシステム AX の電話機でいろいろな登録・設定を行うには、ディスプレイにメニューを表示させて行います。ここでは、メニューの操作方法を説明します。

メニューの項目の選択方法

表示されるメニューを選択して、次のメニュー画面や登録・設定画面を表示させるには、次の3つの方法があります。

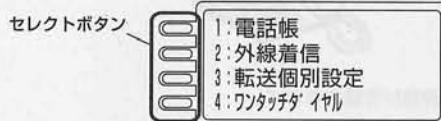
■ダイヤルボタンを使う

メニューの各項目には、数字が振られています。その数字のダイヤルボタンを押して、その項目を選択すると次のメニュー画面や登録・設定画面が表示されます。



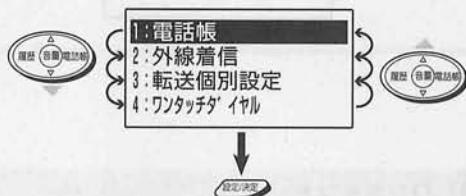
■セレクトボタンを使う

ディスプレイの横にあるセレクトボタンは、メニューの各項目に対応しています。対応するセレクトボタンを押して、その項目を選択すると次のメニュー画面や登録・設定画面が表示されます。



■音量ボタン、ボタンを使う

△: 音量小ボタンを押すと項目の選択位置が下へ、△: 音量大ボタンを押すと項目の選択位置が上へ移動します。メニューの項目が選択された状態で ボタンを押すと、次のメニュー画面や登録・設定画面が表示されます。



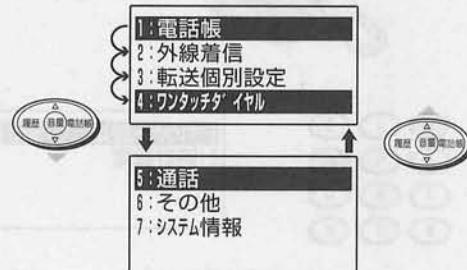
ワンポイント

- 登録・設定内容を変更せずに次の画面に進むには
表示された登録・設定内容を変更しない場合は、ボタンを押します。

メニュー画面での操作のしかた

■メニューの項目が5つ以上ある場合

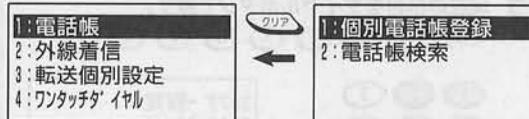
メニューの項目の続きを見るには、△: 音量小ボタンを押して一番下の項目までいたら、もう一度△: 音量小ボタンを押します。前のメニューの項目に戻るには、△: 音量大ボタンを押します。



■1つ上のメニュー画面、登録・設定画面に戻る

1つ上のメニュー画面や前に登録・設定した画面に戻るには ボタンを押します。ただし、電話番号や文字などを入力中の場合は、ボタンを押して入力中の数字や文字をすべて削除してから、ボタンを押します。

1つ上のメニュー画面



■メニュー画面をキャンセルする

メニュー画面をキャンセルするには、ボタンを押します。ボタンを押すと、メニュー画面をキャンセルしてカレンダ・時計表示に戻ります。



お知らせ

- 本取扱説明書では、メニューの項目の選択を「ダイヤルボタンを使う」方法で説明しています。
- 「共通設定」メニューは主電話機以外でも表示されますが、登録・設定することはできません。
- 「留守設定」メニューは、主電話機、留守番電話機で登録・設定することができます。
- 設定中に外から電話がかかってきたときは、着信音は鳴らずにランプで表示されます。登録・設定作業を終了するか、ボタンを押して登録・設定内容をキャンセルしてください。



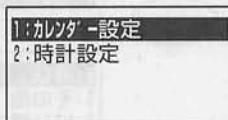
- 操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は (☞P86)
- 操作を間違えたときには (☞P86)

カレンダ、時計を合わせます (カレンダー設定、時計設定)

現在の日付と時刻を設定します。日付と時刻の設定は、主電話機から行います。

<例>2004年2月19日 午後3:05に設定するとき

- 1 ボタン、① ⑥ を押して「1：カレンダー設定」を表示させる。

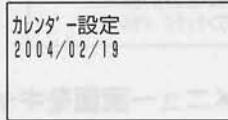


- 2 ① を押す。



- 3 現在の日付をダイヤルボタンで押す。

<例> ② ① ① ④ ① ② ① ⑨



- 4 登録内容を確認し、 ボタンを押す。



日付が登録されます。

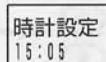
続けて時刻を設定します。時刻を設定しない場合は、 ボタンを押して、操作を終了します。

- 5 ② を押す。



- 6 現在の時刻（24時間制）をダイヤルボタンで押す。

<例> ① ⑤ ① ⑤



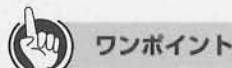
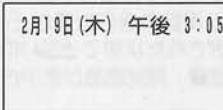
- 7 登録内容を確認し、 ボタンを押す。



時刻が登録されます。

- 8 ボタンを押す。

設定した日付と時刻が表示されます。

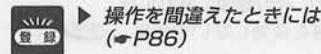


- 年月日や時刻を間違えて入力したときは

一度最後まで入力すると、再び最初から年月日や時刻を入力できるようになります。



- 停電になったときでも設定内容は消去されません。



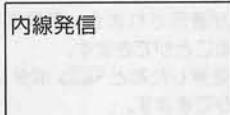
(☞P86)

ハンドセットを取りあげて電話をかける方法と、ハンドセットを置いたまま電話をかける方法（オンフックダイヤル）があります。天気予報や時報を聞くときなどは、ハンドセットを置いたままかけると便利です。

ハンドセットを取りあげてかける

外線ランプが消えていることを確認して…

- 1 ハンドセットを取りあげる。
「ブーブー…」という音を確認してください。



- 2 ○○ボタンを押す。
「ツー」という発信音を確認してください。



外線発信

- 3 電話番号をダイヤルボタンで押す。
電話番号が表示されます。



外線発信
0312345678

- 4 相手の方が出たら、お話しする。
通話時間が表示されます。



外線通話
0-10

- 5 お話ししが終わったら、ハンドセットを置く。

ハンドセットを置いたままかける
(オンフックダイヤル)

外線ランプが消えていることを確認して…

- 1 ハンドセットを置いたまま、○○ボタンを押す。
「ツー」という発信音を確認してください。



外線発信

- 2 電話番号をダイヤルボタンで押す。
電話番号が表示されます。



外線発信
0312345678

- 3 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しをする。
通話時間が表示されます。



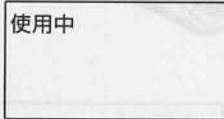
外線通話
0-10

- 4 お話ししが終わったら、ハンドセットを置く。



ワンポイント

- 外線発信で表示される「ISDN」「PB」「VoIP」について
「ISDN」はISDN回線を利用しているときに、「VoIP」はVoIP回線を利用しているときに表示されます。「PB」はプッシュ(PB)回線を使用している、またはプッシュ信号を送ることができます。
- 外線ランプが赤く点灯しているときに ボタンを押すと他の内線電話機が外の相手の方とお話し中のため、電話をかけることはできません。ディスプレイには以下のように表示されます。



外線ランプが消灯したときに外線はご利用になります。

● 自動で空き外線を選んで電話をかけるには

「ハンドセットを取りあげてかける」の手順2で を押すと自動的に空き外線を選んで電話をかけることができます。外線1、2のどちらも空いている場合は外線2が、外線3、4(VoIP回線収容時)が空いている場合は外線4が選ばれます。

● ISDN回線をお使いのときは

ISDN回線相互間の通信の場合、サブアドレスを追加して発信できます。相手の方の電話番号(アドレス)を押したあとに を押し、サブアドレスの番号を押します。アドレスの最大桁数は32桁、サブアドレスの最大桁数は19桁で、いずれも数字(0~9)のみがダイヤルできます。

<例> 0312345678 * 12345

↑ ↑
アドレス サブアドレス

- 電話番号のあとに続けて を押すと、すぐに発信できます。 を押さなくても電話番号をダイヤルしてから約5秒後に自動的に発信します。
- お話しが終わったら ボタンを押すと、ディスプレイに通話料金を表示させることができます。ISDN料金表示設定(→P97)

● ハンドセットを置いたまま相手の方とお話しするには
(ハンズフリー通話)

ハンドセットを置いたまま相手の方とお話しできます。(→P58)

- ▶ ハンドセットでのお話し中、相手の方の声が聞き取りにくいときは(受話音量)(→P83)
- ▶ ディスプレイの表示は(→P88)
- ▶ お話しをスピーカで聞くには(スピーカ受話)(→P89)
- ▶ オンフックダイヤルでお話ししないで電話を切るには(スピーカ受話)(→P89)

電話番号を確認してからかける
(プリセットダイヤル)

外線ランプが消えていることを確認して…

- 1 ハンドセットを置いたまま、電話番号をダイヤルボタンで押す。
電話番号が表示されます。電話番号は最大53桁まで入力することができます。
電話番号を押したあと ボタンを押すと、やり直すことができます。
- 2 ボタンを押す。
表示されている電話番号がダイヤルされます。
- 3 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。
通話時間が表示されます。
- 4 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

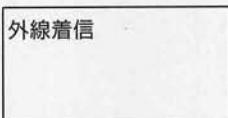
お知らせ

- VoIP回線を接続している場合、外線3、外線4としてワンタッチボタンに外線ボタンを設定することができます。VoIP回線で電話をかける場合は、外線3、外線4に対応するワンタッチボタンを押します。VoIP回線での外線の設定に関して、詳しくは当社のサービス取扱所、またはお買い求めになった販売店へご相談ください。
また、本取扱説明書では、外線1、外線2だけが設定されている場合で説明しています。VoIP回線をご使用の場合は、外線3あるいは外線4もお使いになれます。
- VoIP回線経由で接続できない電話番号(たとえば110番、119番など。詳しくはIPブロードバンドルータユニットの取扱説明書を参照願います)の発信を行った場合、自動的に一般回線へ迂回する機能をもっています。
- PBX(構内交換機)の内線に接続されているときは、外線発信番号「0」を押して、「ツー」という外線発信音を確認してからダイヤルしてください。
- メニュー設定により、 ボタンを押さなくてもハンドセットを取りあげただけで外線へ電話をかけられるように設定することができます。オフフック外線捕捉(→P97)
この場合、内線電話機を呼び出すときは、ハンドセットを置いたまま、 ボタンを押します。
なお、本取扱説明書では、さしつかえない限りオフフック内線捕捉(ボタンを押さなくてもハンドセットを取りあげただけで内線へ電話をかけられる)の状態で説明しています。
- ボタンをオフにしているときで、オンフックダイヤルの場合、外の相手の方が出たあと、ハンドセットを取りあげてお話ししないと、こちらの声は相手の方に聞こえません。

電話がかかってきたときは（外線着信）

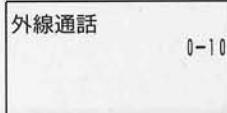
外から電話がかかってくると、着信音が鳴り、外線ランプが赤く点滅します。

着信音が鳴り、外線ランプが赤く点滅したら…



- 1 ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話しをする。

通話時間が表示されます。



- 2 お話し終わったら、ハンドセットを置く。

ワンポイント

● 着信音の音色を変えるには

各内線電話機ごとに外線着信音の音色を、「トーン」または「メロディ」に設定することができます。

外線着信音の音色は、設定によって変えられます。（☞P102）
お買い求め時は「トーン」に設定されています。

外線着信音が「メロディ」に設定されているときは、i・ナンバー等の個別着信でもメロディで鳴ります。

● ハンドセットを置いたまま相手の方とお話しするには（ハンズフリー通話）（☞P59）

● ナンバー・ディスプレイを利用するには

ディスプレイに相手の方の電話番号が表示されます。
(☞P63)

● 1台の内線電話機に、同時に複数の着信があったときは
次の優先順序で着信します。

- ①ドアホン
- ②モデムダイヤルイン、i・ナンバーでかかってきた外線
- ③一般的な外線
- ④PBX回線、CES回線
- ⑤内線

なお、鳴り分けサービス（☞P98）を設定の場合は、優先順序は①→②→④→③→⑤になります。（アナログ回線用主電話機のみ）

内線着信とドアホン着信は、先着優先となります。内線音声着信中の外線着信等は、内線音声着信が継続されます。

内線呼出中にモデムダイヤルインで着信があったときは、内線呼出を音声呼出に設定している場合は内線が優先され、信号呼出に設定している場合はモデムダイヤルインが優先されます。



▶ 着信音の音量を切り替えるには（☞P83）



▶ 外線着信音を鳴らさなくするには（☞P83）



▶ 内線またはドアホンでお話し中に外からの電話に応答するには（☞P89）

お知らせ

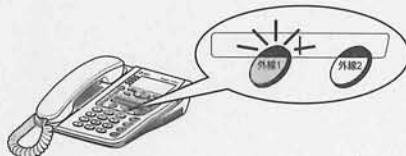
- システム設定により、ハンドセットを取りあげてから ボタンを押して応答するように設定することができます。詳しくは当社のサービス取扱所、またはお買い求めになった販売店へご相談ください。
- PBXやCES（事業所集団電話）の内線に接続されているときは、外線からの着信がPBXやCES内の着信かを着信音の鳴り方で聞き分けることができます。
鳴り分けサービス（☞P98）

相手の方に待っていただくには（保留）

通話中にお話しを一時中断して、相手の方に待っていただくときは保留にします。相手の方へは保留メロディが流れます。保留にしたあと、他の内線電話機でも電話に出ることができます。

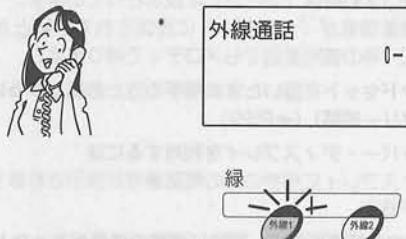
お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えて…

- 1** ① 保証ボタンを押して、ハンドセットを置く。
② ボタンでも保留にすることができます。
相手の方とハンドセットに保留メロディが流れます。



- 2** もう一度お話しをするときは、① 保証ボタンを押してハンドセットを取りあげ、相手の方とお話しをする。

通話時間が表示されます。



お話し中に、相手の方に待っていただくには（保留）



ワンポイント

● 保証メロディを聞こえなくするには

通常は、外の相手の方とのお話しを保留したとき、ハンドセットから保留メロディが流れますが、システム設定により保留メロディが聞こえないように設定することができます（相手の方には聞こえます）。（☞P111）

● 保証メロディの曲目を変えるには（保証音切替）（☞P98）

次のメロディがあらかじめ用意されています。

保留1：グリーンスリーブズ

保留2：峠の我が家

保留3：カノン

保留4：Super calitrangilistic expialidocious

保留5：TO LOVE YOU MORE

保留6：春の歌

保留7：主よ人の望みの喜びよ

保留8：メヌエット

● 保証警報音送出タイマを設定するには

保留の状態を長時間続けている場合、警報音をスピーカから鳴らすことができます。警報音を鳴らすまでの保留時間を設定します。（☞P99）

お知らせ

● 手順2では新たに通話時間が開始されます。

▶ 保留中に電話機のスピーカから警報音が鳴ったら（☞P85）

▶ 保留中の外線を他の外線へ転送するには（☞P85）

同じ相手にかけ直すには（再ダイヤル）

かけた電話番号の最後の20件は、履歴ボタンで簡単に電話をかけることができます。相手の方がお話しの中でかけ直すときなどに便利です。再ダイヤルの電話番号は各内線電話機ごとに、1件につき最大32桁まで記憶されます。

1 ハンドセットを置いたまま、履歴ボタンを押す。

最後にかけた電話番号と日付および時刻が表示されます。また、電話帳・ワンタッチダイヤルに登録されているときは名前が表示されます。



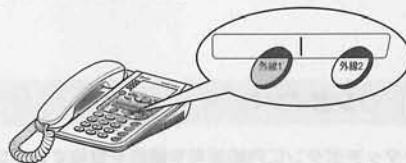
2 さらに前にかけた電話番号を選ぶときは、▽：音量小ボタンを繰り返し押す。

最大20件前まで順に表示されます。

20件前の電話番号が表示されているとき▽：音量小ボタンを押すと、最後にかけた電話番号に戻ります。

3 かけ直したい電話番号が表示されたら、○：ボタンを押す。

表示されている電話番号がダイヤルされます。



4 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。

通話時間が表示されます。



ワンポイント

●ハンドセットを取りあげて再ダイヤルするには

ハンドセットを取りあげて、○：ボタンを押してから履歴ボタンを押します。ただし、この方法では、最後にかけた電話番号しか再ダイヤルできません。

●○：ボタンを押してから再ダイヤルするには

○：ボタン、履歴ボタンの順に押しても再ダイヤルすることができます。ただし、この方法では、最後にかけた電話番号しか再ダイヤルできません。

●再ダイヤルに記憶されている電話番号を消去するには

①ハンドセットを置いたまま、履歴ボタンを押し、消去したい電話番号を表示する。

②○：ボタンを押す。

③④（4：1件削除）または⑤（5：全件削除）を押す。

⑤を押した場合、「全件削除しますか」というメッセージが表示されたら①を押して「1：はい」を選択します。



お知らせ

- 他の内線電話機でかけた電話番号を再ダイヤルすることはできません。
- ISDN回線、VoIP回線をお使いのときは、再ダイヤルする電話番号にポーズ（待ち時間）が登録されている場合でも、ポーズは無視されます。
- 再ダイヤルに#、*が含まれているときは、お使いの回線種類とダイヤル番号に入力されている位置により次のように内容が変わります。

<入力位置が1桁目の場合>

	ダイヤル回線	プッシュ回線	ISDN回線
#	ブッシュ信号送出に切り替わる	#のブッシュ信号が送出される	#が送出される
*	無視される	*のブッシュ信号が送出される	*が送出される

<入力位置が2桁目以降の場合>

	ダイヤル回線	プッシュ回線	ISDN回線
#	前に#が入力されていないとブッシュ信号に切り替わり、#が入力されると#のブッシュ信号が送出される	#のブッシュ信号が送出される	それまでに入力された番号で発信する
*	*の前の桁に#が入力されていないときは無視され、#が入力されると*のブッシュ信号が送出される	*のブッシュ信号が送出される	*以降の番号をサブアドレスと認識する

●停電になったときも再ダイヤルの内容は消去されません。

●再ダイヤル2～5の電話番号を再ダイヤルしたときは、次のようになります。

例：再ダイヤル3の電話番号を再ダイヤルした場合

再ダイヤル3（3333）を再ダイヤルしたとき

再ダイヤル1：1111
再ダイヤル2：2222
再ダイヤル3：3333
再ダイヤル4：4444
再ダイヤル5：5555



再ダイヤル1：3333
再ダイヤル2：1111
再ダイヤル3：2222
再ダイヤル4：4444
再ダイヤル5：5555

●内線へおかげになったときは、再ダイヤルの対象になりません。

●再ダイヤルの操作中に留守操作などを行った場合、ディスプレイに再ダイヤル表示の一部の文字などが残ります。



▶ 操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は（P86）

▶ 長い電話番号をかけるときには（ミックスダイヤル）（P89）

ワンタッチダイヤルで電話をかけるには

電話をよくかける相手の電話番号は、ワンタッチダイヤルに登録しておくと便利です。ワンタッチダイヤルは、各内線電話機ごとに10件まで登録できます。ただし、VoIP回線で外線3、外線4をワンタッチダイヤルに割り付けている場合は、9件（外線3を使用）または8件（外線3、外線4を使用）まで登録できます。

ワンタッチダイヤルを登録する

- 1 ボタン、② ④ を押して「1：ワンタッチダイヤル登録」を表示させる。



1:ワンタッチダイヤル登録
2:ワンタッチ機能登録

- 2 ① を押す。



- 3 登録するワンタッチボタンを押す。



すでにワンタッチダイヤルが登録されているときは、その内容が表示されます。

- 4 名前を入力する。

名前を入力する。（☞P35）

名前は全角10文字、半角20文字まで登録できます。

- 5 登録内容を確認し、 ボタンを押す。



- 6 登録する電話番号をダイヤルボタンで押す。

電話番号は32桁まで登録できます。



- 7 登録内容を確認し、 ボタンを押す。

ワンタッチダイヤルが登録されます。

続けて登録する場合は、手順2からの操作を繰り返します。

登録を終了する場合は、 ボタンを押します。

ワンポイント

- ワンタッチボタンに内線番号や機能を登録するには（☞P78、79）

- ワンタッチボタンの内容を削除するには

手順3で表示される名前を ボタンを押して削除し、 ボタンを押します。次に表示される電話番号も ボタンを押して削除し、 ボタンを押します。

- PBXやCESの内線に接続されているときは

外線発信番号と電話番号を登録してください。

- アナログ回線をお使いのときにダイヤル信号からブッシュ信号への切替操作（☞P82）を登録するには

お知らせ

- 停電になったときでも登録内容は消去されません。

- すでに内線番号や機能を登録しているワンタッチボタン（☞P78、79）にワンタッチダイヤルを登録すると、もとの登録電話番号は消えてしまいます。

▶ 電話番号にポーズ（待ち時間）を入れて登録するには（☞P86）

▶ 登録中に「ビビビビビ」という音が鳴ったら（☞P86）

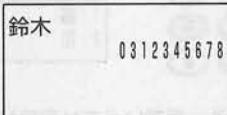
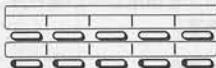
▶ サブアドレスを登録するには（☞P86）

▶ 操作を間違えたときには（☞P86）

ワンタッチダイヤルで電話をかける

- 1** ハンドセットを置いたまま、ワンタッチボタンを押す。

登録されている電話番号と名前が表示されます。



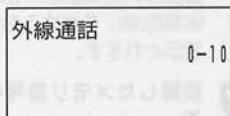
- 2** ボタンを押す。

表示されている電話番号がダイヤルされます。



- 3** 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しをする。

通話時間が表示されます。



ワンポイント

- ボタンを押してからかけるには

ボタン、ワンタッチボタンの順に押してかけることもできます。

また、ハンドセットを取りあげて、 ボタン、ワンタッチボタンの順に押してかけることもできます。

- 登録されていないワンタッチボタンを押したときは

ディスプレイにはワンタッチボタン番号と「未登録」が表示されます。

- PBXの内線に接続されているときは

外線発信番号と電話番号の間に約3秒間のポーズ（待ち時間）が自動的に挿入されて発信されます。



お知らせ

- ISDN回線、VoIP回線をお使いのときは、ワンタッチダイヤルに登録された電話番号にポーズ（待ち時間）が登録されている場合でも、ポーズは無視されます。



▶ 操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は
(☞P86)



▶ 長い電話番号をかけるときには（ミックスダイヤル）
(☞P89)

電話帳に電話番号を登録するには (電話帳ダイヤル)

電話帳には、各内線電話共通の共通電話帳と各内線電話機別に持つ個別電話帳があります。共通電話帳は主電話機から、個別電話帳は各内線電話機から登録、削除を行います。共通電話帳には最大300件、個別電話帳には各電話機ごとに最大10件まで登録できます。

電話帳に登録する

電話帳ボタンから登録する

- 1 電話帳ボタンを2秒以上押す。



- 2 個別電話帳に登録する場合は①を、共通電話帳に登録する場合は②を押す。

共通電話帳に登録できるのは主電話機だけです。

1:個別電話帳登録
2:共通電話帳登録

- 3 名前を入力して ボタンを押す。

名前を入力する。(☞P35)

名前は全角10文字、半角20文字まで登録できます。

- 4 フリガナを入力して ボタンを押す。

フリガナを入力する。(☞P35)

フリガナは半角12文字まで登録できます。半角カタカナの「、」(濁点)「、」(半濁点)も1文字分と換算されます。フリガナを入力しないで登録することもできます。

- 5 登録する電話番号をダイヤルボタンで押し、 ボタンを押す。

電話番号は32桁まで登録できます。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
* 0 #

電話番号入力
0312345678

- 6 グループの番号をダイヤルボタンで押す。

グループは10あり、▽:音量小ボタン、△:音量大ボタンでグループのメニューを表示できます。

特にグループを指定しない場合は、「0 グループ0」に設定します。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
* 0 #

グループ選択
0 グループ0
1 グループ1
2 グループ2

- 7 アイコンの番号をダイヤルボタンで押す。

アイコンは9種類あり、▽:音量小ボタン、△:音量大ボタンでアイコンのメニューを表示できます。

特にアイコンを指定しない場合は、「0:アイコンなし」に設定します。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
* 0 #

アイコン選択
0:アイコンなし
1:電
2:回

- 8 空いている一番若いメモリ番号が表示される。

表示されている番号が、メモリ番号となります。他のメモリ番号で登録する場合は、表示されている空きのメモリ番号を ボタンで削除してから、新しいメモリ番号をダイヤルボタンで入力します。共通電話帳の場合は「000～299」、個別電話帳の場合は「300～309」の3桁の数字で設定できます。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
* 0 #

メモリ番号入力
000～299で指定
001

画面は共通電話帳に登録する場合を示しています。個別電話帳に登録する場合は「300～309で指定」と表示されます。

- 9 登録したメモリ番号を確認して ボタンを押す。

メモリ番号001
に登録されました

電話帳に電話番号が登録されます。

メニューから登録をする

1 ボタンを押す。



2 共通電話帳に登録をする場合は、①①を押す。
個別電話帳に登録をする場合は、②①を押す。



3 ①を押す。

(共通電話帳に登録する場合)	(個別電話帳に登録する場合)
1:共通電話帳登録	1:個別電話帳登録
2:グループ名称設定	2:電話帳検索
3:電話帳検索	
4:電話帳検索モード設定	

共通電話帳、個別電話帳のどちらを選択しても、以下の操作手順は同じです。

4 名前を入力してボタンを押す。

名前を入力する。（P35）

名前は全角10文字、半角20文字まで登録できます。

5 フリガナを入力してボタンを押す。

フリガナを入力する。（P35）

フリガナは半角12文字まで登録できます。半角カタカナの「」（濁点）「」（半濁点）も1文字分と換算されます。フリガナを入力しないで登録することもできます。

6 登録する電話番号をダイヤルボタンで押し、ボタンを押す。

電話番号は32桁まで登録できます。



電話番号入力
0312345678

7 グループの番号をダイヤルボタンで押す。

グループは10あり、△：音量小ボタン、△：音量大ボタンでグループのメニューを表示できます。
特にグループを指定しない場合は、「0 グループ0」に設定します。



グループ選択
0 グループ0
1 グループ1
2 グループ2

8 アイコンの番号をダイヤルボタンで押す。

アイコンは9種類あり、△：音量小ボタン、△：音量大ボタンでアイコンのメニューを表示できます。
特にアイコンを指定しない場合は、「0:アイコンなし」に設定します。



アイコン選択
0:アイコンなし
1:▲
2:■

9 空いている一番若いメモリ番号が表示される。

表示されている番号が、メモリ番号となります。他のメモリ番号で登録する場合は、表示されている空きのメモリ番号をボタンで削除してから、新しいメモリ番号をダイヤルボタンで入力します。共通電話帳の場合は「000～299」、個別電話帳の場合は「300～309」の3桁の数字で設定できます。

メモリ番号入力
000～299で指定
001

画面は共通電話帳に登録する場合を示しています。個別電話帳に登録する場合は「300～309で指定」と表示されます。

10 登録したメモリ番号を確認してボタンを押す。

メモリ番号001
に登録されました

登録を終了する場合は、ボタンを押すと、カレンダ・時計表示に戻ります。



ワンポイント

● 電話帳で設定できるアイコンの種類

- | | | |
|-------------|-------------|-----------|
| 1: ☎ … 固定電話 | 2: ☎ … 携帯電話 | 3: 🏢 … ビル |
| 4: 🏠 … 戸建て | 5: 🏢 … 代表 | 6: 📞 … 直通 |
| 7: 📡 … FAX | 8: 🍽 … ご飯 | 9: 🍹 … お酒 |

● 登録中に前の画面に戻るには

フリガナ、電話番号、グループ、アイコンを登録中に前の画面に戻るには、 ボタンを押します。ただし、フリガナ、電話番号についてはフリガナ、電話番号をすべて ボタンで削除してから、もう一度 ボタンを押します。

● 登録を途中で中止するには

電話帳登録の操作を中止するには、 ボタンを押します。 ボタンを押すと、カレンダ・時計表示に戻ります。それまで登録した内容は保存されません。

● 登録する電話機がPBXやCESの内線に接続されているときは外線発信番号と電話番号を登録してください。

● アナログ回線をお使いのときにダイヤル信号からブッシュ信号への切替操作を登録するには
⑨ を登録します。

● 「他電話機使用中」と表示された場合

他の内線電話機で、電話帳に登録する作業を行っています。そのため「他電話機使用中」と表示されたら、電話帳登録作業はできません。

● グループ名を変更するには

お買い求め時のグループ名は「グループ0~9」として登録されています。主電話機からこのグループ名称を変更することができます。(☞P96)全角8文字、半角16文字まで登録することができます。

● 「メモリ番号XXXに上書きしますか?」というメッセージが表示されたら

すでに登録されているメモリ番号に登録しようとした場合、このメッセージが表示されます。すでに登録してあるメモリ番号を削除して上書きする場合は①を押して「1:はい」を、上書きしない場合は②を押して「2:いいえ」を選択します。「2:いいえ」を選択した場合は、新たなメモリ番号を入力して ボタンを押してください。

● メモリ番号に「***」と表示された場合

電話帳に空きがない場合に表示されます。すでにメモリ番号に登録している電話番号を削除してから登録してください。

● すでに電話帳へ登録した内容を修正・削除するには

修正・削除する電話帳の登録内容を検索して(☞P37)表示させ、 ボタンを押します。修正する場合は①を押して「1:修正」を、削除する場合は②を押して「2:削除」を選択します。



お知らせ

- ボタン、 ボタン、 ボタン、 ボタンを電話帳に登録することはできません。
- 内線番号を電話帳に登録することはできません。
- 停電になったときでも登録内容は消去されません。
- フリガナを入力しなかった場合は、フリガナで検索することはできません。



- ▶ 電話番号にポーズ(待ち時間)を入れて登録するには(☞P86)
- ▶ 登録中に「ビビビビビ」という音が鳴ったら(☞P86)
- ▶ サブアドレスを登録するには(☞P86)
- ▶ 操作を間違えたときには(☞P86)

「ワンタッチダイヤルを登録する」(P30) の手順4、「電話帳に登録する」(P32) の手順3（名前の入力状態）では、ダイヤルボタンを使って文字を入力します。文字は、漢字、ひらがな、半角カタカナ、数字、英字／記号を入力することができます。名前を入力しておくと、相手の方の名前を確認しながら電話をかけることができます。

名前、フリガナを入力する

<例> 「鈴木」と入力する

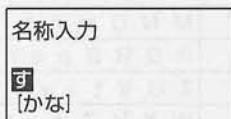
ここでは、電話帳に登録する場合を例にしていますが、入力方法はワンタッチダイヤル、グループ名称登録、内線ネーム、ドアホンネーム登録とも同じです。

- 1 文字が入力できる状態で、セレクトボタン4を押して、入力する文字の種類（入力モード）を選択する。



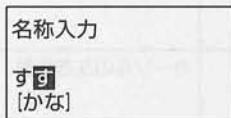
- 2 ③を3回押す。

「さ」→「し」→「す」の順に表示されます。

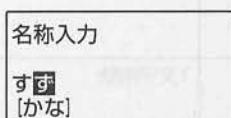


- 3 電話帳ボタンでカーソルを右に移動させ、③を3回押す。

「さ」→「し」→「す」の順に表示されます。

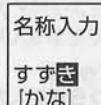


- 4 *を押す。



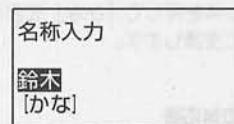
- 5 電話帳ボタンを押してカーソルを右に移動させ、②を2回押す。

「か」→「き」の順に表示されます。



- 6 ▽：音量小ボタンを押して変換候補を表示する。

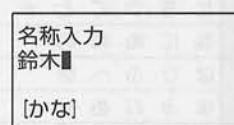
変換候補が2つ以上あるときは、▽：音量小ボタンを押すごとに順に表示されます。



履歴ボタンまたは電話帳ボタンを押して、漢字変換範囲を指定することができます。変換範囲を指定して▽：音量小ボタンを押すと、指定した文字の変換候補が表示されます。

- 7 ▽：音量小ボタンまたは△：音量大ボタンを押して変換候補を選び、➡ボタンで確定する。

確定した文字は、ディスプレイの2行目に表示されます。



- 8 ➡ボタンを押す。

名称が登録されます。

- 9 電話帳に登録する場合は、続けてフリガナを入力します。

「かな」で文字を入力した場合は、入力した文字がフリガナとして表示されます。

フリガナは、半角カタカナ、数字、英字／記号が入力できます。

同様の手順で操作を繰り返します。



ワンポイント

● 入力した文字を消すには

消したい文字に、電話帳ボタンまたは履歴ボタンでカーソルを移動させ、⌫ボタンを押します。

● 続けて同じダイヤルボタンの文字を入力するとき

電話帳ボタンでカーソルを右に移動させ、ダイヤルボタンを押します。

● ダイヤルボタンの最初の文字に戻るには

続けて同じダイヤルボタンを押します。

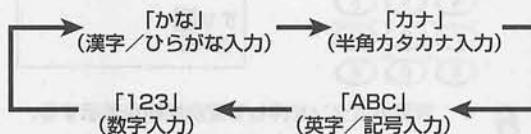
<例> 「こ」が表示されているときに②を押すと「か」に戻ります。



ワンポイント

● 入力モードを切り替えるには

文字入力中にセレクトボタン4を押すたびに入力モードが切り替わります。(フリガナ入力のときは「かな」モードに切り替えることはできません)



● 全角のカタカナを入力するには

セレクトボタン4を押して「かな」を表示させ、▽：音量小ボタンを押して変換します。

● 英字/記号を入力するには

セレクトボタン4を押して「ABC」を表示させ、下の表のように各ボタンを押します。

● 数字を入力するには

セレクトボタン4を押して、「123」を表示させ、下の表のように各ボタンを押します。

● 半角文字(カタカナ・英字・記号・数字)を入力したときは

ディスプレイの2行目に直接表示され、ボタンを押すたびに入力文字が確定されていきます。(フリガナ入力はディスプレイの2行目に直接表示されます)

● 確定した文字の間に入力するには

決定行で文字を入力したい位置にカーソルを合わせ、入力操作を行います。(カーソルが合っている文字の間に入力されます)

● ボタンと文字の対応表

入力モード ボタン	全 角		半 角	
	「かな」表示 (漢字/ひらがな入力)	「カナ」表示 (半角カタカナ入力)	「ABC」表示 (英字/記号入力)	「123」 (数字入力)
①	あ い う え お あ い う え お	アイウエオ アイウエオ		1
②	か き く け こ	カキクケコ	A B C a b c	2
③	さ し す せ そ	サシスセソ	D E F d e f	3
④	た ち つ て と っ	タチツテトッ	G H I g h i	4
⑤	な に ぬ ね の	ナニヌネノ	J K L j k l	5
⑥	は ひ ふ へ ほ	ハヒフヘホ	M N O m n o	6
⑦	ま み む め も	マミムメモ	P Q R S p q r s	7
⑧	や ゆ よ や ゆ よ	ヤユヨヤユヨ	T U V t u v	8
⑨	ら り る れ ろ	ラリルレロ	W X Y Z w x y z	9
⑩	わ を ん ー	ワヲン * -	() _ @ .	0
*	入力行*2 入力中:「*」「#」の入力			*
#				#
△:音量大ボタン ▽:音量小ボタン	入力中の文字に対する漢字 変換候補を表示			
履歴ボタン 電話帳ボタン	決定行*1 カーソルの左右移動 入力行*2 変動範囲指定	カーソルの左右移動	カーソルの左右移動	カーソルの左右移動
	決定行*1 登録 入力行*2 選択された漢字変換候補を確定	登録	登録	登録
クリア*3	1文字削除、 または漢字変換キャンセル	1文字削除	1文字削除	1文字削除

*1 決定行:ディスプレイの2行目。確定された文字が表示されます。

*2 入力行:ディスプレイの3行目。漢字変換中またはひらがな入力中の文字が表示されます。

*3 クリアボタンを2秒以上押すと入力内容がすべて削除できます。

電話帳を使って電話をかけるには (電話帳ダイヤル)

電話帳に登録されている電話番号は、メモリ番号、フリガナ、グループで検索してダイヤルできます。各内線番号からは、共通電話機、個別電話機の両方から検索されます。

1 電話帳ボタンを押す。



メモリ番号を入力して検索する画面が表示されます。フリガナ、グループで検索するには ボタンを押して各検索画面を表示します。

●メモリ番号で検索する

メモリ番号の3桁の数字をダイヤルボタンで押します。メモリ番号を入力せずに、△：音量大ボタンまたは▽：音量小ボタンで登録した電話番号を表示することができます。

メモリ番号入力
「機能」ボタンで 検索方法変更

●フリガナで検索する

半角カタカナ、英数字、記号をダイヤルボタンで入力して検索します。

たとえば、「鈴木一郎（スズキイチロー）」さんを検索するときは、サ行の「サ」または「ス」を入力して▽：音量小ボタンを押して登録した内容を検索します。また、名字やフルネームでフリガナを登録してあれば、それを入力して検索することができます。

フリガナを入力せずに、△：音量大ボタンまたは▽：音量小ボタンで登録した内容を検索できます。

1	2	3
4	5	6
7	8	9
*	0	#

フリガナ検索
■
[カナ]

●グループで検索する

登録しているグループを△：音量大ボタンまたは▽：音量小ボタンで選択して ボタンを押します。グループ内ではフリガナの50音順に表示されます。

▽：音量小ボタンまたは△：音量大ボタンで登録内容を検索します。

1	2	3
4	5	6
7	8	9
*	0	#

0 グループ 0
1 会社
2 友人
3 グループ 3

2 かけたい電話番号を表示して、外線ボタンを押す。

001 グループ 0
山田太郎
0312345678
ヤマダ タロウ



表示されている電話番号がダイヤルされます。

3 相手の声がスピーカーから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しをする。

通話時間が表示されます。

外線通話
0-10

ワンポイント

●検索を途中でやめるには

ボタンを押すと、カレンダ・時計表示に戻ります。

●電話帳の検索モードを変更するには

電話帳ボタンを押したときに最初に表示される検索画面を変更することができます。電話帳検索モード (P96)

●外線ボタンを押して電話帳を検索するには

外線捕捉中に電話帳ボタンを押すとメモリ番号からの検索ができます。他の検索はできません。

●電話帳に登録した電話番号を削除するには

共通電話帳の登録内容を削除できるのは主電話機だけです。

他の内線電話機では、個別電話帳の登録内容が削除できます。

1件だけを削除する場合は、電話番号を表示して、 ボタンを押します。表示されるメニューで ② を押します。

「削除しますか」というメッセージが表示されたら、① を

押して「1:はい」を選択します。

お知らせ

●電話帳にフリガナを登録していないときは、フリガナでの検索はできません。

●検索は、共通電話帳、個別電話帳のどちらも検索できます。

▶ 操作中や設定中に何もボタンを押さなかつた場合は (P86)

電話を取りつぐには

(保留転送)

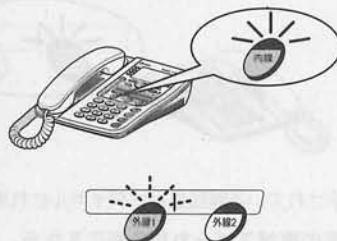
外の相手の方とのお話しを他の内線電話機に取りつぐことができます。

呼び出す方

お話し中に、外の相手の方に待っていただくよう伝えたら…

- 1 (保留) ボタンまたは (PABX) ボタンを押す。

相手の方とハンドセットには保留メロディが流れます。



- 2 呼び出す内線電話機の内線番号 (① ~ ⑧) を押す。

呼出音が聞こえます。



- 3 呼出音が終わったら、呼びかける。



- 4 呼び出された方が応答したら、電話を取りつぐことを伝える。

- 5 転送するためにハンドセットを置く。



ワンポイント

- 呼び出される方が近くにいるときは

(保留) ボタンを押したあと、口頭で連絡してください。

どの内線電話機からでも (保留) (PABX) ボタンを押してハンドセットを取りあげると電話に出ることができます。

- 呼び出す相手を変えるには

「呼び出す方」の手順3で、呼び出された方が応答しなかったときは、(フック) ボタンを押してから別の内線番号を押します。

- 外の相手の方とのお話しに戻るには

「呼び出す方」の手順3で、呼び出された方が応答しなかったときは、(保留) (PABX) ボタンを押すと外の相手の方とのお話しに戻れます。



お知らせ

- 「ブーッブーッ…」という話中音が聞こえるときは、相手の方を呼び出すことができません。(保留) (PABX) ボタンを押すと、外の相手の方とのお話しに戻ります。

- 「呼び出す方」の手順1から3の間で、一度ハンドセットを置くと、転送できません。

呼び出される方

- 1 呼出音が鳴り、続いて呼びかける声が聞こえる。



- 2 ハンドセットを取りあげてお話しをする。



- 3 外からの相手の方とお話しをする。



ワンポイント

- 呼び出される方がハンドセットを置かなかったときは

呼び出された方が (保留) (PABX) ボタンを押すと、外の相手の方とお話しできます。

- すべての内線電話機を一斉に呼び出すには（一斉呼出）
(☞P39)

- ワンタッチで内線を呼び出すには (☞P78)

●保留警報音が鳴っているときに電話にでるには
ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話しください。

- 外線1、外線2ともに保留されているときは
あとから保留した外線を転送します。



- ▶ 保留／保留転送中に電話機のスピーカから警報音が鳴ったら (☞P85)
▶ 保留中の外線を他の外線へ転送するには (☞P85)

2 電話をかける/ 受ける

内線でお話しするには

(内線通話)

他の内線電話機を内線番号で呼び出してお話しをすることができます。

呼び出す方

- 1 ハンドセットを取りあげる。
「ブーブー…」という音を確認してください。
- 2 呼び出す内線電話機の内線番号（①～⑧）
を押す。
呼出音が聞こえます。



ワンタッチボタンに内線番号を登録している場合は、
そのワンタッチボタンを押します。

- 3 呼出音が終わったら、呼びかける。



- 4 呼び出した方が応答したら、お話しをする。



- 5 お話ししが終わったら、ハンドセットを置く。



お知らせ

- 内線番号を押して「ブーブー…」という話中音が聞こえるときは、相手の方を呼び出すことができません。
しばらくしてから、おかげ直しください。



- ▶ 内線でお話し中に外からの電話に応答するには
(☞P89)
- ▶ 外線でお話し中にドアホンからの呼び出しに応答するには (☞P89)

2 電話をかける/ 受ける

内線でお話しするには (内線通話)
電話を取りつぐには (保留転送)

呼び出される方

- 1 呼出音が鳴り、続いて呼びかける声が聞こえる。
- 2 マイクボタンを押して、マイクに向かって
お話しをする。または、ハンドセットを取りあげてお話しをする。



ワンポイント

- 内線電話機ごとに名前を登録するには (内線ネーム登録) (☞P80)
- ワンタッチで内線を呼び出すには (☞P78)
- すべての内線電話機を一斉に呼び出すには (一斉呼出)
「呼び出す方」の手順2で⑨⑤を押すと、呼出音が2回鳴ったあとにすべての内線電話機へ呼びかけることができます。呼び出された方は、呼び出された内線電話機で応答することができます。ただし、電話機アダプタと接続された電話機、デジタルコードレス電話機は、一斉呼出の呼出音は鳴りません。
また、外線着信が鳴っている内線電話機は、一斉呼出の呼出音は鳴りません。
- ハンドセットを取りあげるだけで特定の内線にかけるには (内線ホットライン) (☞P100)
- ハンドセットを置いたまま相手の方とお話しをするには (ハンズフリー通話、アンサートークバック) (☞P58, 59)

留守番電話として使うには

留守番電話にすると、外出中に電話をかけてきた方に対して外出の旨を伝え（応答メッセージ）、用件を録音していただくことができます。電話機に内蔵している応答メッセージ（内蔵メッセージ）を利用すれば、すぐに留守番電話として使えます。さらに自作の応答メッセージを利用することもできます。

●外出するとき

留守をセットする

- ボタンを押して、留守をセットします。（☞P43）



■留守セット時に使用される応答メッセージ

●内蔵メッセージ

2種類のメッセージが電話機に内蔵されていますので、すぐにご利用いただけます。

<応答録音メッセージ>

「ただいま留守にしております。ご用件をピーという音のあとにお話しください。」

留守セット中に用件の録音時間の残量がなくなると応答専用メッセージになります。また応答専用に設定（☞P104）すると、応答専用メッセージが流れます。

<応答専用メッセージ>

「ただいま留守にしております。のちほどおかけ直しください。」

●自作メッセージ

自分の声でメッセージを2種類（応答メッセージ1、応答メッセージ2）、録音できます。

自分の声で応答メッセージを録音するには（☞P46）



ワンポイント

●外出先または内線電話機からリモコン操作するには

外出先または内線電話機から用件を聞くことができます。（☞P47）また、留守セットを忘れて外出したときは、リモコン操作で留守セットにすることができます。（☞P47）

●録音された用件を外出先に転送するには

外出するときに転送をセットしておくと、用件が録音されたときに、この電話機が自動的に転送先に電話をかけます。（☞P53）リモコン操作を行って、転送先で用件を聞くことができます。（☞P55）



お知らせ

- 内線電話機からリモコン操作するには、内線呼出音を「信号」に設定してください。内線呼出音設定（☞P99）
- 転送電話を設定（☞P71）している場合は、外線転送開始タイム（☞P100）を留守応答するまでの時間（留守応答着信回数 ➤P41）より長い時間を設定してください。

●外出中

用件が録音される

外出中でも自動的に電話がつながり、用件が録音されます。また、外出先へ用件を転送することもできます。（☞P53）



■用件録音

留守セット中に電話がかかってくると、自動的に電話がつながり、応答メッセージが流れます。

「ピー」という音のあとに相手の方がお話しした用件が録音されます。

電話が切れると、録音された曜日と時刻が記録されます。（タイムスタンプ）



●帰宅したら

用件を聞く

用件が録音されていると、留守ランプが点滅し、ディスプレイに録音された用件の件数が表示されます。留守を解除して録音された用件を聞きます。（☞P44）

また、留守操作ボタンを使って、保存された用件などを聞き直すこともできます。（☞P45）



留守番電話を便利に使うには

留守番電話の機能は、お買い求め時の設定を変えることで、さらに便利な使い方ができます。使い方をよくご理解いただいてから、それぞれの機能を設定してください。

留守番電話の便利な使い方

1件の用件の録音時間を変更する

■用件を録音するとき

電話がかかってくると、留守番電話が自動応答し、用件を録音します。(☞P40)

1件あたりの用件録音時間を1~5分の間で設定します。
(お買い求め時は1分に設定されています) (☞P104)

■用件を録音しないとき(応答専用)

「ただいま留守にしております。のちほどおかげ直しください。」という応答専用メッセージで応答し、用件を録音しません。

1件あたりの用件録音時間を「無」に設定すると、応答専用メッセージで応答できます。(☞P104)

応答メッセージの使い方

■内蔵の応答メッセージを使う

「ただいま留守にしております。ご用件をピーという音のあとにお話しください。」という内蔵の応答メッセージで応答します。

メッセージが内蔵されていますので、留守セットにするだけで使えます。(☞P43)

■自作の応答メッセージを使う

自分の声で録音した2種類の応答メッセージを使うことができます(応答メッセージ1、応答メッセージ2を録音します)。(☞P46)

2種類を使い分ける

外線で使い分ける

留守セットをしたあとにどちらかを選べます。
(☞P43)

外線別応答メッセージを「有り」に設定します。(お買い求め時は「無し」に設定されています) (☞P87)

留守番電話が応答するまでの着信音の回数を変える

■留守応答着信回数を変える

着信音が鳴ってから留守番電話が応答するまでの着信音の鳴る回数(応答するまでの時間)を変更できます。

留守応答着信回数を1~9回の間(約3~27秒)で設定できます。
(お買い求め時は「0:トールセイバ」に設定されています) (☞P104)

■トールセイバとは

留守番電話に電話をかけたとき、留守番電話が応答するまでの呼出回数(時間)で用件録音の有無がわかる機能です。録音がある場合は約2回(約6秒)、ない場合は約6回(約18秒)で留守番電話が応答します。トールセイバは各留守番電話機ごとに設定できます。

留守応答着信回数を、「0:トールセイバ」に設定します。(☞P104)

留守セットを忘れたときに自動応答させる(在宅自動応答)

■留守セットをしていないときに自動応答する

留守セットをしていないときでも、着信後約50秒経過すると、留守番電話が自動応答し、「ただいま留守しております。のちほどおかげ直しください。」という応答専用メッセージが流れ、リモコン操作できるように設定することができます。(☞P47)

在宅自動応答を「有り」に設定します。(お買い求め時は「有り」に設定されています) (☞P105)

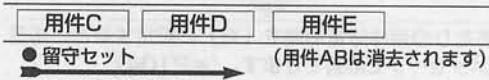
留守番電話を便利に使うには

**前の用件を消去しないで留守セットにする
(アキュムレート録音)**

■アキュムレート録音とは

一度留守を解除して聞いた用件を消さずに、留守をセットできる機能です。

<通常の留守セット>



<アキュムレート録音で留守セット>



アキュムレート録音を「有り」に設定します。(お買い求め時は「無し」に設定されています) (☞P104)

留守番電話をセットするには

主電話機は  ボタンを押すだけで、留守をセットすることができます。

1 ハンドセットを置いたまま、 ボタンを押す。

応答メッセージがスピーカから聞こえ、留守がセットされます。



ワンポイント

● 応答メッセージは

応答メッセージ1が録音されているときは、そのメッセージが流れます。録音されていないときは、内蔵の応答メッセージが流れます。応答専用のときは、自作の応答メッセージが録音されているかどうかにかかわらず、内蔵の応答専用メッセージが流れます。自作の応答メッセージを使うことはできません。(☞P46)

● 応答専用にするには

用件録音時間を「無」に設定して、留守をセットします。(☞P104)

● 自作の応答メッセージが録音されているときに ボタンを押したときは

〈応答1ボタンだけに録音されているとき〉

 ボタンを押すと、応答メッセージ1が流れます。応答1ランプが2回点滅し、応答メッセージ1で留守にセットされます。

〈応答2ボタンだけに録音されているとき〉

 ボタンを押すと、内蔵の応答メッセージが流れ、内蔵の応答メッセージで留守にセットされます。

● 応答メッセージ2で留守セットするには

留守をセットし、応答メッセージの再生が終了したあと、応答2ボタンを押して応答メッセージ2を再生すると応答メッセージ2で留守セットされます。再度、応答メッセージ1に戻したいときは、応答1ボタンを押して応答メッセージ1を再生します。

● ボタンを押して留守をセットしたときは

応答回線別に設定されている回線（外線着信、ダイヤルリンク着信、内線着信）に自動応答できます。(☞P105)

応答回線別の設定（外線着信、ダイヤルリンク着信、内線着信）をすべて「無し」に設定した場合は、 ボタンを押したときに留守ランプは点灯しますが、電話がかかってきたときに留守応答しません。

● 留守番電話をセットしていないときに自動応答するには（在宅自動応答）(☞P105)



お知らせ

● 応答メッセージ1が録音されているときは、応答1のランプが点灯します。

応答メッセージ2が録音されているときは、応答2のランプが点灯します。

● 用件は、最大約15分（通話中録音、応答メッセージ録音を含みます。最大録音時間は、録音内容で変わります。）、または59件まで録音できます。

● 1秒以内の用件は録音されません。

● アキュムレート録音（☞P104）が「無し」に設定されているときに、留守をセットすると、録音されている用件がすべて消去されます。

● 留守を解除したあと、用件がすべて再生される前に留守にセットしたときは、未再生用件があっても再生したものとみなされ、ディスプレイに「0件」と表示されます。

● 留守中に録音できる時間がなくなると、電話をかけてきた方には「ただいま留守にしております。のちほどおかけ直しください。」という応答専用メッセージが流れ、用件は録音できなくなります。

● 録音できる時間がないときに留守をセットすると、ディスプレイに「録音エリア満杯」と表示され、応答専用メッセージで留守にセットされます。

● 外線または内線の着信表示中は、留守をセットできません。

● 内線着信で留守番応答するには、内線呼出音を「信号」に設定してください。内線呼出音設定（☞P99）



▶ 外線別に応答メッセージを分けるには（☞P87）



▶ 録音可能時間を確認するには（☞P88）

留守番電話を解除するには

用件が録音されると、留守ランプが点滅します。ディスプレイには、録音された用件の件数が表示されます。主電話機の①ボタンを押すと留守が解除され、用件が再生されます。

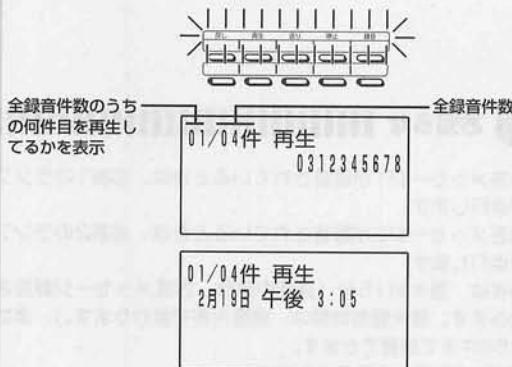
1 ハンドセットを置いたまま、①ボタンを押す。

留守ランプが消え、留守が解除されます。
用件が録音されているときは、録音件数「…件です。」
という音声のあと、各用件ごとに、用件とタイムスタンプが再生されます。



用件が録音されていないときは、「0件です。」という音声が流れます。

2 留守操作表示ランプが点灯し、留守操作モードになる。(☞P45)



再生終了後、約30秒たつと留守操作モードが解除され、カレンダ・時計表示に戻ります。

ワンポイント

①ボタンを押して留守を解除したとき

手順2で留守操作モードが解除されるまでは、留守操作ボタンを押したときと同じ操作ができます。

●タイムスタンプについて

各用件ごとに、用件が録音された曜日・時刻をお知らせします。

●用件をハンドセットから再生するには

用件再生中にハンドセットを取りあげます。

●用件の再生を停止するには

手順1で用件再生中に停止ボタンまたは②を押します。ハンドセットから用件が再生されているときは、ハンドセットを置きます。

●ディスプレイに電話番号や発信者名が表示されているときは

ナンバー・ディスプレイで相手の方の電話番号が通知された場合は、用件再生中に相手の方の電話番号が表示されます。電話帳に登録した相手の場合は、電話番号のかわりに名前が表示されます。

ディスプレイの表示は、ワンタッチボタンの5を押すことで、電話帳に登録された名前またはネーム・ディスプレイ表示／電話をかけてきた方の電話番号／タイムスタンプ表示の順に切り替えることができます。

●相手の方の電話番号が電話帳に登録されているときは

ネーム・ディスプレイにより発信者名が通知される場合でも、相手の方の電話番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録された名前を表示します。

音量

▶ スピーカ音量を調節するには（スピーカ音量）
(☞P83)

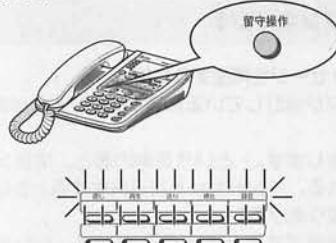
通話

▶ 用件再生中に外からの電話に応答するには (☞P89)
▶ 用件再生中に内線からの電話に応答するには
(☞P89)

録音された用件を聞くには

留守操作ボタンを押すと留守操作モードに切り替わり、留守操作表示ランプが点灯して、用件の再生、戻し、送りなどの操作をすることができます。また、留守ランプが点滅しているときに^(☞)ボタンを押しても用件を聞くことができます。(☞P44)

- 1 ハンドセットを置いたまま、留守操作ボタンを押す。
留守操作表示ランプが点灯し、留守操作モードに切り替わります。



- 2 再生ボタンを押す。
保存されている用件すべてが再生されます。



用件が録音されていないときは、「録音はありません。」という音声が流れます。

再生を途中で止める場合は、停止ボタンを押します。

- 3 留守操作ボタンを押す。
留守操作表示ランプが消灯し、留守操作が終了します。



お知らせ

- 録音された用件は、留守セット中、解除中のどちらでも再生できます。
- 再生ボタンを押して用件を再生したときは、保存された用件のすべてが再生され、ディスプレイには保存された用件を含めた件数が表示されます。
- 用件が再生されていない状態で約30秒間何も操作をしないと、留守操作表示ランプが消え、留守操作ができなくなります。このときは、手順1から操作をやり直してください。
- 相手の方が約10秒何も話さなかったり、声が小さすぎたときは、電話が切れます。このときも1件分の用件として数えられることがあります。また、相手の方が応答メッセージの途中で電話を切ったときも、1件分の用件として数えられることがあります。
- 停電になったときでも録音された用件は消えません。
- 相手の方がお使いの回線により、録音された用件の音質が異なる場合があります。
- 用件の再生中または用件を消去中に電源プラグや電話機コードを抜かないでください。故障の原因になる場合があります。



- ▶ スピーカー音量を調節するには (☞P83)
▶ 相手の方の声が聞きとりにくいときは (☞P83)
- ▶ 用件再生中に外からの電話に応答するには (☞P89)
▶ 用件再生中に内線からの電話に応答するには (☞P89)



ワンポイント

- 留守操作ボタンを押したときのワンタッチボタンの機能は留守操作モードのとき、各ワンタッチボタンの上に表示された機能を使うことができます。

表示	機能
	用件再生中に押すと、用件を聞き直すことができる。 <用件が1件目のとき> • 1件目の最初に戻る。
戻し	<用件が2件目以降のとき> • 用件再生開始後、3秒以内に押したとき： 1つ前の用件の最初に戻る。 • 用件再生開始後、3秒以降に押したとき： その用件の最初に戻る。
再生	録音された用件が1件目から再生される。
送り	用件再生中に押すと、次の用件を再生する。 最後の用件再生中に押したときは、再生が停止する。 また、送りボタンでスキップした用件は、すべて再生したものとみなされる。
停止	用件再生中に押すと、再生を停止する。
録音	通話中に押すと、お話しを録音できる。 (通話中録音) (☞P81)

- 用件をハンドセットから再生するには
用件再生中にハンドセットを取りあげます。
- 停止ボタンを押さずに用件の再生を停止するには
手順2で用件再生中に^(#)を押します。ハンドセットから用件が再生されているときは、ハンドセットを置きます。このとき、留守操作モードは解除されません。
- タイムスタンプについて
各用件ごとに、用件が録音された曜日・時刻をお知らせします。
- 用件を消去するには
消去する用件の再生中に消去ボタンを押します。次の用件があるときは、続けて再生されます。
- 用件をすべて消去するには(用件全消去) (☞P104)
- 用件を保存するには(アキュムレート録音) (☞P104)
- ディスプレイに電話番号や発信者名が表示されているときはナンバー・ディスプレイで相手の方の電話番号が通知された場合は、用件再生中に相手の方の電話番号が表示されます。電話帳に登録した相手の場合は、電話番号のかわりに名前が表示されます。
ディスプレイの表示は、ワンタッチボタンの5を押すことで、電話帳に登録された名前またはネーム・ディスプレイ表示/電話をかけてきた方の電話番号/タイムスタンプ表示の順に切り替えることができます。

応答メッセージを録音するには

自分の声で録音した応答メッセージを利用することができます。応答1ボタン、応答2ボタンそれぞれに、約15秒ずつ応答メッセージを録音することができます。また、ランプが点灯している応答1ボタンまたは応答2ボタンを押すと、応答メッセージを再生できます。

1 ハンドセットを置いたまま、応答1ボタンまたは応答2ボタンを押す。

「録音します。ハンドセットを取り、ピーという音のあとにお話しください。」という音声が流れます。



2 ハンドセットを取りあげる。

「ピー」という発信音のあとに応答メッセージを録音します。

応答1録音

3 録音が終わったら、ハンドセットを置く。または⑨を押してからハンドセットを置く。

⑨を押したときは「ピー」という音がスピーカから聞こえます。

受話器を置いて下さい

ハンドセットを置くとカレンダ・時計表示に戻ります。



ワンポイント

●応答メッセージを再生するには

①ランプが点灯している応答1ボタンまたは応答2ボタンを押す。

「再生します。」という音声のあと、応答メッセージが再生される。ハンドセットから再生するときは、ハンドセットを取りあげる。

②再生を終了するときは⑨を押す。ハンドセットを取りあげたときはハンドセットを置く。

●応答メッセージを消去するには

ハンドセットを置いたまま、消去ボタンを押しながら応答1ボタンまたは応答2ボタンを押します。押した応答ボタンに録音されている応答メッセージが消去され、そのランプが消灯します。



お知らせ

●録音時間を超えたときはスピーカから「ピー」という発信音が鳴り、録音が終了します。ハンドセットを置いてください。

●応答1ランプまたは応答2ランプが点灯しているときは、すでに応答メッセージが録音されています。ランプが点灯しているボタンに応答メッセージは録音できません。録音する場合は、ランプが点灯しているボタンの応答メッセージを消してください。

●最大録音時間（約15分）は、用件、応答メッセージ、通話中録音すべてを含めた録音時間です。残りの録音時間がないときは操作をしても応答メッセージを録音できません。

●手順1で音声が流れている間にハンドセットを取りあげたときは、音声はハンドセットから聞こえます。

●手順1で音声が流れたあとで約10秒間何も操作をしないと、「ピー」という発信音が鳴り、応答メッセージの録音が中止されます。もう一度はじめからやり直してください。

●用件が59件または最大録音時間まで録音されているときは、応答メッセージが録音されていても、「ただいま留守にしてあります。のちほどおかげ直しください。」という応答専用メッセージが流れ、用件は録音されません。

●停電になったときでも録音された応答メッセージは消えません。



▶ 外線別に応答メッセージを分けるには (☞P87)



▶ 録音可能時間を確認するには (☞P88)



▶ 応答メッセージの録音中または再生中に外からの電話に応答するには (☞P89)

▶ 応答メッセージの録音中または再生中に内線からの電話に応答するには (☞P89)

リモコン操作でできること

リモコン操作とは、外出先などからネットコミュニティシステム AX に電話をかけて、ダイヤルボタンで用件を聞くなどの操作をすることです。リモコン操作をするためには、あらかじめリモート暗証番号の登録が必要です。また、留守セットにされているか、在宅自動応答（☞P105）が「有り」に設定されていることも必要です。

■リモコン操作の準備と流れ

リモート暗証番号を登録する

主電話機から暗証番号を登録します。（☞P48）

留守をセットする

外出したり不在にするときは、留守をセットします。
留守番電話をセットする（☞P43）

外出先から電話をかける

プッシュ信号を送ることができる外の電話機やプッシュ式公衆電話から、ネットコミュニティシステム AX に電話をかけます。
他の内線電話機からの場合には、主電話機を内線番号で呼び出します。応答メッセージが聞こえたら④、リモート暗証番号、④を押します。



プッシュ式公衆電話



プッシュ信号を送ることができる電話機

ダイヤル回線に接続されている電話機でも、プッシュ信号を送る機能があればリモコン操作ができます。

主電話機の場合は、留守番電話の操作と転送電話の設定ができます。

録音された用件を聞く

曜日、時刻、録音された用件の件数に続いて、用件が聞こえます。

続けて聞こえる音声にしたがって、リモコン操作の方法を選びます。

- ・対話形式でリモコン操作する（☞P49）
- ・番号でリモコン操作する（ダイレクトリモコン）（☞P51）

リモコン操作で留守をセットする

留守をセットするのを忘れたとき、在宅自動応答が「有り」に設定されていると（☞P105）、リモコン操作で留守をセットすることができます。

- 1 ネットコミュニティシステム AX に電話をかける。
- 2 着信後約50秒経過すると、応答専用メッセージが聞こえる。
- 3 応答専用メッセージが聞こえている間に④、リモート暗証番号、④を押す。
- 4 「留守設定は#1#を、転送設定は#2#をどうぞ」のあとに、曜日、時刻が聞こえたあと、④①④を押す。
設定されている応答メッセージが聞こえ、続けて聞こえる音声にしたがってリモコン操作する。
- 5 リモコン操作を終了する場合は④①④を、対話形式でリモコン操作をする場合は④①④、直接リモコン操作を行う場合は④④④を押す。



3 留守番電話を
使う

4 リモコン
操作する

リモコン操作でできること
応答メッセージを録音するには

ワンポイント

●リモコン操作でできる機能一覧

機能	内容
用件の再生、消去	録音された用件を再生、消去できます
留守セット、解除	留守をセット、解除できます
転送電話のセット、解除	転送電話をセット、解除できます

STOP お願い

- 音声が聞こえている間に④を押す場合は、音声が確実に止まるように、少し長めに（目安として約2~3秒）押してください。（電話機によってはできない場合があります。）
- 携帯電話などで音声が聞こえている間にリモコン操作をした場合は正常に動作しないことがありますので、音声が終了してから操作してください。
- 雑音の多い場所でリモコン操作をされる場合は、正常に作動しないことがあります。

リモート暗証番号を登録するには

1 ボタン、③②を押して「3:リモート暗証番号」を表示させる。



1:留守転送
2:留守モニ
3:リモート暗証番号
4:在宅自動応答

2 ③を押す。



リモート暗証番号
暗証番号入力

3 リモート暗証番号（3～6桁）をダイヤルボタンで押す。



リモート暗証番号
暗証番号入力
1234

4 入力した数字を修正する場合はボタンを押します。

5 登録内容を確認し、ボタンを押す。

リモート暗証番号が登録されます。

ボタンを押すとカレンダ・時計表示に戻ります。

ワンポイント

●リモート暗証番号を変更するには

手順1から新しいリモート暗証番号を登録します。もとの番号は消え、新しく登録した番号がリモート暗証番号になります。

●リモート暗証番号を消去するには

手順3でボタンを押して暗証番号を消去し、ボタンを押します。

お知らせ

- リモート暗証番号には、は登録できません。リモート暗証番号が登録済みのときは、手順2で桁数分の「*」が表示されます。
- 現在登録されているリモート暗証番号を確認することはできません。また、リモート暗証番号が登録されていないときはリモコン操作はできません。

外出先から用件を聞くには

外出先からリモート暗証番号を使って、外出中などに録音された用件を聞くことができます。続けて、用件を消すなどのリモコン操作ができます。

対話形式でリモコン操作をする

- 1 ネットコミュニティシステム AXに電話をかける。
電話につながると、留守番電話の応答メッセージが聞こえます。



他の内線電話機からの場合には、主電話機を内線番号で呼び出します。

- 2 応答メッセージが聞こえている間に、**#**、リモート暗証番号、**#**を押す。
3 音声ガイダンス「留守設定は#1#を、転送設定は#2#をどうぞ」が聞こえ、次に曜日、時刻が聞こえる。
4 **#****①****#**を押す。

録音件数「…件です。」という音声のあと、用件が再生されます。

- ① ② ③
- ④ ⑤ ⑥
- ⑦ ⑧ ⑨
- * ① #

用件が録音されていないときは、「0件です。」という音声のあと、メニューガイダンスが聞こえます。

- 5 メニューガイダンス「対話形式でリモコンを行う場合は#1#を、直接リモコンを行う場合は#4#を、リモコンを終了する場合は#0#をどうぞ。」が聞こえる。
6 **#****①****#**を押す。
対話形式でのリモコン操作に設定されます。

- 7 聞こえてくる音声にしたがって、留守番電話をリモコン操作する。

- ① ② ③
- ④ ⑤ ⑥
- ⑦ ⑧ ⑨
- * ① #

はい（実行するとき）：**#****①****#**
いいえ（スキップ）：**#****③****#**

- 8 リモコン操作を終了するときは、**#****①****#**を押して電話を切る。

お知らせ

- メニューガイダンスは、音声が聞こえてから約8秒間何も操作をしないと、再度同じガイダンスが聞こえて、さらに8秒間何も操作をしないと、自動的に電話が切れます。
- 対話形式のリモコン操作中は、音声が聞こえてから約6秒間何も操作をしないと、再度同じ音声が聞こえます。さらに約6秒間何も操作をしないと、次の音声が聞こえます。最後の「リモコンを終了しますか。」という音声が2回聞こえてから約6秒たつと、自動的に電話が切れます。

- 対話形式またはダイレクトリモコンで用件を再生する場合は、アキュムレート録音（P104）の設定内容に関わらず、保存されている用件メッセージがすべて再生されます。

お願ひ

- 音声が聞こえている間に**#**を押す場合は、音声が確実に止まるように、少し長めに（目安として約2~3秒）押してください。（電話機によってはできない場合があります。）
- 携帯電話などで音声が聞こえている間にリモコン操作をした場合は正常に動作しないことがありますので、音声が終了してから操作をしてください。

外出先から用件を聞くには

外出先から用件を聞くには、留守設定機能の一歩手前で操作します。留守設定機能には、電話番号登録機能があります。



ワンポイント

- 対話形式で聞こえる音声の内容は
手順7で聞こえる音声は、次の順序です。

- ①「実行なら#、1、#を、スキップなら#、3、#をどうぞ。」
- ②「用件メッセージを消去しますか。」
- ③「用件メッセージを再生しますか。」
- ④「留守設定を解除しますか。」
- ⑤「留守設定にしますか。」
- ⑥「リモコンを終了しますか。」

- ⑥で④③②を押すと、②へスキップします。
- ④、⑤は留守設定の状態によって聞こえます。

- 対話式リモコン操作中に、メニューガイダンスへ戻るには
手順7で⑨⑩⑪を押します。

- 対話式リモコン操作中に、ダイレクトリモコン操作に変更するには

手順7で⑪⑨⑩を押してメニューガイダンスに戻り、⑪④⑪を押します。ダイレクトリモコン操作ができるようになります。(→P51)

- 留守をセットしていないときは(在宅自動応答)
留守が解除されているときでも、着信後約50秒経過すると応答専用メッセージが再生され、留守をセットすることができます。(→P47)

- リモコン操作を途中でやめるには
⑪⑩⑪を押して電話を切ります。



- ▶ リモート暗証番号を間違えたときは(→P87)
- ▶ 暗証スキップ電話番号が登録されているときは(→P87)
- ▶ トールセイバが設定されているときは(→P87)

番号でリモコン操作をする (ダイレクトリモコン)

- 1** ネットコミュニティシステム AXに電話をかける。
電話がつながると、留守番電話の応答メッセージが聞こえます。



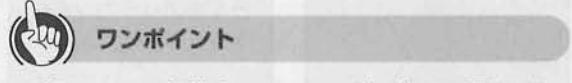
他の内線電話機からの場合には、主電話機を内線番号で呼び出します。

- 2** 応答メッセージが聞こえている間に、**②**、リモート暗証番号、**③**を押す。
- 3** 音声ガイダンス「留守設定は#1#を、転送設定は#2#をどうぞ」が聞こえ、次に曜日、時刻が聞こえる。
- 4** **②①③**を押す。
録音件数「…件です。」という音声のあと、用件が再生されます。

- ① ② ③
- ④ ⑤ ⑥
- ⑦ ⑧ ⑨
- * ⑩ #

用件が録音されていないときは、「0件です。」という音声のあと、メニューガイダンスが聞こえます。

- 5** メニューガイダンス「対話形式でリモコンを行う場合は#1#を、直接リモコンを行う場合は#4#を、リモコンを終了する場合は#0#をどうぞ。」が聞こえる。
- 6** **②④③**を押す。ダイレクトリモコン操作に設定される。
「番号をどうぞ。」という音声が聞こえます。
- 7** リモコン操作番号(**P52**)を押す。
留守番電話をリモコン操作します。
- 8** リモコン操作を終了するときは、**②①③**を押しで電話を切る。



- 番号でリモコン操作中に、メニューガイダンスへ戻るには手順7で**②⑨③**を押します。手順5の音声に戻ります。

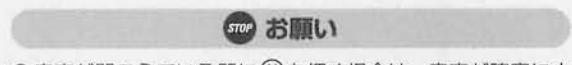
- ダイレクトリモコン操作中に、対話形式リモコン操作に変更するには手順7で**②⑨③**を押してメニューガイダンスに戻り、**②①③**を押します。対話形式でリモコン操作ができるようになります。(→P49)

- 留守セットしていないときに自動応答にするには(在宅自動応答)(→P47)

- リモコン操作を途中でやめるには**②①③**を押して電話を切れます。



- 手順6で音声が聞こえてから約8秒間何も操作をしないと、「番号をどうぞ。」という音声が聞こえます。4回目の「番号をどうぞ。」という音声のあと、電話が切れます。
- 対話形式およびダイレクトリモコンで用件を再生する場合は、キュムレート録音(→P104)の設定内容に関わらず、保存されている用件メッセージがすべて再生されます。



- 音声が聞こえている間に**②**を押す場合は、音声が確実に止まるように、少し長めに(目安として約2~3秒)押してください。(電話機によってはできない場合があります。)
- 携帯電話などで音声が聞こえている間にリモコン操作をした場合は正常に動作しないことがありますので、音声が終了してから操作をしてください。

- ▶ リモート暗証番号を間違えたときは(→P87)
▶ 暗証スキップ電話番号が登録されているときは(→P87)
▶ トールセイバが設定されているときは(→P87)

番号でできるリモコン操作 (ダイレクトリモコン操作番号)

リモコン操作中に「番号をどうぞ。」という音声が聞こえたあと、次の操作が行えます。

① #

(用件再生中に押す)

用件戻し

再生中の用件の先頭、または1件前の用件を再生します。先頭の用件のときは、再生中の用件をはじめから再生します。

② #

用件再生

用件が先頭から再生されます。

③ #

(用件再生中に押す)

用件送り

次の用件を再生します。最後の用件の再生中に押したときは、「番号をどうぞ。」という音声が聞こえます。

⑧ #

(用件再生中に押す)

再生中用件消去

再生中の用件を消去します。

* #

留守解除

留守を解除します。

#

(用件再生中に押す)

動作停止

再生が停止します。続けて他のリモコン操作を行ってください。

⑨

最初の音声に戻る

「外出先から用件を聞くには」の手順5の「メニューガイダンス」に戻ります。

①

リモコン操作終了

リモコン操作を終了し、電話が切れます。

**ワンポイント****●リモコン操作で留守をセットするには**

留守をセットするのを忘れたとき、在宅自動応答（☞P105）が「有り」に設定されていると、リモコン操作で留守をセットすることができます。

- ①ネットコミュニティシステム AX に電話をかける。
- ②着信後約50秒経過すると、応答専用メッセージが聞こえる。
- ③応答専用メッセージが聞こえている間に④、リモート暗証番号、⑤を押す。
- ④「留守設定は#1#を、転送設定は#2#をどうぞ」のあとに、曜日、時刻が聞こえたあと、⑥⑦を押す。
- ⑤設定されている応答メッセージが聞こえ、続けて聞こえる音声にしたがってリモコン操作をする。
- ⑥リモコン操作を終了する場合は⑧⑨⑩を、対話形式でリモコン操作をする場合は⑪⑫⑬を、直接リモコン操作を行う場合は⑭⑮⑯を押す。

5 用件を転送する

用件を外出先へ転送するには (転送)

転送とは、留守番電話に用件が録音されたことを自動的に外出先へ電話をかけて知らせる機能です。転送先を設定して、携帯電話に知らせることもできます。転送を行うには、あらかじめリモート暗証番号と転送先の電話番号の登録が必要です。

転送とは

転送の準備 (主電話機)

リモート暗証番号を登録します。(☞P48)

転送先の電話番号、転送に使う外線を設定します。
(☞P54)

転送をセットします。(☞P54)

留守をセットします。(☞P43)
リモコン操作で外出先や他の内線電話機からも留守を
セットできます。(☞P47)

外出します。

外出中

用件が録音されると転送先へ自動的に電話をかけます。

転送先で電話を受けます。(☞P55)

リモート暗証番号を使って用件を聞きます。

帰宅したら

転送を解除します。

留守転送を「無し」に設定します。(☞P54)

転送の利用例

外出先の電話機に転送

用件が録音されると、自動的に転送先へ電話をかけます。
転送先で用件を聞くことができます。(☞P55)



(用件録音)

4 リモコン操作する

5 用件を転送

用件を外出先へ転送するには(転送)
番号でできるリモコン操作
(ダイレクトリモコン操作番号)



- 転送に使う外線をVoIP回線に設定した場合は、転送先電話番号によってはアナログ回線やISDN回線で発信することがあります。

用件の転送先を登録してセットするには

転送をセットするときは、転送先の電話番号、転送に使う外線も同時に設定、登録します。電話番号は32桁まで登録することができます。転送をセットすると、用件が録音されたあと、転送先に自動的に電話をかけます。また、転送先で用件を聞くこともできます。(☞P55) 転送するときは、あらかじめ留守をセットしておいてください。

- 1 ボタン、③ ② を押して「1:留守転送」を表示させる。

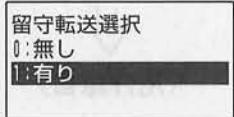


1:留守転送
2:留守モニタ
3:リモート暗証番号
4:在宅自動応答

- 2 ① を押す。

- 3 留守転送する場合は①を押す。

留守転送を解除する場合は①を押します。



- 4 転送先電話番号(32桁まで)をダイヤルボタンで押す。



留守転送
電話番号入力
0312345678

入力した電話番号を修正する場合はボタンを押します。

- 5 ボタンを押す。

- 6 転送に使う外線の番号をダイヤルボタンで押す。



留守転送
外線ピットマップ 入力
1234

ダイヤルボタン(① ~ ④)を押すと外線1~4を設定することができます。もう一度同じダイヤルボタンを押すと解除され、「-」と表示されます。

- 7 ボタンを押す。

転送に使う外線が設定されます。

ボタンを押すとカレンダ・時計表示に戻ります。留守がセットされているときは、ディスプレイに「留守転送」と表示されます。

ワンポイント

●転送を解除するには

転送がセットされているときに、手順3で①(0:無し)を選択してボタンを押します。留守がセットされているときは、ディスプレイの「留守転送」がカレンダ・時計表示に戻ります。

●転送先の電話番号を変更するには

手順4で新たに転送先電話番号を入力し直してください。

●転送先の電話番号を削除するには

手順4でボタンを押して入力した数字を削除してボタンを押します。

お知らせ

●手順6で、転送に使う外線の番号1~4をすべて「-」にしたとき(外線を設定していないとき)は、使用できる外線を自動的に使い転送します。ただし、外線3、外線4はVoIP回線を収容しているときに有効になります。

●アナログ回線をお使いのときは、手順4でボタンを押すごとに約3秒のポーズがあります。ディスプレイには「-」(ハイフン)が表示されます。

●転送先の電話番号を誤って登録すると、用件が録音されるたび、誤った相手に繰り返し電話がかかりますのでご注意ください。

転送をセットしていても、留守がセットされていないと転送されません。

●用件録音時間が「0(応答専用)」に設定されているときは、転送されません。

●録音可能時間が「満杯」で、用件が録音できなかったときは、転送されません。

●相手の方が用件を録音しないで電話を切ったときや用件が短かすぎるときは、転送されないことがあります。

●転送は、用件メッセージ録音終了約1分後に開始します。転送先がお話し中などで応答しない場合、約3分後に再発信されます。

●転送中に音量調節以外のボタン操作は行えません。ハンドセットを取りあげて置くと転送を中止します。

5 用件を転送する

転送先で用件を受けるには

転送によって転送先に電話がかかってきたときは、リモート暗証番号を使って、録音されている用件を聞くことができます。

転送先で電話を受けたときに「ピッピッ、転送します。」という音声が聞こえたら…



1 音声が聞こえている間に、④、リモート暗証番号、④を押す。

2 音声ガイダンス「留守設定は#1#を、転送設定は#2#をどうぞ」が聞こえ、次に曜日、時刻が聞こえる。

3 ④①④を押す。

録音件数「…件です。」という音声のあと、用件が再生されます。

- ① ② ③
- ④ ⑤ ⑥
- ⑦ ⑧ ⑨
- * ① ④

4 メニューガイダンス「対話形式でリモコンを行う場合は#1#を、直接リモコンを行う場合は#4#を、リモコンを終了する場合は#0#をどうぞ。」が聞こえる。

5 ④①④を押して電話を切る。



ワンポイント

●用件を受けることのできる電話機は

必ずブッシュ信号を送ることができる電話機をご利用ください。ダイヤル回線に接続されている電話機でも、ブッシュ信号を送る機能があれば用件を再生することができます。

●操作を途中でやめるときは

④①④を押して電話を切れます。

●用件再生が終わったあとは

「対話形式でリモコンを行う場合は#1#を、直接リモコンを行う場合は#4#を、リモコンを終了する場合は#0#をどうぞ」という音声が聞こえます。

④①④で対話形式リモコン (P49)

④④④でダイレクトリモコン (P51)

の操作ができます。

お知らせ

●転送は、用件録音終了約1分後に開始します。転送先がお話し中などで応答しない場合、約3分後に再発信します。

●転送できなかったときは、新しい用件が録音されるまで転送されません。

●手順1で、音声が聞こえてから約50秒以内にリモート暗証番号を入力しなかったときは、電話が切れます。この場合、再度通知されません。

お願ひ

●音声が聞こえている間に④を押す場合は、音声が確実に止まるように、少し長めに（目安として約2~3秒）押してください。（電話機によってはできない場合があります。）

●携帯電話などで音声が聞こえている間にリモコン操作をした場合は正常に動作しないことがありますので、音声が終了してから操作をしてください。

▶ リモート暗証番号を間違えたときは (P87)

5
する

用件の転送先を登録してセットするには

かかってきた電話にかけ直すには (着信履歴)

かかってきた相手の電話番号などをディスプレイに表示し、かけ直すことができます。
かかってきた電話番号は、最新のものから順に最大20件、1件につき最大32桁まで記憶されています。

- 1** ハンドセットを置いたまま、履歴ボタンを2回押す。

最後にかかってきた相手の電話番号、日時などが表示されます。



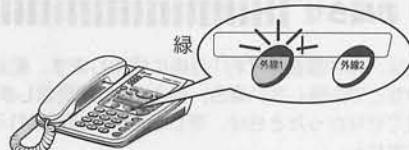
- 2** ▽:音量小ボタンまたは△:音量大ボタンを押して、かけ直す電話番号を表示する。



20件前の電話番号が表示されているときに、▽:音量小ボタンを押すと、最後にかかってきた方の電話番号に戻ります。

- 3** ○ボタンを押す。

表示されている電話番号がダイヤルされます。



- 4** 相手の方の声がスピーカーから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しをする。



操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は

（P86）



新規契約登録 バッファロー製品登録方法
お問い合わせ窓口

新規契約登録 バッファロー製品登録方法
お問い合わせ窓口

新規契約登録 バッファロー製品登録方法
お問い合わせ窓口

新規契約登録 バッファロー製品登録方法
お問い合わせ窓口

- 着信履歴で表示されるアイコン

■ … 電話がかかってきたが応答しなかった場合に表示されます。

■ … 電話がかかってきて応答した場合に表示されます。

- 着信履歴に記憶されている電話番号などを消去するには

①手順2で、▽:音量小ボタンまたは△:音量大ボタンを押して、消去する電話番号を表示させる。

② □ボタンで「4：1件削除」を表示させ④を押す。
すべての着信履歴を消去するときはマ：音量ボタンで「5：全件削除」を表示させ⑤を押す。

「全件削除しますか」というメッセージが表示されたら①を押して「1：はい」を選択します。

- 記憶した電話番号が20件を超えたときは

新しい電話番号が受信されるたびに、最も古いものから順番に消去されます。

お知らせ

- ネーム・ディスプレイに契約されている場合、手順1で発信企業名（氏名）も表示されます。

● モデムダイヤルイン（P98）やi・ナンバーを利用してい る内線電話機にかかってきた電話の着信履歴は、その内線電話機でのみ表示されます。

● 転送電話機能を使用して転送された電話は、着信履歴には記憶されません。

● 着信履歴で「公衆電話」「非通知」「表示圈外」「受信エラー」などが表示されているときは、電話をかけ直すことはできません。

● 停電になったときも着信履歴の内容は消去されません。

● アナログコードレスホン、デジタルコードレスホンは、そ の電話機に着信した記録を着信履歴として持っています。

● 着信履歴の操作中に留守操作などを行った場合、ディスプレイに着信履歴表示の一部の文字などが残ります。



▶ 操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は
（P86）

かけてきた方の電話番号と名前を登録するには (ワンタッチダイヤル/電話帳ダイヤル)

ディスプレイにかかってきた相手の名前と電話番号を表示し、ワンタッチダイヤルまたは電話帳ダイヤルに登録することができます。

かかってきた電話番号は、最新のものから順に最大20件、1件につき最大32桁まで記憶されています。

ワンタッチダイヤルに登録する

- 1 ハンドセットを置いたまま履歴ボタンを2回押す。
最後にかかってきた相手の名前と電話番号が表示されます。

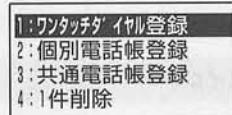


- 2 ▽:音量小ボタンまたは△:音量大ボタンを押して、
登録する着信履歴を表示する。



20件前の着信履歴が表示されているとき、▽:音量小ボタンを押すと最後にかけてきた方の着信履歴に戻ります。

- 3 ◎ボタンを押して「1:ワンタッチダイヤル登録」
を表示させ、①を押す。



- 4 登録するワンタッチボタンを押す。



- 5 ◎ボタンを押して、登録内容を確認する。
最後にかけてきた方の電話番号、日時などが表示されます。



- 6 ◎ボタンを押して、ワンタッチ名称登録画面を
表示する。

- 7 名前を入力して、◎ボタンを押す。
名前を入力する。(→P35)

- 8 ◎ボタンを押し、登録画面を表示する。
約6秒後にカレンダ、時計表示に戻ります。

ワンポイント

●記憶した電話番号が20件を超えたときは
新しい電話番号が着信されるたびに、最も古いものから順番に消去されます。

●登録しようとするワンタッチボタンを押して内容が表示されたら
すぐにワンタッチボタンに登録されている場合は、手順4でその
登録内容が表示されます。すでに登録されているワンタッチボ
タンの登録内容を消去して、着信履歴の電話番号を登録する場
合は手順5以降の操作を行います。未登録のワンタッチボタン
を検索するには、▽:音量小または△:音量大ボタンを押します。

●かけた電話番号の中からワンタッチボタンに登録するには
かけた電話番号の履歴（再ダイヤル）からワンタッチボタン
に登録するには、手順1で履歴ボタンを1回押して再ダイヤ
ルを表示します。それ以降の手順は、着信履歴を登録する手
順と同じです。

●かかってきた方の電話番号と名前を電話帳に登録するには
個別電話帳に登録する場合は、手順3で②を押して「2:個
別電話帳登録」を選択します。共通電話帳に登録する場合は、
手順3で③を押して「3:共通電話帳登録」を選択します。
名前を登録する画面が表示されます。それ以降の手順は、「
電話帳に登録する」(→P32) を参照してください。

●履歴を削除するには
1件だけを削除するには、削除したい履歴の電話番号を表示
して、手順3の画面で④を押して「4:1件削除」を選択し
ます。履歴をすべて削除するには、手順3の画面で⑤を押
して「5:全件削除」を選択します。

「全件削除しますか」というメッセージが表示された
ら、①を押して「1:はい」を選択します。

お知らせ

●モデムダイヤルイン (→P98) や i・ナンバーを利用して
いる内線電話機にかかってきた電話の着信履歴は、その内線
電話機でのみ表示されます。

●停電になったときも着信履歴の内容は消去されません。

●アナログコードレス電話機からは登録を行うことはできません。

▶ 操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は
(→P86)

かけてきた方の電話番号と名前を登録するには
(ワンタッチダイヤル/電話帳ダイヤル)

かかってきた電話にかけ直すには
(着信履歴)

6 より便利に
使う

ハンドセットを置いたまま電話をかけるには (ハンズフリー通話)

ハンドセットを置いたまま、外線通話、内線通話をすることができます。

- 1  ボタンを押して点灯していることを確認して、 ボタンを押す。
「ツー」という音がスピーカーから聞こえます。



- 2 電話番号をダイヤルボタンで押す。



- 3 相手の方が出たら、 ボタンを押して内線電話機のマイクに向かってお話しをする。



- 4 お話ししが終わったら、 ボタンを押す。

 ハンズフリーで内線に電話をかけるには

- 1  ボタンを押して点灯していることを確認して、 ボタンを押す。
「ブーブーブ…」という音がスピーカーから聞こえます。



- 2 呼び出す内線電話機の内線番号(①~⑧)を押す。

ワンタッチボタンに内線番号を登録している場合は、そのワンタッチボタンを押します。(→P78)

- 3 呼出音が終わったら、電話機のマイクに向かって呼びかける。

- 4 呼び出された方が応答したら電話機のマイクに向かってお話しをする。

- 5 お話ししが終わったら、 ボタンを押す。

ワンポイント

- ワンタッチダイヤルで電話をかけるには (→P31)
- ワンタッチボタンで内線を呼び出すには (→P78)

お知らせ

- 通話の状態により、相手の方の声や保留メロディが、一時途切れることがあります。故障ではありません。
- アナログコードレス電話機は、ハンズフリーで電話をかけることはできません。

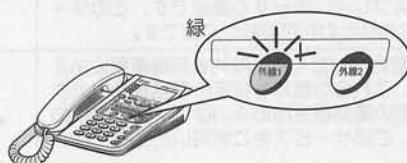
- | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
|  | ▶ スピーカー音量を調節するには (スピーカー音量)
(→P83) |
|  | ▶ ハンドセットでお話し中にハンズフリー通話にするには (→P85) |
| | ▶ ハンズフリー通話中に、ハンドセットでお話しするには (→P85) |

ハンドセットを置いたまま、外線電話、内線電話を受けることができます。

着信音が鳴り、外線ランプが赤く点滅したら…



- 1 ランプが点滅している ボタンを押す。



- 2 ボタンを押して ランプが点灯していることを確認し、内線電話機のマイクに向かって応答する。



- 3 お話し終わったら、 ボタンを押す。

ハンズフリーで内線電話を受けるには (アンサートークバック)

内線電話機のハンドセットに手を触れずにそのまま応対することができます。

アンサートークバックは、内線から音声呼出で電話がかかってきたときのみ、お使いになります。

- 1 呼出音が鳴ったら、 ボタンを押し、内線電話機のマイクに向かってお話しをする。
- 2 お話し終わり、相手の方が電話を切ると、自動的にこちらの電話も切れます。



ハンドセットを置いたまま電話を受けるには
(ハンズフリー通話)

6 より便利に
使う



お知らせ

- 通話の状態により、相手の方の声や保留メロディが、一時途切れることがあります。故障ではありません。
- アナログコードレス電話機は、ハンズフリーで電話を受けることはできません。



▶ スピーカー音量を調節するには (スピーカー音量)
(P83)



▶ ハンドセットでお話し中にハンズフリー通話にするには (P85)
▶ ハンズフリー通話中に、ハンドセットでお話しをするには (P85)

INSネットサービスの特長

INSネットサービスは、当社が提供するISDNサービスです。ISDN回線をお使いの場合、ネットコミュニティシステム AXでは、INSネットサービスを活用した様々な機能が利用できます。

■INSネットサービスを利用した機能（2004年1月現在）

機能	説明	参照ページ
INSナンバー・ディスプレイ	電話をかけたときに、発信者番号を相手の方へ通知することができます。サービスをご利用いただくには、別途当社との利用契約が必要です。	☞P63
INSネーム・ディスプレイ	ナンバー・ディスプレイサービスおよびキャッチホン・ディスプレイサービスのオプション機能であり、着信時に発信電話番号情報とともに発信企業名（氏名）情報を受信してディスプレイに表示する機能です。このサービスを利用するためには、それぞれ当社との利用契約が必要です。	☞P64
i・ナンバー	i・ナンバーサービス（有料）をご契約いただくと、契約者回線番号に加えて追加番号を持つことができます。これらの番号を特定の電話機やファックスに割り当てることによって、特定の電話機専用あるいはファックス専用の電話番号を設けることができます。このサービスをご利用いただくには、当社との利用契約が必要です。	☞P61
サブアドレス通知サービス	各内線電話機の内線番号をサブアドレスとして利用することができます。サブアドレスを利用すると、特定の内線電話機にだけ着信させることができます。	☞P66
INSメッセージ到着お知らせサービス	当社のメッセージセンタにお客様へのメッセージが録音されたとき、その情報を電話機のディスプレイに表示させて、お客様にお知らせするサービスです。このサービスをご利用いただくには、当社との利用契約が必要です。	☞P67
INSボイスワープ	フレックスホンの着信転送にくらべて、高機能な着信転送サービスです。転送先の電話番号は、当社の交換機に登録します。当社との利用契約が必要です。	☞P77
INSナンバー・リクエスト	電話番号を通知しない相手からは着信せず、電話番号を通知してかけ直すよう、相手に対し音声ガイダンスを送出します。サービスをご利用いただくには、別途当社との利用契約が必要です。 〈利用手順〉 電話番号①④⑧#で電話をかけ、サービスを開始するときは①、サービスを停止するときは①を押してください。	—
INSマジックボックス	お話し中やご不在時など、かかってきた電話に出られないときに、センターがお客様に代わって応答し、メッセージを録音するサービスです。お客様が指定するセンター以外の電話に転送することもできます。外出先の携帯電話、公衆電話などからもメッセージの再生・消去が行えます。このサービスを利用するためには、それぞれ当社との利用契約が必要です。	☞P67

●INSネットサービスの詳細については、局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。



ワンポイント

●発信者番号通知サービスをご利用いただくときは

発信者番号通知サービスのご契約の内容により、電話をかけるときの操作は以下のように異なります。

契約内容	発信者番号を通知する		発信者番号を通知しない
	通常通知 (通話ごと非通知)	相手の方の電話番号	①⑧④+相手の方の電話番号
	通常非通知 (回線ごと非通知)	①⑧⑥+相手の方の電話番号	相手の方の電話番号

i・ナンバーを利用するには

i・ナンバーサービス（有料）をご契約いただくと、契約者回線番号に加えて追加番号を持つことができます。これらの番号を特定の電話機やファクスに割り当てることによって、特定の電話機専用あるいはファクス専用の電話番号を設けることができます。

このサービスを利用するには、当社との契約が必要です。また、当社とご契約いただいたあと、i・ナンバーサービスを設定することでこのサービスをご利用いただけます。なお、お買い求め時は設定されていません。（メニュー設定が必要です）

i・ナンバーを設定する

- 1 ボタン、① ④ を押したあと、▽:音量小ボタンを押して、「8:iナンバー設定」を表示させる。



5:鳴り分けサービス
6:サブアドレス設定
7:モデルマダイヤルイン設定
8:iナンバー設定

- 2 ⑧ を押す。



- 3 i・ナンバー選択を表示させ、① を押す。



i・ナンバー選択
0:無し
1:有り

i・ナンバーが設定されます。ボタンを押すとカレンダ・時計表示に戻ります。

i・ナンバーを利用するには
INSネットサービスの特長

6 より便利に
使う



お知らせ

- i・ナンバーの設定は、主電話機以外の電話機ではできません。
- i・ナンバーの設定について詳しくは、「i・ナンバーの設定例」(P62)を参照してください。

i・ナンバーの設定例

各内線電話機に割り当てる電話番号を最大3件まで登録することができます。まず、i・ナンバーを選択し、各内線電話機に割り当てる手順は以下のとおりに行います。

また、最初に「i・ナンバーを設定する」(P61)を参考に、i・ナンバーの選択を「有り」に設定してください。

設定例

ISDN回線とi・ナンバー着信先が次のような場合で説明します。

・ ISDN回線

契約番号：03-1234-1111
追加番号1：03-1234-1112

追加番号2：03-1234-1113

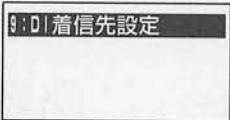
・ i・ナンバー着信先

契約番号（03-1234-1111）を内線番号1、2、3の電話機の外線1、2

追加番号1（03-1234-1112）を内線番号4、5の電話機の外線1、2

追加番号2（03-1234-1113）を内線番号6、7、8の電話機の外線1、2

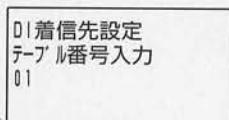
- 1 []ボタン、①④を押したあと、▽：音量小ボタンを押して、「9:D1着信先設定」を表示させる。



- 2 ⑨を押す。

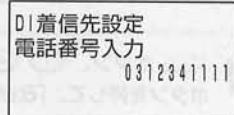


- 3 ダイヤルインの登録番号（テーブル番号）をダイヤルボタンで押し、[]ボタンを押す。

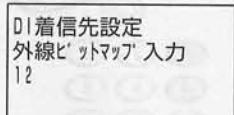


契約番号はテーブル番号「01」を、追加番号1はテーブル番号「02」を、追加番号2はテーブル番号「03」を入力してください。

- 4 登録する電話番号を市外局番からダイヤルボタンで押し、[]ボタンを押す。

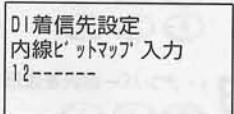


- 5 内線電話機で使用する外線をダイヤルボタンで押す。



設定例は、外線1、外線2に割り当てるため①、②を押して設定しています。

- 6 手順4で設定した電話番号に割り当てる内線番号をダイヤルボタンで押す。



設定例は、内線番号1、2に割り当てられています。割り当てられていない他の内線番号は「-」で表示されます。ダイヤルボタンを間違えて押した場合、その同じ番号をもう一度押すと「-」で表示されます。

- 7 []ボタンを押す。

手順1の画面が表示されます。続けて、追加番号1、追加番号2を登録します。

登録を終了する場合は、[]ボタンを押します。

お知らせ

- 電話番号は必ず市外局番から正しく登録してください。
- i・ナンバーについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

ナンバー・ディスプレイを利用するには

ナンバー・ディスプレイ（発信電話番号表示サービス）とは、電話をかけた相手の方の電話番号が受信側のディスプレイに表示されるサービスです。このサービスを利用するためには、別途当社との利用契約（有料）が必要です。また、オプションのネーム・ディスプレイを利用すると、電話をかけた相手の方の発信企業名（氏名）も表示されます。（☞P64）

サービスをご契約いただいたときは、必ず発ID受信回線設定（☞P97）を設定してください。ISDN回線をご利用の場合は設定に関わらず、ご契約によりINSナンバー・ディスプレイを利用することができます。

発信電話番号通知サービスのご契約の内容により、電話をかけるときの操作は異なります。（☞P60）

電話がかかってくると

かけてきた相手の方の電話番号などをディスプレイに表示します。

外線ランプが赤く点灯する



相手の方の情報を受信しています。（アナログ回線の場合のみ）

着信音が鳴り、外線ランプが赤く点滅する

外線着信 0312345678

相手の方の電話番号などが表示されます。

ハンドセットを取りあげて、
相手の方とお話しをする

外線通話 0-10
ISDN PB

通話時間が表示されます。

■相手の方の電話番号が表示されないとき

相手の方が電話番号を表示しない契約、または表示しないような発信操作を行った場合などは、発信電話番号は表示されません。ディスプレイには、電話番号が表示されない理由が表示されます。

ディスプレイ	理由
公衆電話	公衆電話から電話がかかってきたときに表示します。
非通知	かけてきた相手の方が電話番号を表示しない操作をしたとき、または表示しない契約になっているときに表示します。
表示圏外	「ナンバー・ディスプレイ」を提供していないエリアから電話がかかってきたとき、またはサービスが競合しているため電話番号を通知できない場合に表示します。
受信エラー	一時的な回線の雑音などによりデータが正常に受信できなかったときに表示します。



お知らせ

- アナログ回線用の主装置内蔵電話機で2回線ともナンバー・ディスプレイをご利用いただいている場合、2回線の両方に着信が入ってきたときは、先の着信のみを表示します。あととの着信は表示されません。（☞P111）
- アナログ回線用の主装置内蔵電話機で、2回線同時にナンバー・ディスプレイの着信を受けた場合、モードムを1つしか搭載していないため、あととの着信が話し中となる場合があります。（☞P111）
- 外線ランプが赤く点灯しているときは、電話を受けたりかけたりすることはできません。
- PBX（構内交換機）や他の通信機器などに接続されているときは、ナンバー・ディスプレイをご利用いただけないことがあります。
- 発信電話番号表示機能を利用中は着信音が聞こえるまでに時間がかかります。
- VoIP回線をご利用の場合は、設定にかかわらず、ご契約によりナンバー・ディスプレイを利用することができます。



- ▶ 相手の方の名前と電話番号がワンタッチダイヤルまたは電話帳に登録されているときは（☞P88）

ナンバー・ディスプレイを利用するには

電話の名前や会社名を表示する機能（電話番号表示装置）を付けています。この機能は、電話機側で表示される「外線ランプ」が赤く点灯するときに、相手の名前や会社名を表示する機能です。また、電話機側で表示される「外線ランプ」が赤く点滅するときに、相手の名前や会社名を表示する機能です。

ネーム・ディスプレイを利用するには

ネーム・ディスプレイ（発信企業名（氏名）情報通知サービス）とは、ナンバー・ディスプレイのオプションサービスで、電話をかけた方の発信企業名（氏名）が受信側のディスプレイに表示されるサービスです。このサービスを利用するためには、別途当社との利用契約（有料）が必要です。（ネーム・ディスプレイのみの利用契約はできません。ナンバー・ディスプレイの利用契約が必要となります。）

■ネーム・ディスプレイサービスで電話がかかってくると

かけてきた相手の方の電話番号などをディスプレイに表示します。

外線ランプが赤く点灯する



相手の方の情報を受信しています。
(アナログ回線の場合のみ)

着信音が鳴り、外線ランプが赤く点滅する

山田太郎
0312345678

相手の方の電話番号と発信企業名（氏名）などが表示されます。

ハンドセットを取りあげて、 相手の方とお話しをする

外線通話
0-10

通話時間が表示されます。

お知らせ

- 外線ランプが赤く点灯しているときは、電話を受けたりかけたりすることはできません。
- PBX（構内交換機）や他の通信機器などに接続されているときは、ネーム・ディスプレイをご利用いただけないことがあります。



- ▶ 相手の方の名前と電話番号がワンタッチダイヤルまたは電話帳に登録されているときは（☞P88）



ワンポイント

- 電話機が表示できない文字を受信したときは
標準電話機で表示できる漢字の種類は、JIS第一水準およびJIS第二水準です。それ以外の漢字コードを受信した場合は、該当する文字を「※」と表示します。

ナンバー・ディスプレイを利用した便利な機能

ナンバー・ディスプレイを利用すると、いろいろと便利な機能を使うことができます。

■かけてきた方にこちらからかけ直す（着信履歴）

電話がかかってくると、自動的に相手の方の電話番号（最大32桁）を20件まで記憶します（着信履歴）。着信履歴は内線電話機ごとに記憶されます。記憶している着信履歴を表示させ、ボタンを押すと、かけてきた方に簡単にかけ直すことができます。（☞P56）

■かけてきた方の名前と電話番号を電話帳やワンタッチダイヤルに登録する（発信者氏名登録機能）

着信履歴に記憶されている相手の方の名前と電話番号を電話帳やワンタッチダイヤルに登録できます。登録は、電話番号のみでも行えます。（☞P57）

■内線電話機ごとに電話番号を割り当てる（モデムダイヤルイン／アナログ回線のみ）

当社のモデムダイヤルインサービスに別途加入すると、電話番号（ダイヤルイン番号）を最大10番号まで割り当てることができます。相手の方が、割り当てられた電話番号（ダイヤルイン番号）に電話をかけたときに、その番号に対応する内線電話機だけを呼び出すことができます。主電話機で登録できます。（☞P66）

■登録されている相手の方からの着信音を変える（発信電話番号着信音設定／識別着信）

あらかじめ登録した電話番号（最大10か所）から電話がかかってくると、CES、PBX着信音でお知らせします。電話番号は主電話機で登録できます。（☞P98）メロディ着信音に設定しているとCES、PBX着信音は鳴りません。（☞P27）

■かけてきた電話を別の電話に転送する（転送電話）

電話番号を登録して、その電話番号から電話がかかってきたときに、他の外線へ転送する設定を行うことができます。（☞P71）

■ある特定の電話番号にかけて、その電話番号からかかったとき、すべての電話の着信音を鳴らす（緊急番号登録機能）

ある特定の電話番号を緊急番号として登録します。緊急電話番号に電話をかけて、いったん電話を切ったあと、緊急電話番号から電話がかかってきたときにすべての電話で着信音が鳴ります。（☞P97）

■かけてきた方の電話番号が非通知のとき（非通知着信拒否設定）

非通知着信拒否設定（☞P98）を「有り」に設定し、発信者番号を通知しない着信を受けた場合は、次のようになります。主電話機が何も動作（通話など）していないときは、応答メッセージで応答したあとに電話を切れます。ただし、主電話機がISDN回線／VoIP回線を利用して動作（通話など）を行っていると、応答メッセージで応答せずに電話を切れます。



ワンポイント

- ダイヤルイン番号で電話がかかってると
その番号が登録されている内線電話機では着信音が鳴り、外線ランプが赤色に点滅します。その他の内線電話機では外線ランプが赤く点灯し、着信音は鳴らず、電話に出ることはできません。
- 内線でお話し中に、発信電話番号着信音設定した相手の方から電話がかかってきたときは
スピーカーから着信音が聞こえます。お話しを終えて応答してください。



お知らせ

- 停電時は、ナンバー・ディスプレイを利用したすべての機能はご利用いただけません。
- アナログ回線でナンバー・ディスプレイの契約をしていて、発ID受信回線設定をしていない、またはモデムダイヤルインサービスをご契約いただいている場合、モデムダイヤルイン機能を設定すると、電話番号の表示が出ない、短い着信音が数回鳴ったあとに外線着信音が鳴る、通話ができない場合がある、正常に動作しないことがあるなどの事象が発生します。
- アナログ回線でナンバー・ディスプレイの契約をしないで、発ID受信回線設定をすると、電話機が正常に動作しないおそれがあります。
- アナログ回線で、ナンバー・ディスプレイやモデムダイヤルインサービスをご契約いただいている場合でも、モデム信号を受けられないときは、ナンバー・ディスプレイが表示されないことがあります。
- 共通禁止番号に登録すると、その番号へはすべての内線電話機（クラス0を除く）から電話をかけられなくすることができます。（☞P97）ただし、共通禁止番号に登録された電話番号の先頭に184、186、122などをつけて電話をかけると、共通禁止番号と一致しないため、電話がかけられるようになります。そこで、184、186、122などを削除番号として登録しておくと、共通禁止番号の先頭に184、186、122などをつけても電話をかけることはできません。（☞P97）お買い求め時は、184、186、122は削除番号として登録されています。

〈例〉

184 0312345 → 電話をかけることはできません。

└→ 共通禁止番号として登録

└→ 削除番号として登録

詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。



▶ 1つのダイヤルイン番号に複数の内線電話機が登録されている場合は（☞P86）

特定の電話機を呼び出すには、以下の方法があります。

ISDN回線の場合

i・ナンバー(有料)を契約してi・ナンバー情報を利用する方法、INSネット64の基本サービスの1つであるサブアドレス通知サービス(無料)を利用してサブアドレスを指定する方法があります。このサービスを利用するためには、別途当社との利用契約が必要です。

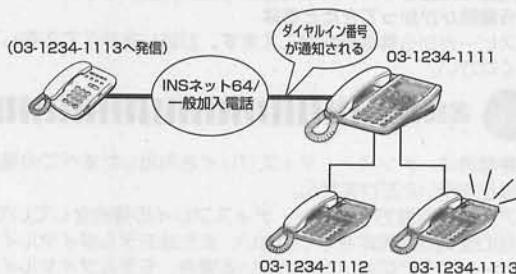
アナログ回線の場合

モデムダイヤルインサービス(有料)を契約してダイヤルイン番号を指定する方法があります。このサービスを利用するためには、別途当社との利用契約が必要です。

■モデムダイヤルインサービスを利用する

アナログ回線でモデムダイヤルインサービスをご契約いただくと、契約者回線番号とは別に複数の番号を持つことができます。ダイヤルイン番号を電話機ごとに割り当てることで、外から特定の電話機を呼び出すことができます。

- 1つの回線に03-1234-1111、03-1234-1112、03-1234-1113のダイヤルイン番号を設定したとき



■i・ナンバーサービスを利用する

i・ナンバーサービスをご契約いただくと、1つの回線で最大3つの電話番号を持つことができます。契約回線とは別に複数の番号を持つことができます。相手の方が電話をかけてきたときに通知されるi・ナンバー情報ごとに、着信させる内線電話機を特定することができます。(☞P61)

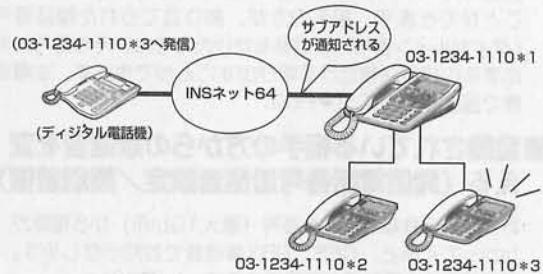
- 1つの回線に契約者回線番号:03-1234-1111、追加番号1:03-1234-1112、追加番号2:03-1234-1113を設定したとき



■サブアドレス通知サービスを利用する

サブアドレスは、INSネット64のサブアドレス通知サービスを利用するときに必要な番号です。電話番号のあとに相手のサブアドレスをダイヤルすると、特定の電話機を呼び出すことができます。ネットコミュニケーションシステムAXで電話機ごとにサブアドレスを登録しておく(☞P98)と、INSネット64を利用して電話をかけるとき、相手の方に自分のサブアドレスまで通知されます。また、外の相手の方が、電話番号のあとに相手のサブアドレスをダイヤルすることによって、特定の電話機で電話を受けることができます。(サブアドレスダイヤルイン)

- 03-1234-1110の契約回線にサブアドレス1、2、3を設定したとき



お知らせ

- アナログコードレスホン、デジタルコードレスホンでは、着信中にサブアドレスは表示されません。応答後にサブアドレスを表示します。

メッセージ到着お知らせサービスを利用するには

メッセージ到着お知らせサービスとは、当社のメッセージセンタにお客様へのメッセージが録音されたときなどに、その情報を受信しお客様にお知らせするサービスです。このサービスを利用するためには、マジックボックス、Lモードなどを当社と契約する必要があります。

メッセージ到着お知らせサービスを利用する

ネットコミュニケーションシステム AX では、メッセージセンタ1（センタ1:マジックボックス）、メッセージセンタ2（センタ2:Lモードサービスのメール）をメッセージ到着お知らせサービスにてお客様に通知することができます。

外から特定の電話機を呼び出すには（モバイルサービス／ナンバーサービス連携サービス）

メッセージ到着お知らせサービスを利用するには

6 より便利に
使う



ワンポイント

● メッセージセンタ1、2をディスプレイに表示させるには

メッセージセンタ1、2（センタ1:マジックボックス、センタ2:メール）をディスプレイに表示させるには、電話機アダプタ（オプション）に接続したLモード端末が必要となります。メッセージの表示方法に関しては、Lモード対応機器の取扱説明書を参照してください。



お知らせ

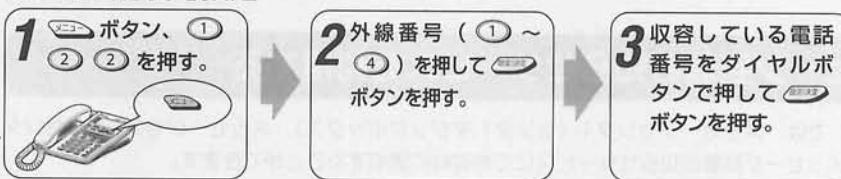
- ネットコミュニケーションシステム AX はLモードには対応していません。Lモード（メッセージ到着お知らせサービスの表示を含む）をご利用いただく場合は、対応する機器をご用意いただいたうえで、電話機アダプタ（オプション）と接続してお使いください。接続できる機種やオプションに関して、詳しくは当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。
- 停電中は「メッセージ」の通知が表示されません。また、通知が表示されているときに停電になった場合は表示が消え、停電が終わっても再度、表示はされません。
- 「メッセージ」は通話中や操作中は表示されません。
- 「メッセージ」の表示は、メッセージを聞いても、すぐに消えません。メッセージセンタからのメッセージ消去情報を受信すると自動的に消えます。
- マジックボックス、Lモードサービスの詳細については、局番なしの116または当社の営業所等へお問い合わせください。

より便利に
使う

メッセージ到着お知らせサービスを利用するには

メッセージ到着お知らせサービスをご利用いただくには、「収容回線番号設定」(P96)、「発アドレス設定」(P96)、「DI着信先設定」(P98)、「メ有り通知先設定」(P99)を設定する必要があります。

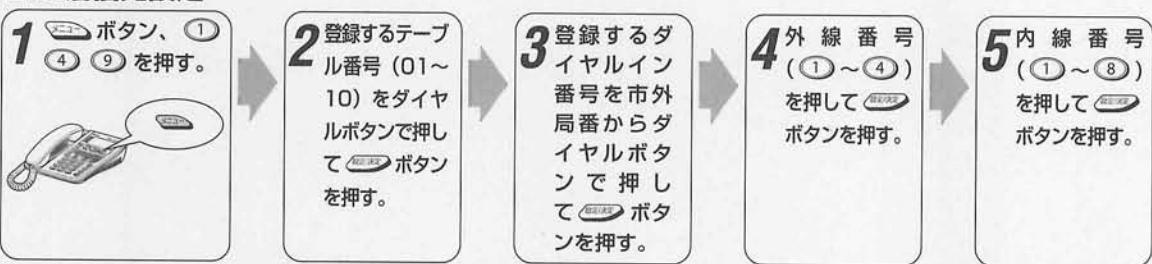
■収容回線番号設定



■発アドレス設定



■DI着信先設定



■メ有り通知先設定



メッセージ到着お知らせサービスの設定例

設定例)

●回線

契約番号：03-〇〇〇〇-1111（マジックボックス契約、Lモード契約有り）

●内線電話機にメッセージ到着お知らせサービスを通知させる

- 契約番号：03-〇〇〇〇-1111がマジックボックス契約を行っているため、その着信先である内線番号1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8の電話機にメッセージ到着お知らせサービスを通知させることができます。Lモード対応機器を接続した電話機アダプタ（オプション）を着信先とした場合には、メッセージ到着お知らせサービスの通知（センタ1）を表示させることができます。また、契約番号03-〇〇〇〇-1111がLモード契約を行っているため、Lモード対応機器を接続した電話機アダプタ（オプション）を着信先とした場合には、メッセージ到着お知らせサービスの通知（センタ2）を表示させることができます。

メッセージ到着お知らせサービス設定（メ有り通知先設定）

①登録テーブル番号	②電話番号	③内線番号
1	03-〇〇〇〇-1111	12345678

(注) 電話番号は必ず市外局番から正しく登録してください。



ワンポイント

●マジックボックスをご利用いただいている場合は

メッセージセンタ1（センタ1:マジックボックス）にお客様へのメッセージが到着したときには特定の内線電話機（電話機アダプタ（オプション）に接続したLモード対応機器にはディスプレイ表示可能）に通知してお知らせすることができます。

●Lモードをご利用いただいている場合は

ネットコミュニティシステム AXはLモードには対応していません。Lモードをご利用いただく場合は、対応する機器をご用意し、電話機アダプタ（オプション）と接続し「オフック外線捕捉」（☞97）を設定してお使いください。メッセージセンタ2（センタ2:メール）にお客様へのメッセージが到着したときには、Lモード対応機器のディスプレイに表示させてお知らせすることができます。

●マジックボックス、Lモードを両方ご利用されている場合は

メッセージセンタ1（センタ1:マジックボックス）にお客様へのメッセージが到着したときには、特定の内線電話機（電話機アダプタ（オプション）に接続したLモード対応機器にはディスプレイ表示可能）に通知してお知らせすることができて、メッセージセンタ2（センタ2:メール）にお客様のメッセージが到着したときには、Lモード対応機器のディスプレイに表示させてお知らせすることができます。



お知らせ

●Lモードサービスのメールはネットコミュニティシステム AXの電話機ではご利用いただけません。

●メッセージ到着お知らせサービスについては、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

i・ナンバーサービスを利用している場合の設定例

i・ナンバーの登録・設定については61ページを参照してください。

設定例)

●ISDN回線

契約番号：03-〇〇〇〇-1111 (INSマジックボックス契約有り)

追加番号：03-〇〇〇〇-1112 (Lモード契約有り)

追加番号：03-〇〇〇〇-1113

●i・ナンバー着信先

契約番号03-〇〇〇〇-1111を内線番号1, 2, 3の電話機の外線1, 2

追加番号03-〇〇〇〇-1112を内線番号4, 5の電話機の外線1, 2

追加番号03-〇〇〇〇-1113を内線番号6, 7, 8の電話機の外線1, 2

i・ナンバーサービス設定 (DI着信先設定)

①登録テーブル番号	②電話番号	③内線番号
01	03〇〇〇〇1111	123----
02	03〇〇〇〇1112	---45---
03	03〇〇〇〇1113	-----678
04		-----
05		-----

●内線電話機にINSメッセージ到着お知らせサービスを通知させる

- 契約番号03-〇〇〇〇-1111がINSマジックボックス契約を行っているため、その着信先である内線番号1, 2, 3の電話機にINSメッセージ到着お知らせサービスを通知させることができます。電話機アダプタ（オプション）と接続したLモード対応機器には、ディスプレイに表示（センタ1）させることができます。

INSメッセージ到着お知らせサービス設定（メ有り通知先設定）

①テーブル番号	②電話番号	③内線番号
1	03〇〇〇〇1111	123----

(注) 電話番号は必ず市外局番から正しく登録してください。

- 追加番号03-〇〇〇〇-1112がLモード契約を行っているため、その着信先である内線番号4, 5の電話機にINSメッセージ到着お知らせサービスの通知（センタ2）を表示させることができます。ただし、内線番号4, 5の電話機は電話機アダプタ（オプション）と接続したLモード対応機器が必要となります。

INSメッセージ到着お知らせサービス設定（メ有り通知先設定）

①テーブル番号	②電話番号	③内線番号
2	03〇〇〇〇1112	---45---

(注) 電話番号は必ず市外局番から正しく登録してください。



ワンポイント

●マジックボックスをご利用いただいている場合は

メッセージセンタ1（センタ1:マジックボックス）にお客様へのメッセージが到着したときには特定の内線電話機（電話機アダプタ（オプション）と接続したLモード対応機器にはディスプレイ表示可能）に通知してお知らせすることができます。

●Lモードをご利用いただいている場合は

ネットコミュニティシステム AX はLモードには対応していません。Lモードをご利用いただく場合は、対応する機器をご用意いただいたうえで、電話機アダプタ（オプション）と接続し「オフック外線捕捉」（☞P97）を設定してお使いください。メッセージセンタ2（センタ2:メール）にお客様へのメッセージが到着したときは、Lモード対応機器のディスプレイに表示させてお知らせすることができます。

●マジックボックス、Lモードを両方ご利用されている場合は

メッセージセンタ1（センタ1:マジックボックス）にお客様へのメッセージが到着したときには、特定の内線電話機（電話機アダプタ（オプション）と接続したLモード対応機器にはディスプレイ表示可能）に通知してお知らせすることができ、メッセージセンタ2（センタ2:メール）にお客様のメッセージが到着したときには、Lモード対応機器のディスプレイに表示させてお知らせすることができます。



お知らせ

- ネットコミュニティシステム AX はLモードには対応していません。Lモードをご利用いただく場合は、対応する機器をご用意いただいたうえで、電話機アダプタ（オプション）と接続してお使いください。電話機アダプタ（オプション）と接続したLモード対応機器には、メッセージ到着お知らせサービスを表示することができます。接続できる機種やオプションに関して、詳しくは当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。
- メッセージ到着お知らせサービスをご利用いただく場合、「収容回線番号設定」（☞P96）「発アドレス設定」（☞P96）「DI着信先設定」（☞P98）「メ有り通知先設定」（☞P99）を契約内容にしたがって設定してください。
- メッセージ到着お知らせサービスは、転送電話の対象にはなりません。
- i・ナンバーサービスをご利用いただくには「ナンバー設定」（☞P98）「DI着信先設定」（☞P98）が必要です。あらかじめ「i・ナンバー設定」「DI着信先設定」がされていない場合はi・ナンバー設定を行っても特定の内線電話機の呼び出しが行えません。
- 着信させたい内線電話機の設定は、表示されている番号が指定された内線番号で、指定されていない内線番号は「-」で表示されます。（例、内線番号1, 2, 3, 4の電話機有り、内線番号5, 6, 7, 8の電話機無し「1234----」）
- Sメールはネットコミュニティシステム AX の電話機ではご利用いただけません。
- メッセージ到着お知らせサービスについては、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

転送電話とは、かかってきた電話をあらかじめ設定しておいた電話番号に転送する機能です。携帯電話やIP電話に転送することもできます。転送電話を行うには、転送先の電話番号の登録、転送電話のセットなどが必要です。

転送電話とは

転送の準備（主電話機）

転送先の電話番号を「転送先リスト」に登録します。
(☞P72)

かかってきた電話番号で転送を行う場合、「発信者電話番号リスト」に登録します。(☞P72)

転送設定で転送する条件を詳しく設定します。
(☞P73)

着信の条件や転送に使う外線、転送先リスト、発信者電話番号リストなどを設定します。

その他に転送の開始時間、転送先の呼び出し時間などを設定します。

転送のセット（各内線電話機）

転送をセットします。(☞P75)

主電話機で登録した「転送設定」のテーブル番号を選択します。

リモコン操作で外出先や他の内線電話機からも転送電話をセットできます。

外出します。

外出中

外線がかかってくると、転送設定に設定された条件で転送先に電話がかかってきます。

転送先で電話を受けます。

帰宅したら

転送を解除します。

内線電話機の「個別設定」で転送を「無し」に設定します。

転送の利用例

①外出先の電話機に転送

電話がかかってくると、自動的に転送先へ電話をかけます。相手の方とお話しできます。

②特定の相手先からの電話を外線に転送

登録した電話番号から電話がかかってきたら、自動的に転送先へ電話をかけます。登録していない電話番号からの電話は転送されません。

かかってきた電話を他の外線へ転送するには（転送電話）
メッセージ到着お知らせサービスを利用するには



お知らせ

- 留守をセットしている場合、留守応答着信回数(☞P104)の設定で応答します。(1回:約3秒~9回:約27秒)また、留守をセットしていない場合でも在宅自動応答(☞P105)が「有り」に設定されていると、着信後、約50秒で応答します。そのため外線転送開始タイム(☞P100)を応答時間より短い時間に設定してください。(この場合は、転送時間呼出(☞P100)を「無し」に設定する必要があります)

転送電話を設定するには（転送電話）

転送電話の転送先を「転送先リスト」に登録します。転送先リストは5つの登録テーブル（登録番号）に各3件まで登録できます。また、かかってきた電話の電話番号を確認してその外線を転送することもできます（発信者電話番号リスト）。転送をセットするときに、各リストの登録テーブルは複数設定することができます。

転送先の外線を設定する

- 1 ボタン、① ⑨ を押して「1:転送先リスト」を表示させる。



1:転送先リスト
2:発信者電話番号リスト
3:転送設定
4:外線転送開始タイム

- 2 ① を押す。



- 3 転送先リストのテーブル番号（登録番号）をダイヤルボタンで押し、 ボタンを押す。



転送先リスト
テーブル番号入力

テーブル番号は5つまで登録できます。

各テーブル番号に登録できる転送先は3件までです。

- 4 転送先の電話番号（32桁まで）をダイヤルボタンで押し、 ボタンを押す。



転送先リスト
電話番号入力 [1]

続けて同じテーブル番号に転送先をあと2件登録できます。続けて登録しない場合は、未入力のまま登録確認音が鳴るまで ボタンを押します。

発信者の電話番号を登録する

- 1 ボタン、① ⑨ を押して「2:発信者電話番号リスト」を表示させる。



1:転送先リスト
2:発信者電話番号リスト
3:転送設定
4:外線転送開始タイム

- 2 ② を押す。



- 3 発信者電話番号リストのテーブル番号（登録番号）をダイヤルボタンで押し、 ボタンを押す。



発信者電話番号リスト
テーブル番号入力

テーブル番号は5つまで登録できます。

各テーブル番号に登録できる転送先は10件までです。

- 4 発信者の電話番号（32桁まで）をダイヤルボタンで押し、 ボタンを押す。



発信者電話番号リスト
電話番号入力 [01]

続けて同じテーブル番号に転送先をあと9件登録できます。続けて登録しない場合は、未入力のまま登録確認音が鳴るまで ボタンを押します。

転送先リスト、発信者電話番号リストの設定が終わったら、次は転送の条件を設定します。転送設定の条件もテーブル番号に5つまで登録でき、転送電話設定時に複数の選択することができます。

転送の条件を設定する

- 1  ボタン、① ⑨ を押して「3:転送設定」を表示させる。



1	2	3
4	5	6
7	8	9
*	0	#

1:転送先リスト
2:発信者電話番号リスト
3:転送設定
4:外線転送開始タイム

- 2 ③ を押す。

1	2	3
4	5	6
7	8	9
*	0	#

- 3 転送設定の登録番号（テーブル番号）をダイヤルボタンで押し、 ボタンを押す。

1	2	3
4	5	6
7	8	9
*	0	#

転送設定
テーブル番号入力

テーブル番号は5つまで登録できます。

- 4 転送条件を選択する。

着信の回線で転送を行う場合は①を、ダイヤルイン番号で転送を行う場合は②を押します。

転送条件選択
1:着信回線指定
2:着信DI指定

- 5 着信回線指定を選択した場合は、転送する着信外線をダイヤルボタン（①～④）で押す。着信DI指定を選択した場合は、転送するダイヤルイン番号（32桁まで）をダイヤルボタンで押す。

（着信回線指定を選択した場合）（着信DI指定を選択した場合）

転送設定
着信外線ビットマップ 入力
12--

転送設定
着信ダイヤルイン番号入力
0312345678

- 6  ボタンを押す。



- 7 「発信者電話番号リスト」で設定した発信者テーブル番号をダイヤルボタンで押し、 ボタンを押す。

1	2	3
4	5	6
7	8	9
*	0	#

転送設定
発信者テーブル番号入力

発信者電話番号リストを登録していない場合は、何も入力せずに ボタンを押します。

- 8 「転送先リスト」で設定した転送先テーブル番号をダイヤルボタンで押し、 ボタンを押す。

1	2	3
4	5	6
7	8	9
*	0	#

転送設定
転送先テーブル番号入力

- 9 外線を転送するときに発信する外線番号をダイヤルボタンで押し、 ボタンを押す。

1	2	3
4	5	6
7	8	9
*	0	#

転送設定
転送発信外線ビットマップ
-2-4

- 10 外線に転送すると同時に、内線電話機も呼び続けるかどうかを選択する。

内線電話機を呼び出さない場合は①を、呼び続ける場合は②を押します。

転送時内線呼出選択
0:無し
1:有り

転送を行う条件が設定され、手順1の画面に戻ります。



ワンポイント

● 着信DI指定で登録する番号

手順5で「2:着信DI指定」に登録するダイヤルイン番号は、DI着信先設定（☞P98）で登録した番号を入力します。

● 転送先リスト、発信者電話番号リストの電話番号を消去するには

72ページの各リストの登録の手順と同様に操作を行い、手順4で表示される電話番号を [削除] ボタンを押して消去し、[削除] ボタンを押します。複数のテーブル番号に登録している場合は、そのテーブル番号ごとに消去してください。

● 転送の開始時間を設定するには

外線がかかってきて転送するまでの時間を設定することができます。時間を「0」に設定すると無条件で転送します。
外線転送開始タイマ（☞P100）。

● 転送設定を消去するには

73ページの手順5で着信回線、または着信ダイヤルイン番号を設定せずに、[削除] ボタンを押します。

● 転送先の呼び出し時間を設定するには

転送先の外線を呼び出す時間を設定することができます。外線転送呼出時間（☞P100）。設定した時間で転送先が応答しない場合、「転送先リスト」に登録している次の電話番号へ発信されます。また、「転送先リスト」に転送先が登録されていない場合は、自動的に回線が切れます。

● 転送先がお話し中のときは、次のような動きとなります。

転送元・転送先	転送先がお話し中のときの動作
ISDN回線→ISDN回線	
ISDN回線→VoIP回線	すぐに「転送先リスト」（☞P100）に登録している次の電話番号へ発信されます
VoIP回線→ISDN回線	
VoIP回線→VoIP回線	
アナログ回線→VoIP回線	
VoIP回線→アナログ回線	「外線転送呼出時間」（☞P100）に設定した時間を超えると登録している次の電話番号へ発信されます。応答条件（応答リバースなし回線等）によって転送しない場合があります。

「転送先リスト」に次の転送先が登録されていない場合は、転送を終了します。

● 「転送先リスト」に登録している電話番号が、お話し中などで使用できない場合

転送開始トーキ中に転送失敗トーキが流れることがあります。



お知らせ

- アナログ回線ご利用のときは、転送開始トーキ有無（☞P101）または転送失敗トーキ有無（☞P101）のいずれかまたは両方を「有り」の設定にしてください。（トーキを「有り」に設定した場合は、転送の成功、失敗にかかわらず、転送元に課金されます）
- 留守番電話の応答中などでは、トーキが送出されない場合があります。
- 転送先の電話番号を誤って登録すると、外線電話がかかってくるたび、誤った相手に繰り返し電話がかかりますのでご注意ください。
- お買い求め時には、転送先で転送電話を通話できる時間を30分に設定してあります。この設定を変更することができます。回線強制切断時間（☞P101）。回線強制切断時間を「0」に設定すると、回線は切断されません。
- 「転送発信外線」にVoIP回線を登録した場合、「転送先リスト」に登録した電話番号がVoIP回線で通信不可能な番号のときは、次の転送先へ転送されます。
- アナログ回線からアナログ回線への転送電話は利用できません。

転送電話をセットするには

転送をセットすると、転送条件に設定した条件で外線電話が転送されます。

転送電話をセットする

- 1 ボタン、② ③ を押して「1:外線転送登録設定」を表示させる。



1:外線転送登録設定
2:外線転送利用

- 2 ① を押す。



- 3 転送設定のテーブル番号をダイヤルボタンで押す。



外線転送登録設定
テーブルピットマップ 入力
123--

- 4 ボタンを押して「2:外線転送利用」を表示させ、② を押す。

外線転送利用選択
0:無し
1:有り

- 5 外線へ転送する場合は① を押す。

外線への転送が設定されました。 ボタンを押すとカレンダ・時計表示に戻ります。
転送電話がセットされると、ディスプレイに「転」のアイコンが表示されます。

2月19日(木) 午後 3:05



プラス
α

リモコン操作で転送電話をセットする

転送電話にセットするのを忘れたとき、在宅自動応答が「有り」に設定されており（☞P105）、リモート暗証番号を登録（☞P48）しているとリモコン操作で転送電話をセットすることができます。

- 1 ネットコミュニティシステム AXに電話をかける。
- 2 着信後約50秒経過すると、応答専用メッセージが聞こえる。
- 3 応答専用メッセージが聞こえている間に、④、リモート暗証番号、⑤を押す。
- 4 「留守設定は#1#を、転送設定は#2#をどうぞ」のあとに、曜日、時刻が聞こえます。そのあとに、④ ② ④を押す。
- 5 「転送を開始するときは#1#を、停止するときは#2#を入力してください」のあとに④ ① ④を押す。
「設定しました。」というメッセージが聞こえる。
- 6 「リモコンを終了しますか」というメッセージが聞こえる。リモコン操作を終了する場合は④ ① ④を押す。手順5へ戻る場合は④ ⑨ ④を押す。解除する場合は手順5でのメッセージのあと④ ② ④を押す。

 ワンポイント

- ワンタッチボタンで転送をセットするには
ワンタッチボタンに転送セッティング機能を登録することができます。（☞P79）
- 外線へ転送する場合に、電話機からメッセージを出すには。
外線へ転送する場合に「転送を開始します」というメッセージや、設定した外出転送呼出時間（☞P100）で転送先の応答がない場合は「応答がないため切断します」というメッセージを出すことができます。転送開始トーキー有無、転送失敗トーキー有無（☞P101）

● 転送電話を解除するには

転送電話がセットされているとき、解除するには転送電話のセットと同じ操作を行います。ただし、手順5で① を押して「0:無し」を選択します。ディスプレイのアイコンが消えます。

 お知らせ

- 転送先への発信は、発信規制の対象とはなりません。
- G4FAX着信呼、非制限デジタルでの着信呼については転送電話の対象とはなりません。
- 空き外線があれば、同時に2転送まで可能です。
- 応答メッセージが流れているときは、転送開始トーキー有無（☞P101）、転送失敗トーキー有無（☞P101）を「有り」に設定していても、音声は流れません。

■転送電話を設定したときにリモコン操作をする場合

転送電話を設定して、外出先からリモコン操作を行いたい場合は、次の2点に注意してください。

- ・外出先からリモコン操作を行う場合、「転送設定」で「発信者電話番号リスト」を未登録にしない。
- ・リモコン操作を行う電話番号は、「発信者電話番号リスト」に登録しない。

「転送設定」で「発信者電話番号リスト」のテーブル番号を設定していないとき（未登録のとき）は、外出先からかかった電話はすべて転送先に転送されます。電話をかけてリモコン操作しようとしても、その電話も転送されてしまいます。そのため、外出先からリモコン操作を行う場合は、「発信者電話番号リスト」に、リモコン操作を行う電話番号以外の番号を登録してください。未登録のままでは、リモコン操作をすることができません。

●転送設定で発信者テーブル番号が未登録のとき



●転送設定で発信者テーブル番号を登録しているとき



■転送電話の検索順位

外線電話がかかってくると、電話番号を検索して転送します。その検索優先順位は、次のとおりです。

- ①「着信ダイヤルイン番号」が一致しており「発信者電話番号リスト」に一致している
- ②「発信者電話番号リスト」が一致しており「着信回線」が一致している
- ③「着信ダイヤルイン番号」が一致
- ④「着信回線」が一致

この検索優先順位と着信パターンを組み合わせた転送検索順序は次のようにになります。

着信パターン		転送検索順序
発番号	着番号	
○	○	① → ② → ③ → ④ → 転送なし
○	×	② → ④ → 転送なし
×	○	③ → ④ → 転送なし
×	×	④ → 転送なし

* 転送テーブル番号の若い番号から検索を開始して、最初に一致したものから使用します。「転送なし」の場合でも、「鳴動設定」を設定している内線電話機に着信します。

発信者電話番号と着信回線を設定し、発信者電話番号リスト（➡P100）と着信回線指定（➡P100）が一致したときは、検索優先順位の②となり、転送されます。

もし、発信者電話番号が発信者電話番号リストと一致しないときでも着信回線が一致すれば、検索優先順位の④となり、転送されます。発信者電話番号、着信回線が一致しないときは転送されません。

お知らせ

- ナンバー・ディスプレイ契約のない回線では、リモコン操作で転送設定を停止することはできません。

INSボイスワープを利用するには

INSボイスワープをご利用いただくときに、次のすべてについて利用者の方が直接設定することができます。

- ①転送サービスの開始（転送方法の選択）／停止
- ②転送先電話番号の登録
- ③転送先リストの選択（転送先の選択）
- ④無応答時の転送の起動時間（転送待ち時間）の設定
- ⑤リモートコントロール機能の設定（暗証番号の設定）
- ⑥転送トーキーの設定
- ⑦転送元電話番号通知の設定

なお、INSボイスワープをご利用いただくには、別途当社との利用契約（有料）が必要です。

転送先電話番号を登録する

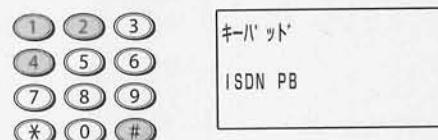
〈例〉 転送先リスト0へ登録する場合

外線ランプが消えていることを確認して…

- 1 ハンドセットを取りあげる。
「ブーブー…」という音を確認してください。
- 2 ボタンを押す。
「ツー」という発信音を確認してください。



- 3 ① ④ ② ② # を押す。



- 4 転送先電話番号を押す。
約6秒で登録が終わります。
- 5 ハンドセットを置く。

お知らせ

- INSボイスワープをご利用いただく場合は「発アドレス設定」または「収容回線番号設定」を設定する必要があります。（P96）
 - 転送先電話番号は、当社の交換機に登録されますので、転送サービスをセット中に停電になってしまっても、電話は転送されます。
 - 手順4で押す電話番号はあらかじめワンタッチボタンに登録しておき、ワンタッチボタンを押すことでも入力できます。
 - 手順3で#を押さなくても、約5秒後に自動的に発信します。
 - 登録や設定を行うための番号を押すときは、ディスプレイに「キーパッド」と表示されているときのみ有効です。表示されていない場合は、ボタン、キーパッド送出モード切替用の番号(*, #)を押してから、登録や設定を行うための番号を押してください。
 - 転送先リスト1～4への登録や転送先の選択など左記以外の操作を行うときは、INSボイスワープの特番、#を押したあと、音声ガイダンスにしたがって、登録や設定を行うための番号を押してください。
- 〈例〉 転送先リスト1～4へ登録する場合
- ①ハンドセットを取りあげる。
 - ②ボタンを押す。
 - ③① ④ ② ④ # を押す。
 - ④音声ガイダンスにしたがって、①を押す。
 - ⑤転送先リスト（①～④）を押す。
 - ⑥転送先電話番号を押し、登録が終わります。
 - ⑦ハンドセットを置く。
- INSボイスワープの特番、登録や設定を行うための番号など、INSボイスワープについて、詳しくは局番なしの116番（無料）または当社の営業所等へお問い合わせください。

ワンタッチボタンに内線番号や機能を登録するには

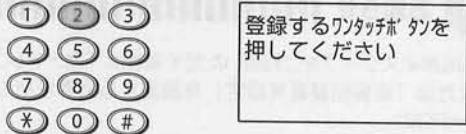
ワンタッチボタンには、電話番号のほか、内線番号やいろいろな機能を登録することができます。内線番号を登録すると、ワンタッチボタンを押すだけで、特定の内線電話機の呼び出しが行えます。また、機能を登録することにより、複数の操作をワンタッチボタンで行うことができます。1つのワンタッチボタンには、電話番号、内線番号、機能のどれか1つを登録できます。登録は各内線電話機ごとに行います。

内線番号を登録する

- 1 ボタン、② ④ を押して「2:ワンタッチ機能登録」を表示させる。



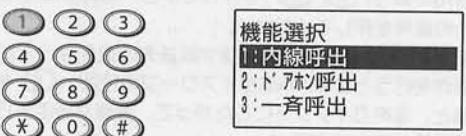
- 2 ② を押す。



- 3 内線番号を登録するワンタッチボタンを押す。



- 4 「1:内線呼出」を表示させ、① を押す。



- 5 内線番号をダイヤルボタンで押し、ボタンを押す。



ワンタッチ機能登録
内線番号入力

内線番号がワンタッチボタンに登録されます。
続けてワンタッチボタンに内線番号を登録する場合は、手順2からの操作を繰り返します。
登録を終了する場合は、ボタンを押します。

ワンポイント

- 内線番号を登録したワンタッチボタンを押して内線電話機を呼び出すには

ハンドセットを取りあげてからかける場合も、ハンドセットを置いたままかける場合も、ワンタッチボタンを押します。

- 内線の一斉呼出を設定するには

①手順3で一斉呼出を登録するワンタッチボタンを押す。
②手順4で③(3:一斉呼出)を押す。

お知らせ

- 内線番号をワンタッチボタンに登録した場合、ワンタッチボタンを押したときにディスプレイには内線の名称と内線番号が表示されます。

機能を登録する

- 1  ボタン、  を押して「2:ワンタッチ機能登録」を表示させる。



1:ワンタッチダイヤル登録
2:ワンタッチ機能登録

- 2  を押す。

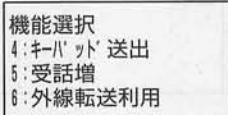
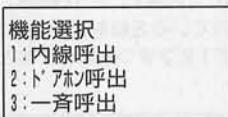


登録するワンタッチボタンを
押してください

- 3 機能を登録するワンタッチボタンを押す。



- 4 登録する機能を▽:音量小ボタンまたは△:音量大ボタンで選択する。



「2:ドアホン呼出」を選択した場合は、ドアホン番号（ または ）を押します。

- 5  ボタンを押す。
機能がワンタッチボタンに登録されます。
続けてワンタッチボタンに機能を登録する場合は、手順2からの操作を繰り返します。
登録を終了する場合は、 ボタンを押します。

ワンポイント

- ワンタッチボタンに機能を登録したときは
電話機用シールをワンタッチボタンの上に貼ってお使いください。（☞P110）

お知らせ

- ワンタッチボタンに内線番号や機能を登録していない場合、
ワンタッチボタンを押したときにディスプレイにはそのワンタッチボタンの番号と「未登録」と表示されます。
- すでにワンタッチダイヤルを登録しているワンタッチボタン
に内線番号や機能を登録すると、もとの登録内容は消えてしまします。
- 停電になったときでも登録内容は消去されません。



▶ ワンタッチボタンに登録できる機能は（☞P87）

電話機ごとに名前を登録するには (内線ネーム登録)

内線電話機を使っている人の名前や部屋名などを登録することができます。名前を登録しておくと、内線で呼び出すときにどの内線電話機を呼んでいるかがわかるので便利です。名前の登録は、主電話機で行います。

- 1 メニューボタン、①⑧を押して「1:内線ネーム登録」を表示させる。



1:内線ネーム登録
2:ドアホンネーム登録
3:内線呼出音設定
4:通話中呼出設定

- 2 ①を押す。



- 3 名前を登録する内線の番号(①～⑧)を押し、メニューボタンを押す。



内線ネーム登録
内線番号入力

- 4 名前を入力する。(全角8文字、半角16文字)
名前を入力する。(P35)

内線ネーム登録

鈴木

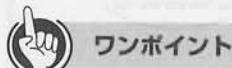
[かな]

- 5 メニューボタンを押す。

名前が登録されます。

続けて内線番号を登録する場合は、手順2からの操作を繰り返します。

登録を終了する場合は、メニューボタンを押します。



ワンポイント

● 内線ネームを登録すると

内線で呼び出すときに、ディスプレイの上段に登録した名前が表示されます。

お買い求め時は、「内線1」～「内線8」が登録されています。すでに登録されている名前を変更する場合、手順4でメニューボタンを押して1文字ずつ削除したあとに新しい名前を登録します。

鈴木

1

● ドアホンに名前を登録するには

①手順2で②(2:ドアホンネーム登録)を押す。

②手順3でドアホン番号(①～②)を押し、メニューボタンを押す。

③名前を入力してメニューボタンを押す。

お買い求め時は、「ドアホン1」「ドアホン2」が登録されています。

より便利に使うには

この電話機のその他の機能を利用した、便利な使い方を紹介します。用途に応じてお使いください。

■主電話機だけの便利な機能

機能	こんなときに	このように操作します
1 外の相手の方とのお話しを録音するには（通話中録音）	外の相手の方とのお話し中に、覚えておきたい用件をメモ代わりに録音しておきたい	お話し中に  →  → 録音を止めるときは 
2 相手を確かめてから電話に出るには（居留守応答）	かかってきた電話に、留守番電話で応答し、相手を確かめてから電話に出したい	電話がかかってくると留守番電話が応答する  相手の方の声を確認する  電話を切ったあとも留守はセットされています 

*居留守応答は「留守モニタ」(→P105)の設定を「有り」にしないと行えません。

電話機ごとに名前を登録するには（内線ネーム登録）



お知らせ

- お話し中に留守操作ボタンを押すと、録音可能時間の目安がディスプレイに表示されます。
- 留守操作表示ランプが点灯中に留守操作ボタンを押すと、ランプが消え、操作できません。このときは、もう一度、留守操作ボタンを押して留守操作表示ランプの点灯を確認し、操作してください。
- 録音中に電話を切る、他の空いている外線ボタンを押すか、または保留にすると録音は終了します。
- アキュムレート録音が「無し」に設定されているときには(P104)、留守をセットすると通話中録音した内容は消去されます。
- 居留守応答で留守転送を「有り」に設定していても(P105)、録音後、外出先への自動転送は行われません。
- 音楽等は原音どおりに録音されないことがあります。
- 相手の方に無断で通話を録音すると、個人のプライバシーの侵害にあたる場合があります。相手の方にお断りのうえ、録音してください。
- 1件の通話中に録音ボタン、停止ボタンを繰り返して押すことで、複数個の通話録音ができます。ただし、約1秒以内の録音は登録されません。
- ハンドセットを置いたままお話ししているときは（ハンズフリー通話）、自分の声がうまく録音されないことがあります。会話を録音するときはハンドセット通話でお使いください。
- 居留守応答で電話に出るまでに録音された内容は、1件分の用件として数えられます。



ワンポイント

- 通話中録音した内容を消去するには(→P45)
- 通話中録音で会話を録音できる時間は最大で約15分（応答メッセージ録音、用件録音を含みます）です。録音が「満杯」になると、録音が止まります。
- 通話中録音を聞きたい場合は電話を切ったあと、留守操作ボタン、再生ボタンを押してください。再生を停止する場合は停止ボタン、留守操作ボタンを押してください。

より便利に使うには

■主電話機と標準電話機の便利な機能

機能	こんなときに	このように操作します
3 キャッチホンサービスを利用する(アナログ回線をご利用の場合)	お話し中にかかってきた別の電話にも出たい(当社の「キャッチホン」(有料)を契約する必要があります)	<p>お話し中に「キャッチホン」の信号音が聞こえたら</p>  <p>あとからかけてきた相手の方とお話しする</p>  <p>はじめにお話ししていた方とのお話しに戻るときはもう一度</p> 
4 プッシュホンサービスを利用する(DP→PB切替)(アナログ回線をご利用の場合)	ダイヤル回線に接続しているが、各種プッシュホンサービスを利用したい	<p>電話をかけ、つながったら</p>  <p># →</p> 



ワンポイント

● プッシュホンサービスの種類

- ・クレジット通話サービス
- ・ポケットベルサービス
- ・銀行ANSERサービス
- ・ホームテレホンによるテレコントロール
- ・留守番電話へのリモコン操作など



お知らせ

- アナログ回線でキャッチホンサービスおよびトリオホンサービスを契約していない回線で、お話し中に フック ボタンを押すと、電話が切れてしまいますのでご注意ください。
- ISDN回線やVoIP回線で、お話し中に フック ボタンを押しても電話は切れません。
- INSキャッチホンおよびキャッチホン・ディスプレイには対応しておりません。
- 銀行ANSERサービスなどの一部システムでは、サービスを利用できない場合があります。
- ダイヤル回線をご使用の場合、保留する、または電話を切るとダイヤル信号に戻ります。
- #8300番、#8501番など1桁目が*や#の番号を利用するときは、プッシュ回線またはISDN回線の契約が必要です。
- ワンタッチダイヤルに「キーパッド送出」を登録すると、簡単にプッシュホンサービスをご利用いただけます。登録を行う場合は、 # ボタンのあとにポーズ時間を入れるための フック ボタンを押してください。相手の方が応答するまでの時間に合わせて、 フック ボタンを追加してください。

「こんなことがしたい」などといった場合で、お役にたつ便利な操作や操作中の注意点などを、テーマ別に質問形式でまとめています。本文中から、アイコンを目印にして簡単に参照できるようになっています。

いろいろな音量を調節する



音量

Q 着信音の音量を切り替えるには?
(着信音量)

A ハンドセットを置いたまま、▽：音量小ボタン、または△：音量大ボタンを押して調節します。

△：音量大ボタンを押すごとに音量が1段階ずつ大きく、▽：音量小ボタンを押すごとに音量が1段階ずつ小さくなります。

着信音を切り替えると、内線呼出音量やドアホンチャイム音量も同時に切り替わります。表示と音量は下の表のようになります。

表示と押すボタン	外線 着信音	内線 呼出音	ドアホン チャイム
着信音<<<	大	大	大
着信音<<	中	中	中
着信音<	小	小	小
→ 外線着信音ミュート	切	切	切

音量が最大のときは△：音量大ボタンを、最小のときは▽：音量小ボタンを押すと確認音が鳴りますが、音量およびディスプレイの表示は変わりません。

◆音量が「切」になっているときは、外線着信音やドアホンチャイム音は鳴りません。内線から呼び出しがあったときは、内線呼出音（音量レベルは「小」）が鳴ります。

◆音量が「切」になっているときは、△：音量大ボタンを押して音量を「切」から解除した場合、必ず音量レベルは「小」になります。音量を「切」にする前の音量レベルには戻りません。

Q 外線着信音を鳴らさなくするには?

A ハンドセットを置いたまま、▽：音量小ボタンを2秒以上押します。

解除するには、ハンドセットを置いたまま△：音量大ボタンを押します。解除すると音量は「小」になります。

Q スピーカー音量を調節するには?
(スピーカー音量)

A スピーカー受話中に▽：音量小ボタンまたは△：音量大ボタンを押して調節します。

電話機ごとに、スピーカー音量を8段階に切り替えることができます。

△：音量大ボタンを押すと大きく、▽：音量小ボタンを押すと小さくなります。



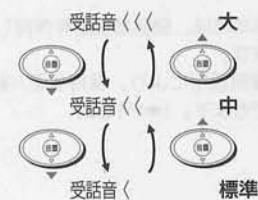
◆調節したスピーカー音量は、スピーカー受話での通話終了後も、もとに戻りません（変更後のレベルを保持）。

Q ハンドセットでのお話し中、相手の方の声が聞きとりにくいときは? (受話音量)

A お話し中に▽：音量小ボタンまたは△：音量大ボタンを押して調節します。

受話音量は、「標準」、「中」、「大」の3段階に調整できます。

大きくするときは、お話し中に△：音量大ボタンを、小さくするときは、▽：音量小ボタンを押します。



お買い求め時は、通話終了後も調節した受話音量を保持するように設定されています。

受話音保持設定により、保持する/保持しないを変えることができます。（☞P103）

各章最後の「よくあるお問い合わせ」欄に記載する「よくあるお問い合わせ」とは、この章で解説している機能についての質問が含まれています。各項目ごとに、その機能についての詳しい説明や、参考となる実際の操作例などを記載しています。

いろいろな音量を調節する



音量

Q

受話音量を調整しても相手の声が聞き取りにくいときは

A

受話増機能を使ってさらに大きな音量にすることができます。

受話増機能で相手の方の声を7段階に調節することができます。

受話増機能は以下の手順で調節してください。

- ①ハンドセットを耳から離し、△：音量大ボタンを2秒以上押す。



相手の方の声が大きくなり、設定してある音量レベルがディスプレイに表示されます。

<例>レベル5の場合

外線通話	0-10
受話増	<<<<

- ②△：音量大ボタン、または▽：音量小ボタンを押して、適当な音量にしてお話しをする。

お買い求め時は、受話増機能を保持しないように設定されています。

受話増保持設定により、保持する/保持しないを変えることができます。（☞P103）

◆受話音量レベルが「大」のときと受話増機能を使って音量レベルを1にしたときの音量は同じです。

◆受話増機能で大きくした受話音量を標準に戻すには、▽：音量小ボタンを2秒以上押してください。



注意

音量レベルを大きくしたまま使用すると、聴力障害の原因となることがあります。受話増機能を使うときは、ハンドセットを耳から少し離し、必ずディスプレイで音量のレベルを確認してください。



お知らせ

- 受話増機能を使用した場合、「ピー」という音（ハウリング）が聞こえることがあります。

保留/保留転送する



保留/保留転送

Q

保留/保留転送中に電話機のスピーカから警報音が鳴ったら?

A

保留している回線の ボタンを押します。

Q

保留中の外線を他の外線電話へ転送するには?

A

ボタンを押して、転送先へ外線電話をかけて ボタンを押します。

① ボタンを押して、かかってきた外線電話を保留にします。

② 保留にした外線以外の外線ボタンを押して、転送先の電話番号をダイヤルボタンで押す。

③ 転送先の電話が応答したら ボタンを押す。

外線を複数保留にしている場合は、最後に保留にした外線が転送されます。

転送されると、かかってきた電話と転送先の電話とがつながり、回線強制切断時間(\rightarrow P101)の設定にしたがって回線が自動的に切断されます。

なお、アナログ回線からアナログ回線への転送はできません。

Q & A

6 より便利に
使う

その他の機能を使う



ハンズフリー通話

Q

ハンドセットでお話し中に、ハンズフリー通話にするには?

A

お話し中に、 ボタンと ボタンを押します。ハンズフリー通話に切り替わり、そのままハンドセットを置いても電話は切れません。

ボタンが点灯していればマイクはオンの状態です。

Q

ハンズフリー通話中に、ハンドセットでお話しをするには?

A

ハンドセットを取りあげます。ハンズフリー通話中にハンドセットを取りあげると、ハンドセットでお話しができるようになります。

その他の機能を使う



登録・設定操作

Q

電話番号にボーズ(待ち時間)を入れて登録するには?
(アナログ回線のみ)

A

ボーズを入れたいところで^{フック}ボタンを押します。
ワンタッチダイヤルや電話帳を登録する場合など、ボーズを入れたいときには^{フック}ボタンを押します。
^{フック}ボタンを1回押すごとに約3秒のボーズが入ります。
ボーズも1桁と数えられ、ディスプレイには「- (ハイフン)」と表示されます。

Q

登録中に「ビビビビビビ」という音が鳴ったら?

A

登録されません。もう一度はじめから登録し直してください。
ワンタッチダイヤル、電話帳ダイヤルの登録桁数が32桁を超えると、「ビビビビビビ」という登録エラー音が鳴り、登録されません。

Q

サブアドレスを登録するには? (ISDN回線のみ)

A

相手の方の電話番号(アドレス)を押したあとに^{*}を押し、サブアドレスの番号を押します。
アドレス、サブアドレスは合わせて32桁まで登録できます。ただし、サブアドレスは19桁以内(0~9の数字)で登録してください。

<例>

0312345678 * 1234
 ↑ ↑
 アドレス サブアドレス

アドレス、サブアドレスを区切る「*」も1桁として数えられます。

Q

操作中や設定中に何もボタンを押さなかった場合は?

A

何もボタンを押さずに約30秒たつと、自動的にカレンダ・時計表示に戻り、操作が終了します。

Q

すでにワンタッチボタンに電話番号が登録されている場合は?

A

電話番号がすでに登録されている場合は、登録操作をしたときにその番号が表示されます。変更したい場合は、電話番号の登録をやり直してください。

Q

1つのダイヤルイン番号に複数の内線電話機が登録されている場合は?

A

電話がかかってくると、その番号に登録されている複数の内線電話機が同時に呼び出されます。

Q

操作を間違えたときには?

A

ボタンを押すまでは、何度でも入力し直すことができます。(電話番号や名前の登録は除きます)
ボタンを押すと、カレンダ・時計表示に戻ります。

その他の機能を使う



登録・設定操作



ワンタッチボタンに登録できる機能は？



内線呼出以外に以下のような機能が登録できます。

機能	内容
ドアホン呼出	ドアホンを呼び出す(☞P109)
一斉呼出	すべての内線電話機を一斉に呼び出す(☞P39)
キーバッド送出	ダイヤルボタンやワンタッチボタンを押すことで、対応するキーバッドをDチャンネルに送出する
受話増	受話音量を大にしても聞き取りにくい場合、受話音をさらに大きな音量にする(☞P84)
外線転送利用	外線がかかってきたら外線へ電話を転送する(☞P71)



外線別に応答メッセージを分けるには？



留守設定で外線別応答メッセージを設定します。

- ① ボタン、③ ① を押す。
- ② △：音量小ボタンを押して「5：外線別応答メッセージ」を表示させ、⑤ を押す。
- ③ 外線別応答メッセージの選択画面を表示させ、① を押す。

外線別応答メッセージ 選択
0:無し
1:有り

- ④ 外線ごとに応答メッセージ1、2を設定する。
お買い求め時は、応答メッセージ1が外線1～4に設定されています。ダイヤルボタン（①～④）を押すと、応答メッセージ2に外線1～4が設定されます。もう一度同じダイヤルボタンを押すと応答メッセージ1に外線1～4が設定されます。設定されていない外線は「-」で表示されます。

外線別応答メッセージ
応答1:12--
応答2:--34

- ⑤ 設定内容を確認し、 ボタンを押す。
外線別応答メッセージが設定され、②の画面が表示されます。解除する場合は、③で① を押します。



リモート暗証番号を間違えたときは？



「もう一度入力してください。番号をどうぞ。」という音声が聞こえます。もう一度、②、リモート暗証番号、②の順に押してください。リモート暗証番号を3回間違えると自動的に電話が切れ、次からは1回間違えると電話が切れます（暗証破りガード）。暗証破りガードは、留守をセット/解除するまで継続されます。また、停電すると解除されます。



暗証スキップ電話番号が登録されているときは？



暗証番号を入力しなくても、リモコン操作できるように設定することができます。（暗証スキップ）(☞P105)

あらかじめ留守番電話機に登録されている電話番号（暗証スキップ電話番号）の電話機から電話をかけたときは、暗証番号を入力しなくてもリモコン操作できるように設定することができます（暗証スキップ）。（☞P105）ただし、発信電話番号を通知しないときや電話番号の登録操作をしないときは、暗証スキップはできません。



トールセイバが設定されているときは？



留守番電話に電話をかけたとき、呼出音の回数が次のように変わります。

呼出音が3回鳴っても留守応答しないときは、用件は録音されていません。または、すべての用件は再生済みです。

呼出音回数	留守番電話の状態
約2回（約6秒）で留守応答したとき	未再生の用件が1件以上録音されています
約6回（約18秒）で留守応答したとき	用件は録音されていません。または、すべての用件は再生済みです

Q & A

6 より便利に

その他の機能を使う



表示

Q

ディスプレイの表示は?

A

電話番号は20桁まで、通話時間は最大9時間59分59秒まで表示されます。

20桁以上の電話番号の場合、21桁目以降は右から左へ順次表示されます。

通話時間が9時間59分59秒「9-59-59」を越えても表示はそのままになります。

通話時間の表示は実際の通話時間と異なる場合もありますので、目安としてご利用ください。

Q

録音可能時間を確認するには?

A

①ボタンを押します。

②ボタンを押すと、応答メッセージが流れている間、ディスプレイに残りの録音可能時間が表示されます。録音可能時間の表示は実際の録音可能時間と異なる場合もありますので、目安としてお使いください。

<残りの録音可能時間があるとき>

- ①ボタンを押したとき • 通話中に留守操作ボタンを押したとき
(P81)

録音エリア <<<<<<<<<

録音エリア <<<<<<<<<
留守操作できます

残りの録音可能時間は12段階でディスプレイに表示されます。残り時間は録音内容によって変わりますので、目安としてお使いください。

<残りの録音可能時間がないとき>

- ①ボタンを押したとき • 通話中に留守操作ボタンを押したとき
(P81)

録音エリア満杯

録音エリア満杯
留守操作できます

Q

相手の方の名前と電話番号がワンタッチダイヤルまたは電話帳に登録されているときは?

A

着信時に相手の方の名前も表示されます。

電話帳識別着信設定を「有り」にしているときは(P98)、着信時に相手の方の名前も表示されます。ただし、登録内容と受信された情報が完全に一致しない場合(例えば、電話帳に電話番号だけが登録されている方が、サブアドレスを利用して電話をかけてきた場合など)は、相手の方の名前がディスプレイに表示されないことがあります。なお、電話帳識別着信設定を「無し」にしている場合でも、ネーム・ディスプレイの契約が有るときには、発信者氏名表示の方の名前が表示されます。

ワンタッチダイヤル/電話帳ダイヤル

田中	0312345678
----	------------



お知らせ

- ディジタルコードレス電話機(オプション)をご使用になる場合は、ワンタッチダイヤルまたは電話帳に登録されたデータが、全角文字と半角文字が混ざって登録されていると、正しく表示されません。全角文字と半角文字は混ぜないで登録してください。

セーフティヘルプボタン、お子さんに向けた家庭・学校、おもむろアラート機能・電波・音楽などの機能を搭載。また、お子さん用の機能として、お子さん用の音楽・歌詞表示機能やお子さん用の音楽再生機能などがあります。

その他の機能を使う



通話

Q 長い電話番号をかけるときには? (ミックスダイヤル)

A ミックスダイヤルでかけると便利です。
ワンタッチダイヤル (P31)、再ダイヤル (P29)
中にダイヤルボタンを押して番号を追加することができます。

Q お話しをスピーカで聞くには? (スピーカ受話)

A ハンドセットでお話し中に (スピーカ) ボタンを押します。
(スピーカ) ボタンを押すと、スピーカから相手の方の声が聞こえます。
(マイク) ボタンがオフの時、こちらの声は相手の方に聞こえませんが、オンの時はハンズフリー状態となり聞こえることになります。また、スピーカ受話のときハンドセットを置いても電話は切れません。ハンドセットを取りあげるとハンドセットでのお話しに戻ります。

Q オンフックダイヤルでお話ししないで電話を切るには? (スピーカ受話)

A 時報 (117) や天気予報 (177)、ブッシュホンサービスなどは、オンフックダイヤルで電話をかけたあと、ハンドセットを取りあげずにそのままお聞きになると便利です。

電話を切るときは、使用中の (スピーカ) ボタンを押します。

Q 内線またはドアホンでお話し中に外からの電話に応答するには?

A 内線またはドアホンの方とのお話しを終え、 (スピーカ) ボタンを押すと外からの電話に応答できます。
内線またはドアホンでお話し中に外から電話がかかってくると、スピーカから着信音が聞こえます。
(スピーカ受話、ハンズフリー通話の時は、聞こえません)

Q 内線でお話し中にドアホンからの呼び出しに応答するには?

A お話しを終えてハンドセットを置き、もう一度ハンドセットを取りあげると応答できます。
内線でお話し中にドアホンからの呼び出しがあると、スピーカから「ピーンポーン」というチャイム音が聞こえます。

Q 外線でお話し中にドアホンからの呼び出しに応答するには?

A 以下の操作をすると、ドアホンからの呼び出しに応答できます。

<お話しを保留するとき>

①お話し中にスピーカから「ピーンポーン」というチャイム音が聞こえたら、 (保留) ボタンを押す。

②ハンドセットを置くとドアホンからのチャイムが鳴る。

③ハンドセットを取りあげて、ドアホンの方とお話しをする。

④外の相手の方とのお話しに戻るときは (戻る) ボタンを押す。

<お話しを終えてから応答する>

①お話し中にスピーカから「ピーンポーン」というチャイム音が聞こえたら、お話しを終えてハンドセットを置く。

②もう一度ハンドセットを取りあげて、ドアホンの方とお話しをする。

Q & A

6 より便利に

Q 録音された用件の再生中や応答メッセージの録音または再生中に、外からの電話に応答するには?

A 応答する (スピーカ) ボタンを押したあと、ハンドセットを取りあげてください。ハンドセットを取りあげているときは、いったんハンドセットを置いてから (スピーカ) ボタンを押して、ハンドセットを取りあげてください。

<録音された用件の再生中の場合は>
ディスプレイには「外線着信」と表示されますが、着信音は鳴りません。

<応答メッセージの録音または再生中の場合は>
外線ランプが点滅しますが、着信音は鳴りません。

Q 録音された用件の再生中や応答メッセージの録音または再生中に、内線からの電話に応答するには?

A (スピーカ) ボタンを押したあと、ハンドセットを取りあげてください。ハンドセットを取りあげているときは、いったんハンドセットを置いてからハンドセットを取りあげてください。

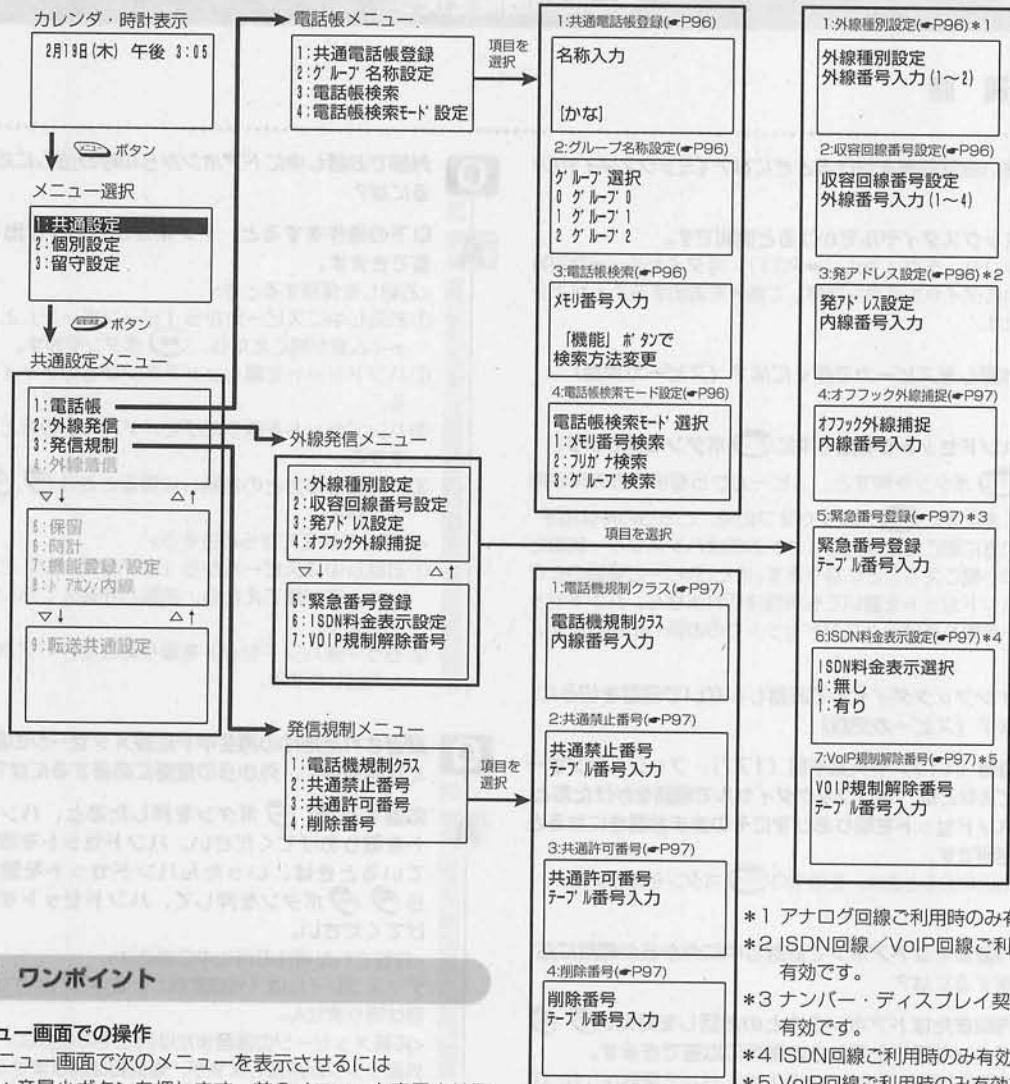
<録音された用件の再生中の場合は>
ディスプレイには内線の相手番号が表示されますが、着信音は鳴りません。

<応答メッセージの録音または再生中の場合は>
内線ランプが点滅しますが、着信音は鳴りません。

メニューの流れ（共通設定）

登録・設定はメニュー設定で行います。登録・設定の操作については、それぞれの解説ページまたは「いろいろな機能を登録・設定するには」(☞P96)を参照してください。共通設定メニューは、主電話機で行います。他の内線電話機から登録・設定はできません。メニューの操作について(☞P23)

■共通設定メニュー（1）



*1 アナログ回線ご利用時のみ有効です。

*2 ISDN回線／VoIP回線ご利用時のみ有効です。

*3 ナンバー・ディスプレイ契約時のみ有効です。

*4 ISDN回線ご利用時のみ有効です。

*5 VoIP回線ご利用時のみ有効です。



ワンポイント

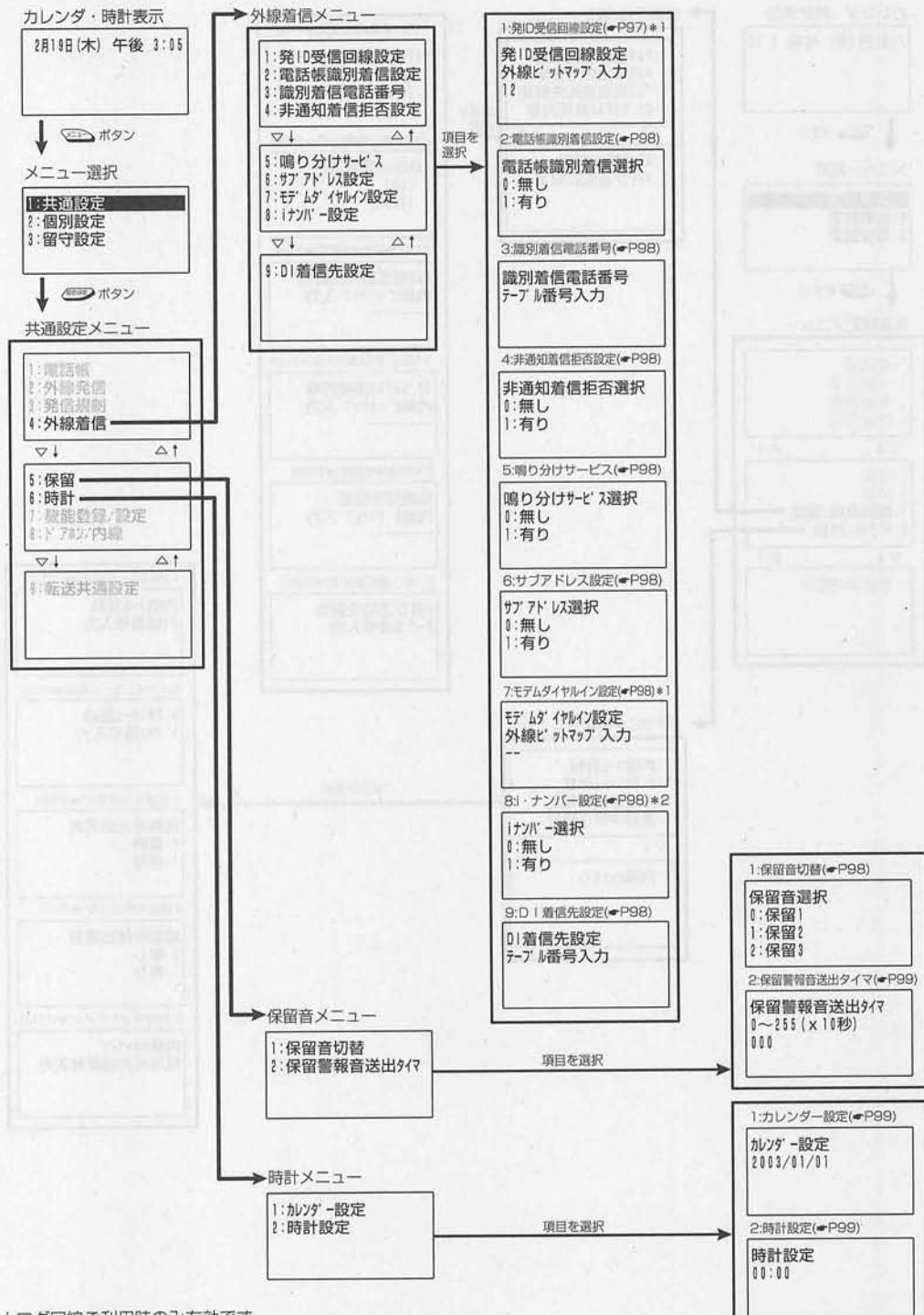
●メニュー画面での操作

- メニュー画面で次のメニューを表示させるには
▽：音量小ボタンを押します。前のメニューを表示させるには△：音量大ボタンを押します。
- 各画面の途中で設定・登録内容をすべてキャンセルするには
➡➡➡ボタンを押します。カレンダ・時計表示の画面に戻ります。
- 設定・登録画面で操作中に前の画面に戻るには
➡➡➡ボタンを押します。元の画面に戻るには➡➡➡ボタンを押します。
- 設定内容を変更せずに次の画面に進むには
➡➡➡ボタンを押します。
- メニューの項目を選択するには
メニューの各項目の番号の横にあるセレクトボタンを押すか、各項目の番号をダイヤルボタンで押します。また、▽：音量小ボタンと△：音量大ボタンで各項目を選択した状態で、➡➡➡ボタンを押します。

お知らせ

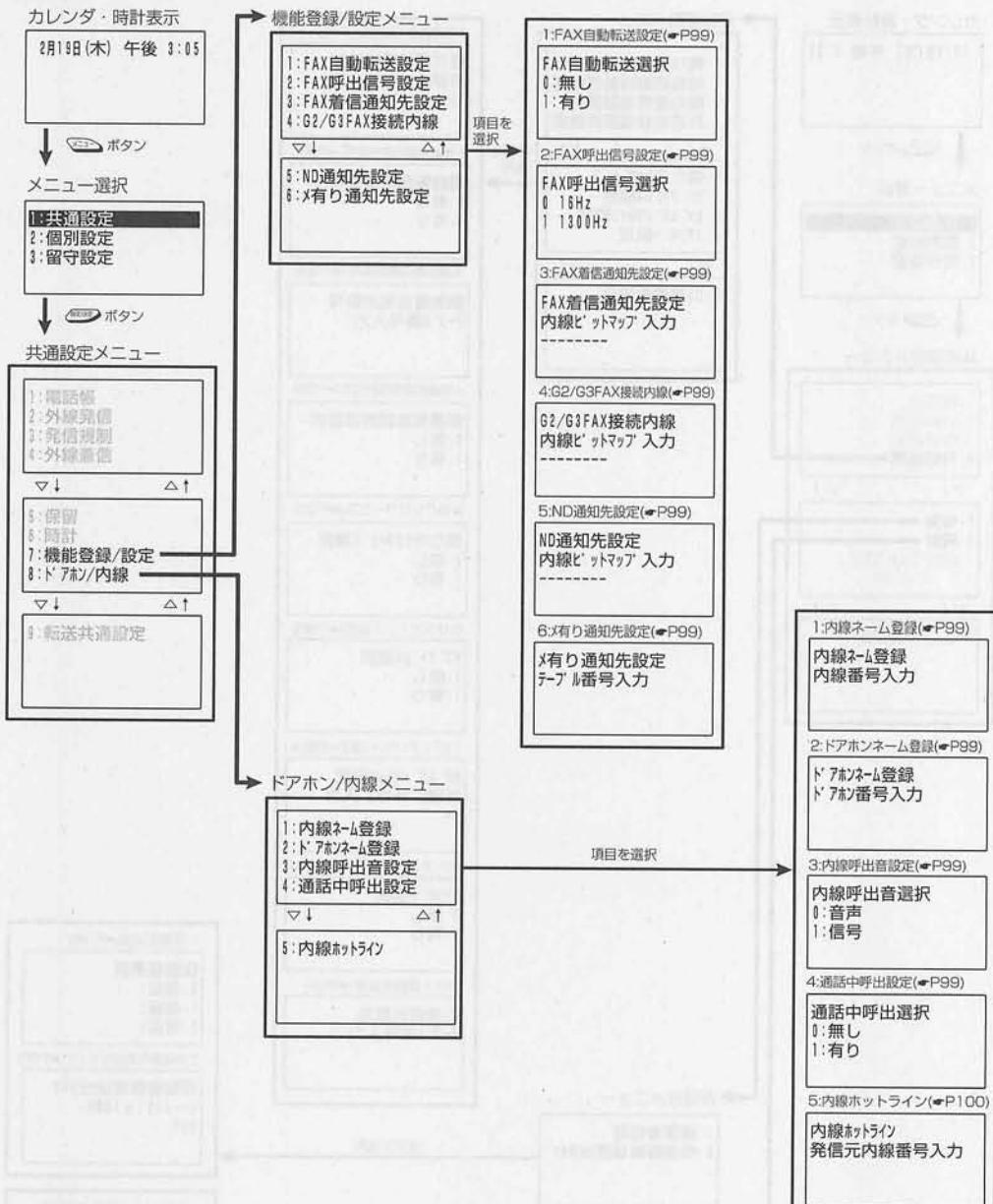
- 設定中に外から電話がかかってきたときは、着信音は鳴らずにランプで表示されます。メニュー登録を終了するか、➡➡➡ボタンを押して設定内容をキャンセルしてから応答してください。
- 操作を間違えたときは、➡➡➡ボタンを押してカレンダ・時計表示に戻し、再度➡➡➡ボタンを押して始めてください。
- 設定中に何もボタンを押さずに約30秒たつと、自動的にカレンダ・時計表示に戻り、操作が終了します。
- パソコンからメニューの登録・設定作業を行っているときは、電話機からのメニューの登録・設定作業は行わないでください。データが正常に反映されない場合があります。

■共通設定メニュー（2）

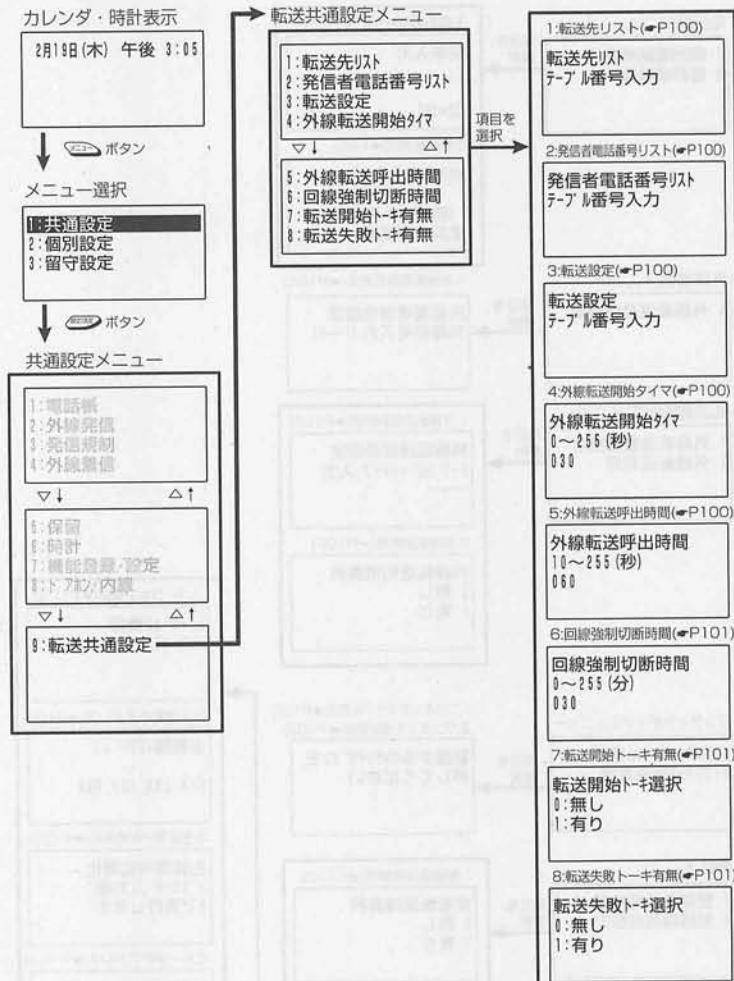


メニューの流れ（共通設定）

■共通設定メニュー（3）

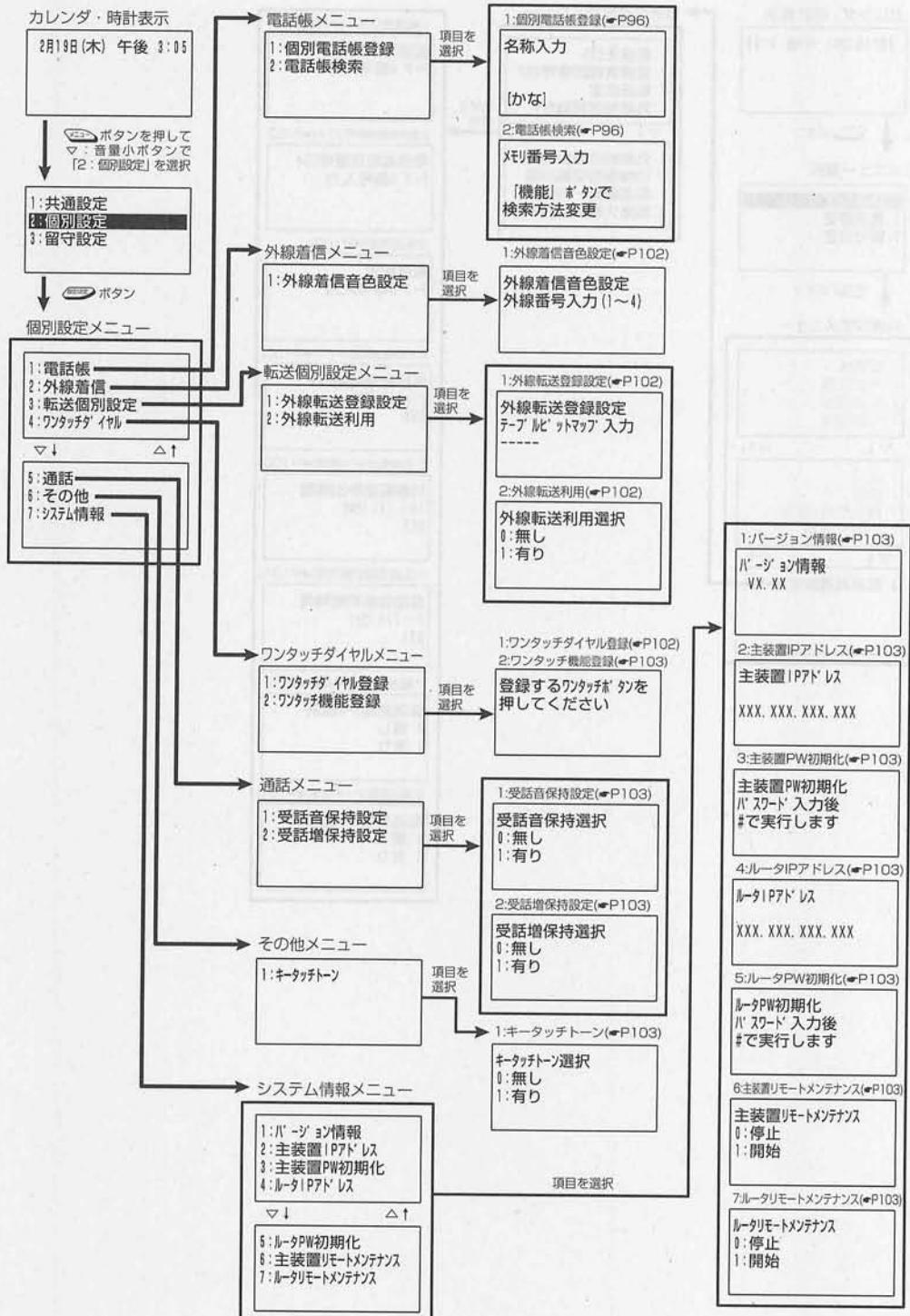


■共通設定メニュー (4)



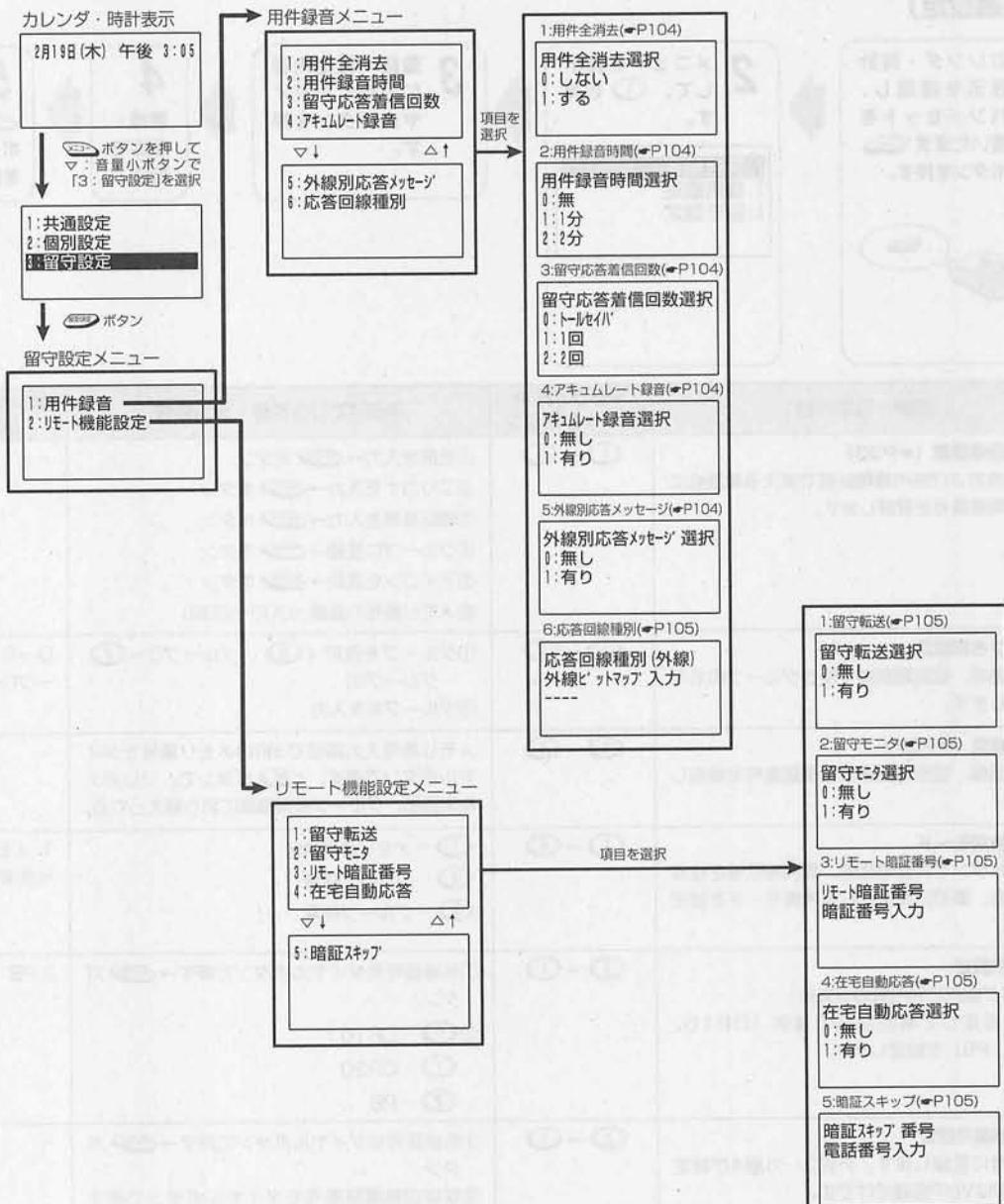
メニューの流れ（個別設定）

登録・設定はメニュー設定で行います。登録・設定の操作については、それぞれの解説ページまたは「いろいろな機能を登録・設定するには」(☞P102) を参照してください。個別設定メニューへの登録・設定は、各内線電話機で行います。



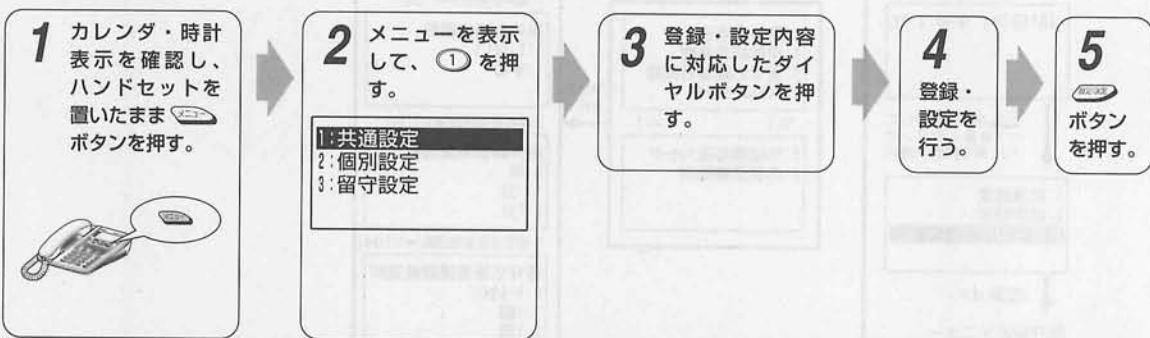
メニューの流れ（留守設定）

留守設定はメニュー設定で行います。登録・設定の操作については、それぞれの解説ページまたは「いろいろな機能を登録・設定するには」(☞P104) を参照してください。留守設定メニューへの登録・設定は、主電話機で行います。他の内線電話機から登録・設定はできません。



主電話機では「共通設定」の登録・設定ができます。登録・設定が完了すると、登録確認音が鳴ります。

■主電話機から登録・設置できる機能 (共通設定)



登録・設定内容	手順3で押す ダイヤルボタン	手順4で行う登録・設定操作	お買い求め時の 設定
共通電話帳登録 (☞P33) 主電話機および各内線電話機で使える電話帳に名前、電話番号を登録します。	① → ①	①名前を入力→ボタン ②フリガナを入力→ボタン ③電話番号を入力→ボタン ④グループに登録→ボタン ⑤アイコンを選択→ボタン ⑥メモリ番号の登録 (000~299)	-
グループ名称設定 共通電話帳、個別電話帳で使うグループの名称を設定します。	① → ②	①グループを選択 (①…グループ0~⑨…グループ9) ②グループ名を入力	0~9:グループ0~9
電話帳検索 (☞P37) 共通電話帳、個別電話帳から電話番号を検索します。	① → ③	メモリ番号入力画面で3行のメモリ番号をダイヤルボタンで押す。ボタンで、フリガナ検索画面、グループ検索画面に切り替えられる。	-
電話帳検索モード 電話帳ボタンで共通電話帳、個別電話帳を検索する場合、最初に表示される検索モードを設定します。	① → ④	①…メモリ番号検索 ②…フリガナ検索 ③…グループ検索	1:メモリ番号検索
外線種別設定 (アナログ回線ご利用時のみ有効) 外線を指定して電話回線の種別 (DP10、DP20、PB) を設定します。	② → ①	①外線番号をダイヤルボタンで押す→ボタン ②①…DP10 ①…DP20 ②…PB	2:PB
収容回線番号設定 外線番号に登録します。外線3、外線4が設定できるのはVoIP回線だけです。	② → ②	①外線番号をダイヤルボタンで押す→ボタン ②収容回線電話番号をダイヤルボタンで押す(32桁まで)*	-
発アドレス設定 (ISDN回線／VoIP回線ご利用時のみ有効) 発アドレスを設定します。	② → ③	①ダイヤルボタンで内線番号を押す→ボタン ②ダイヤルボタンで外線番号を押す→ボタン ③ダイヤルボタンで発アドレス番号を押す(32桁まで)*	-

* 消去するには、ボタンを押します。

登録・設定内容	手順3で押す ダイヤルボタン	手順4で行う登録・設定操作	お買い求め時の 設定
オフック外線捕捉 外線ボタンを押さずに、ハンドセットを取りあげただけで外線をかけられるように設定します。内線電話機を呼び出す場合は内線ボタンを押します。	(2) → (4)	①内線番号をダイヤルボタンで押す→(※) ②対応する外線をダイヤルボタンで押す	-
緊急番号登録 (ナンバー・ディスプレイ契約時のみ有効) ある特定の電話番号を緊急番号として登録します。緊急番号に電話をかけて、いったん電話を切ったあと、緊急番号から電話がかかってきたときすべての電話で着信音が鳴ります。	(2) → (5)	①登録するテーブル番号(01~10)をダイヤルボタンで押す→(※) ②登録する番号をダイヤルボタンで押す(6桁まで)*	01=110 02=119 03=118
ISDN料金表示設定 (ISDN回線ご利用時のみ有効) ISDN回線ご利用時、通話終了時の通話料金が通知されるサービスを利用して、料金を表示させるかどうかを設定します。	(2) → (6)	(0)…無し (1)…有り	1:有り
VoIP規制解除番号 (VoIP回線ご利用時のみ有効) VoIP回線で規制している電話番号を解除します。	(2) → (7)	①登録するテーブル番号(01~10)をダイヤルボタンで押す→(※) ②登録する番号をダイヤルボタンで押す(5桁まで)*	01=184 02=186
電話機規制クラス 電話機ごとに、外へかけられる範囲を、共通禁止番号、共通許可番号を使って制限することができます。	(3) → (1)	①規制する電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す→(※) ②(0)…クラス0(共通禁止番号の規制を受けない) (1)…クラス1(共通禁止番号の規制を受ける) (2)…クラス2(内線のみだが、共通許可番号に設定されている番号は発信可能)	1:クラス1
共通禁止番号 特定の電話番号への発信を規制します。ダイヤルQ2や遠距離市外局番など特定の電話番号を登録し、その番号へは内線電話機から電話をかけられないように設定できます。	(3) → (2)	①登録するテーブル番号(01~10)をダイヤルボタンで押す→(※) ②登録する番号を市外局番からダイヤルボタンで押す(32桁まで)*	-
共通許可番号 特定の電話番号への発信を許可します。	(3) → (3)	①登録するテーブル番号(01~10)をダイヤルボタンで押す→(※) ②登録する番号をダイヤルボタンで押す(32桁まで)*	-
削除番号 184、186、122は削除番号として登録されています。削除番号を登録しているとき、削除番号のあとに共通禁止番号をダイヤルしても、共通禁止番号には電話をかけられません。(→P65)	(3) → (4)	①登録するテーブル番号(01~10)をダイヤルボタンで押す→(※) ②登録する番号をダイヤルボタンで押す(6桁まで)*	01=184 02=186 03=122
発ID受信回線設定 (アナログ回線ご利用時のみ有効) ナンバー・ディスプレイを表示する外線を設定します。	(4) → (1)	(1)～(2)で外線番号を設定	外線1・2

* 消去するには、(クリア)ボタンを押します。

登録・設定内容	手順3で押す ダイヤルボタン	手順4で行う登録・設定操作	お買い求め時の 設定
電話帳識別着信設定 外線が着信すると電話帳との照合を行い、電話帳に登録されている電話番号からの着信であれば、電話帳に登録されている情報（名前など）を表示するかどうかを設定します。	④ → ②	① …無し ② …有り	1:有り
識別着信電話番号* 識別着信機能を使う相手の番号を登録します。	④ → ③	①登録するテーブル番号（01～10）をダイヤルボタンで押す→ ボタン ②登録する相手方の電話番号を市外局番からダイヤルボタンで押す（32桁まで）* ² <例>0312345678	—
非通知着信拒否設定 「非通知」とした外線からの着信の場合、応答メッセージで対応し、通話を拒否するかどうかを設定します。	④ → ④	① …無し ② …有り	0:無し
鳴り分けサービス なりわけサービスの有無を設定します。	④ → ⑤	① …無し ② …有り	0:無し
サブアドレス設定 サブアドレスを設定します。	④ → ⑥	① …無し ② …有り	0:無し
モデムダイヤルイン設定 (アナログ回線ご利用時のみ有効) モデムダイヤルインの契約の有無を設定します。	④ → ⑦	①～②で外線番号を設定	—
i・ナンバー設定 (ISDN回線ご利用時のみ有効) INSネットサービスのi・ナンバーサービス（有料）をご契約されているときに設定します。	④ → ⑧	① …無し ② …有り	0:無し
DI着信先設定 i・ナンバーサービス、モデムダイヤルインを使って、着信させたい特定の内線番号の内線電話機を設定します。	④ → ⑨	①登録するテーブル番号（01～10）をダイヤルボタンで押す→ ボタン ②登録するダイヤルイン番号を市外局番からダイヤルボタンで押す（32桁まで）* ² → ボタン ③外線番号をダイヤルボタンで設定→ ボタン ④内線番号をダイヤルボタンで設定	—
保留音切替 保留のときに流れる音楽を設定します。	⑤ → ①	① …保留1（グリーンスリーブス） ② …保留2（蝶の我が家） ③ …保留3（カノン） ④ …保留4（Super caltranigliistic expialidocious） ⑤ …保留5（TO LOVE YOU MORE） ⑥ …保留6（春の歌） ⑦ …保留7（主よ人の望みの喜びよ） ⑧ …保留8（メヌエット）	0:保留1

* 1 識別着信電話番号に登録した電話番号を削除する場合は、手順②で入力した電話番号を ボタンを押して削除し、 ボタンを押します。削除は各テーブル番号ごとに行ってください。

* 2 消去するには、 ボタンを押します。

登録・設定内容	手順3で押す ダイヤルボタン	手順4で行う登録・設定操作	お買い求め時の 設定
保留警報音送出タイマ 保留の状態を長時間続いている場合、警報音をスピーカから鳴らすことができます。警報音を鳴らすまでの保留時間を設定します。	(5) → (2)	秒数をダイヤルボタンで押す（10秒単位） <例>240	0
カレンダー設定（☞P24） 現在の日付を西暦・月・日で設定します。	(6) → (1)	西暦年月日をダイヤルボタンで押す <例>2004/01/01	2003/01 /01
時計設定（☞P24） 現在の時刻を24時間制で設定します。	(6) → (2)	時刻（24時間制）をダイヤルボタンで押す <例>15:30	-
FAX自動転送設定 外線ファックス着信に電話機が応答したとき、自動で電話機アダプタに接続されているファックス（内線ファックス）を呼び出すかどうかを設定します。	(7) → (1)	(0) …無し (1) …有り	0:無し
FAX呼出信号設定 電話機アダプタに接続されているファックス（内線ファックス）への呼出信号を設定します（16Hzまたは1300Hz）。	(7) → (2)	(0) …16Hz (1) …1300Hz	0:16Hz
FAX着信通知先設定 電話機アダプタに接続されているファックス（内線ファックス）に、受信したことを通知する内線電話機を設定します。	(7) → (3)	対応する内線番号をダイヤルボタンで押す。	-
G2/G3FAX接続内線 ファックスが接続されている電話機アダプタの内線番号を設定します。	(7) → (4)	ファックスが接続されている電話機アダプタの内線番号をダイヤルボタンで押す。	-
ND通知先設定 ナンバー・ディスプレイを表示する内線電話機を設定します。	(7) → (5)	ナンバー・ディスプレイを表示する内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す。	-
メ有り通知先設定 INSネットサービスのINSメッセージ到着お知らせサービスを通知する内線電話機を設定します。	(7) → (6)	①登録するテーブル番号（1～5）をダイヤルボタンで押す→  ボタン ②INSメッセージ到着お知らせサービスを通知する電話番号をダイヤルボタンで押す（32桁まで）*→  ボタン ③通知先に使う内線電話機の番号をダイヤルボタンで押す	-
内線ネーム登録（☞P80） 内線電話機の名称を登録します。	(8) → (1)	①内線番号をダイヤルボタンで押す→  ボタン ②名前を入力する	内線1～8
ドアホンネーム登録（☞P80） ドアホンの名称を登録します。	(8) → (2)	①ドアホン番号を押す→  ボタン ②名前を入力する	ドアホン1 ～2
内線呼出音設定 内線電話機の呼出音を音声、トーン信号のどちらにするかを設定します。	(8) → (3)	(0) …音声 (1) …信号	0:音声
通話中呼出設定 内線電話機が内線通話中でも着信音を鳴らすかどうかを設定します。	(8) → (4)	(0) …無し (1) …有り	1:有り

* 消去するには、ボタンを押します。

登録・設定内容	手順3で押す ダイヤルボタン	手順4で行う登録・設定操作	お買い求め時の 設定
内線ホットライン ハンドセットを取りあげるか、スピーカボタンを押すだけで呼び出すことができる内線電話機を設定します。	⑧ → ⑤	①発信元の内線番号をダイヤルボタンで押す →  ボタン ②発信先の内線番号をダイヤルボタンで押す	—
転送先リスト (☞P72) 外線転送先の電話番号を登録します。	⑨ → ①	①登録するテーブル番号(1~5)をダイヤルボタンで押す →  ボタン ②電話番号入力[1]に登録するダイヤルイン番号を市外局番からダイヤルボタンで押す(32桁まで)* →  ボタン ③電話番号入力[2]に登録するダイヤルイン番号を市外局番からダイヤルボタンで押す(32桁まで)* →  ボタン ④電話番号入力[3]に登録するダイヤルイン番号を市外局番からダイヤルボタンで押す(32桁まで)*	—
発信者電話番号リスト (☞P72) 発信者の電話番号で転送を行う場合の電話番号を入力します。10件まで登録できます。	⑨ → ②	①登録するテーブル番号(1~5)をダイヤルボタンで押す →  ボタン ②電話番号入力[1]に登録するダイヤルイン番号を市外局番からダイヤルボタンで押す(32桁まで)* →  ボタン 1~10件まで登録可能 ③電話番号入力[10]に登録するダイヤルイン番号を市外局番からダイヤルボタンで押す(32桁まで)*	—
転送設定 (☞P73) 転送設定の登録テーブル番号を設定します。そのテーブル番号で着信する回線、発信者の電話番号、ダイヤルイン番号で転送をされる着信を設定し、転送先リストから転送先を設定し、転送を発信する内線電話機を設定します。転送発信時に、内線を同時に呼び出す設定もできます。	⑨ → ③	①登録するテーブル番号(1~5)をダイヤルボタンで押す →  ボタン ②① …着信回線指定 →  ボタン ② …着信DI指定 →  ボタン ③着信回線指定の場合：着信外線(1~4)をダイヤルボタンで押す 着信DI指定の場合：ダイヤルイン番号をダイヤルボタンで押す(32桁まで)* ④発信者電話番号リストのテーブル番号(1~5)をダイヤルボタンで押す →  ボタン ⑤転送先リストのテーブル番号(1~5)をダイヤルボタンで押す →  ボタン ⑥転送発信外線(1~4)をダイヤルボタンで押す →  ボタン ⑦転送時に内線を呼び出すかをどうかを設定 ① …無し ① …有り	—
外線転送開始タイム 未応答時の転送開始時間を設定します。	⑨ → ④	外線転送開始時間をダイヤルボタンで押す(0~255秒)	30(秒)
外線転送呼出時間 外線転送先の呼出時間を設定します。この時間を超えた場合は「外線転送先リスト」に登録している次の転送先電話番号へ発信されます。	⑨ → ⑤	外線転送呼出時間をダイヤルボタンで押す(10~255秒)	60(秒)

* 消去するには、 ボタンを押します。

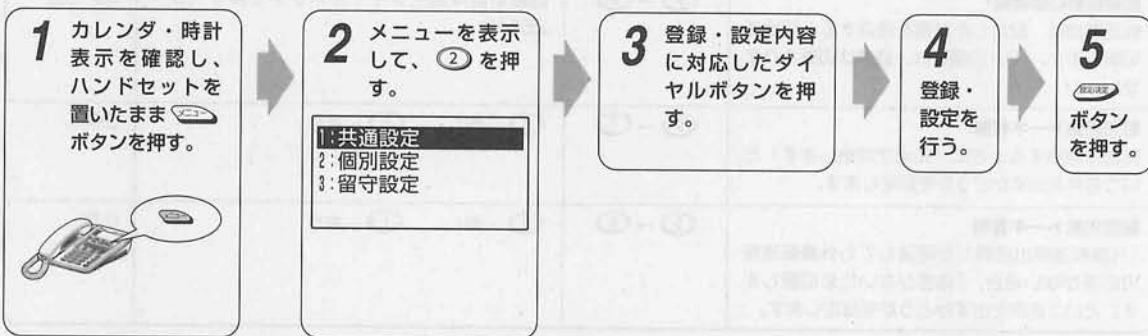
登録・設定内容	手順3で押す ダイヤルボタン	手順4で行う登録・設定操作	お買い求め時の 設定
回線強制切断時間 転送開始後、設定した時間を経過すると回線を切断します。「0」の場合は、回線は切断されません。	(9) → (6)	回線切断時間をダイヤルボタンで押す(0~255分)	30(分)
転送開始トーキ有無 転送を開始するときに「転送を開始します」という音声を出すかどうかを設定します。	(9) → (7)	(0)…無し (1)…有り	0:無し
転送失敗トーキ有無 「外線転送呼出時間」が経過しても外線転送先の応答がない場合、「応答がないため切断します」という音声を出すかどうかを設定します。	(9) → (8)	(0)…無し (1)…有り	0:無し

いろいろな機能を登録・設定するには（共通設定）

6 より便利に
使う

各内線電話機では「個別設定」の登録・設定ができます。登録・設定が完了すると、登録確認音が鳴ります。

■各内線電話機から登録・設置できる機能 (個別設定)



登録・設定内容	手順3で押す ダイヤルボタン	手順4で行う登録・設定操作	お買い求め時の 設定
個別電話帳登録 (☞P33) 各内線電話機別で使える電話帳に名前、フリガナ、電話番号を登録します。	① → ①	①名前を入力→ボタン ②フリガナを入力→ボタン ③電話番号を入力(32桁まで)*→ボタン ④グループに登録→ボタン ⑤アイコンを選択→ボタン ⑥メモリ番号の登録(300~309で指定)	-
電話帳検索 (☞P37) 共通電話帳、個別電話帳から電話番号を検索します。	① → ②	メモリ番号入力画面で3桁のメモリ番号をダイヤルボタンで押す。ボタンで、フリガナ検索画面、グループ検索画面に切り替えられる。	-
外線着信音色設定 外線がかかってきたときの着信音を設定します。	② → ①	①外線番号をダイヤルボタンで押す→ボタン ②各着信音をダイヤルボタンで設定する。 ①…トーン ②…メロディ1(グリーンスリーブス) ③…メロディ2(君の我が家) ④…メロディ3(カノン) ⑤…メロディ4(華麗なる大円舞曲) ⑥…メロディ5(ハンガリア舞曲第5番) ⑦…メロディ6(春の歌) ⑧…メロディ7(主よ人の望みの喜びよ) ⑨…メロディ8(メヌエット)	0:トーン
外線転送登録設定 (☞P75) 主電話機の「共通設定」の「転送設定」で設定した転送設定のテーブル番号を選択します。	③ → ①	セットする転送設定のテーブル番号(1~5)をダイヤルボタンで押す	-
外線転送利用 (☞P75) 外線への転送を行うかどうかを設定します。	③ → ②	①…無し ②…有り	0:無し
ワンタッチダイヤル登録 (☞P30) 各電話機別で使用できるワンタッチボタンに外線電話番号を登録します。	④ → ①	①登録するワンタッチボタンを押す ②名前を入力する→ボタン ③登録する電話番号をダイヤルボタンで押す	-

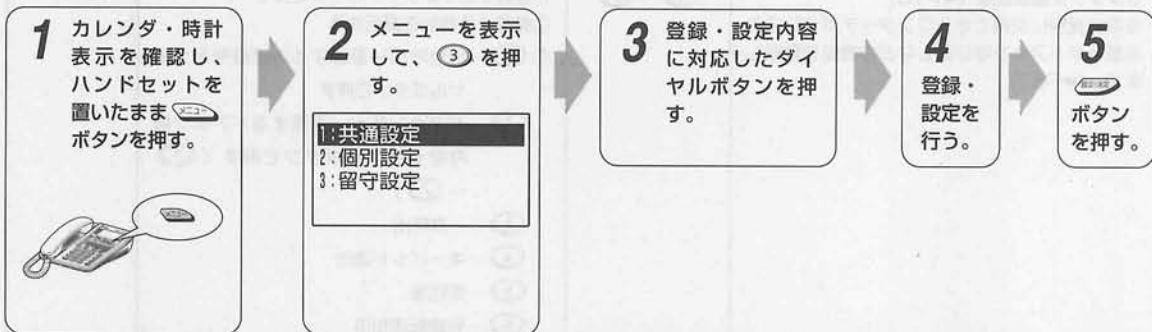
* 消去するには、ボタンを押します。

登録・設定内容	手順3で押す ダイヤルボタン	手順4で行う登録・設定操作	お買い求め時の 設定
ワンタッチ機能登録（☞P78） 各電話機別に使用できるワンタッチボタンに内線番号やドアホン呼び出しなどの機能を登録します。（☞P87）	④ → ②	①登録するワンタッチボタンを押す ②登録する機能を選択する ③① … 内線呼出 → 登録する内線番号をダイヤルボタンで押す ② … ドアホン呼出 → 登録するドアホン番号をダイヤルボタンで押す（①～②） ③ … 一斉呼出 ④ … キーパッド送出 ⑤ … 受話増 ⑥ … 外線転送利用	-
受話音保持設定 受話音量（☞P83）を調節したとき、お話しが終わっても調整後の音量レベルのままにするかどうかを設定します。	⑤ → ①	① … 無し ① … 有り	1:有り
受話増保持設定 受話増機能（☞P84）で受話音量を調節したとき、お話しが終わっても調整後の音量レベルのままにするかどうかを設定します。	⑤ → ②	① … 無し ① … 有り	0:無し
キータッチトーン 内線電話機のボタン操作時、短い発信音をスピーカから鳴らすかどうかを設定します。	⑥ → ①	① … 無し ① … 有り	1:有り
バージョン情報 主装置のバージョン情報を表示します。	⑦ → ①	（バージョン情報を表示します。設定・登録はできません）	-
主装置IPアドレス 主装置のIPアドレスを表示します。	⑦ → ②	主装置IPアドレスが表示されている状態で、  ボタンを押すと主装置サブネットマスクが表示される（設定・登録はできません）	-
主装置PW初期化 主装置のパスワードを初期化します。	⑦ → ③	初期化パスワードを入力し、最後に「#」を入力する	-
ルータIPアドレス IPプロードバンドルータユニットのIPアドレスを表示します。	⑦ → ④	IPプロードバンドルータユニットのIPアドレスが表示されている状態で、  ボタンを押すとIPプロードバンドルータユニットサブネットマスクが表示される（設定・登録はできません）	-
ルータPW初期化 IPプロードバンドルータユニットのパスワードを初期化します。	⑦ → ⑤	IPプロードバンドルータユニットの初期化パスワードを入力し、最後に「#」を入力する	-
主装置リモートメンテナンス	⑦ → ⑥	① … 停止 ① … 開始	-
ルータリモートメンテナンス	⑦ → ⑦	① … 停止 ① … 開始	-

いろいろな機能を登録・設定するには (留守設定)

主電話機では「留守設定」の登録・設定ができます。登録・設定が完了すると、登録確認音が鳴ります。

■各内線電話機から登録・設置できる機能 (留守設定)



登録・設定内容	手順3で押す ダイヤルボタン	手順4で行う登録・設定操作	お買い求め時の 設定
用件全消去 録音されている用件をすべて消去します。	① → ①	① … (消去) しない ② … (消去) する	—
用件録音時間 (☞P41) 1件あたりの用件録音時間を設定します。「無」に設定すると応答専用メッセージで応答します。	① → ②	① … 応答専用 (無) ② … 1件の録音時間 (1分) ③ … 1件の録音時間 (2分) ④ … 1件の録音時間 (3分) ⑤ … 1件の録音時間 (4分) ⑥ … 1件の録音時間 (5分)	1:1分
留守応答着信回数 (☞P41) 留守番電話が応答するまでの呼出音の回数を設定します。	① → ③	① … トールセイバ ② ~ ⑨ … 着信回数 (1~9回)	O:トールセイバ
アキュムレート録音 (☞P42) 一度、留守を解除して聞いた用件は消さずに留守をセットできる機能です。	① → ④	① … 無し ② … 有り	O:無し
外線別応答メッセージ (☞P87) 外線別に留守応答メッセージを使うかどうかを設定し、外線ごとに応答メッセージ1、2を設定します。	① → ⑤	① ① … 無し ② ② … 有り ② 外線ごとに応答メッセージ1、2を選択する。 お買い求め時は、応答メッセージ1が外線1~4に設定されています。ダイヤルボタン (① ~ ④) を押すと、応答メッセージ2に外線1~4が設定されます。もう一度同じダイヤルボタンを押すと応答メッセージ1に外線1~4が設定されます。設定されていない外線は「-」で表示されます。*	O:無し

* AX-ARPBTEL<1> (オプション) および AX-CRBTEL<1> (オプション) では、外線1~7を設定することができます。

登録・設定内容	手順3で押す ダイヤルボタン	手順4で行う登録・設定操作	お買い求め時の 設定
応答回線種別 (☞P43) 留守番電話が応答する回線を、外線着信、ダイヤルイン着信、内線着信それぞれに設定します。	(1) → (6)	<p>①留守応答する外線をダイヤルボタンで押す。 お買い求め時は、留守応答する外線が外線1～4に設定されています。ダイヤルボタン(1)～(4)を押すと、押した番号の外線の設定が解除され、「-」で表示されます。 もう一度同じダイヤルボタンを押すと留守応答する外線が設定されます。</p> <p>②ダイヤルイン着信で留守応答をするかどうかを選択*</p> <p>③内線着信で留守応答するかどうかを選択</p> <p>* (0) …無し (1) …有り</p>	①留守応答する外線 1234 ②1:有り ③1:有り
留守転送 (☞P54) 留守転送を行うかどうか、留守用件の転送先の登録、転送に使う外線の設定を行います。	(2) → (1)	<p>①留守転送選択</p> <p>②留守転送先の電話番号をダイヤルボタンで入力(32桁まで)して(2)ボタンを押す</p> <p>③転送に使う外線をダイヤルボタンで入力して(2)ボタンを押す</p>	①0:無し ②ー ③ー
留守モニタ (☞P81) 留守番電話に応答している相手の声をスピーカで確認するかどうかを設定します。	(2) → (2)	(0) …無し (1) …有り	1:有り
リモート暗証番号 (☞P48) 外出先から留守設定や転送設定などをリモコン操作するときに使う暗証番号を登録します。	(2) → (3)	リモート暗証番号(3～6桁)をダイヤルボタンで押す(消去するときは(2)ボタンを押す)	ー
在宅自動応答 (☞P41) 留守セットを忘れたときに、外出先からリモコン操作できるかどうかを設定します。	(2) → (4)	(0) …無し (1) …有り	1:有り
暗証スキップ 特定の電話番号を登録して、外出先からのリモコン操作時に暗証番号を使わずに操作するかどうかを設定します。	(2) → (5)	暗証スキップ電話番号(32桁まで)をダイヤルボタンで押す(消去するときは(2)ボタンを押す)	ー

*: 外線着信の音色を「メロディ」に設定している場合に、ダイヤルイン着信の留守応答を「有り」に設定すると、応答回線種別の設定にかかわらず外線着信に応答します。

ご利用になれるオプション装置

ネットコミュニティシステム AX には、オプション装置として次のものが用意されています。ご利用いただくときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。なお、オプション装置をお使いいただくときは、それぞれの取扱説明書をよくお読みください。

■留守番停電電話機

留守操作機能をご利用いただけます。
停電電話機として、ご利用いただけます。

AX-ARPBTEL <1> <W/K>



■カラー表示付留守番電話機

見やすい大型カラーディスプレイをご利用いただけます。
カラーカメラドアホンや映像アダプタを接続すると、相手
の方の映像を映し出して、お話しをすることができます。
また留守操作機能もご利用いただけます。

AX-CRBTEL <1> <W/K>



■ドアホン

玄関先のドアホンからの呼び出しに内線電話機で応答したり、ドアホンの周囲の音を聞くことができます。ドアホンは2台まで接続できます。



■カラーカメラドアホン

玄関先の方をカラー表示付留守番電話機のディスプレイ、または一般的なテレビに映し出して、相手の方の顔を見ながらお話しすることができます。カラーカメラドアホンは2台まで接続できます。映像を映し出すにはカラーカメラドアホン用テレビアダプタ、またはカラーカメラドアホン用モニタが必要です。

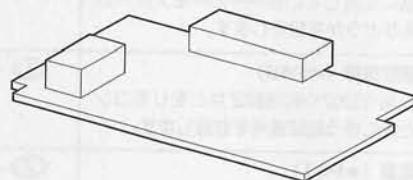
C-CDH <H/C>



■ドアホンユニット

ドアホンおよびカラーカメラドアホンを主電話機に接続する
ために必要なオプション装置です。ドアホンを最大2台まで接続できます。

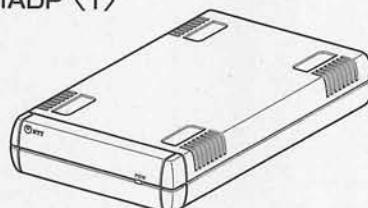
AX-DHCU-B <1>



■映像アダプタ

カラー表示付留守番電話機、パソコンおよび携帯電話にカラーカメラドアホンからの映像を映し出すことができます。
インターネット接続環境が整っていれば、来客があったときに来客情報をパソコンや携帯電話にメールでお知らせすることができます。

AX-VIADP <1>



お知らせ

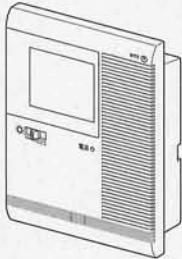


- カラーカメラドアホン、ドアホンは合わせて2台まで接続できます。

■カラーカメラドアホン用モニタ

カラーディスプレイに来客の方の映像を表示し、相手の方を見ながら内線電話機でお話しをすることができます。

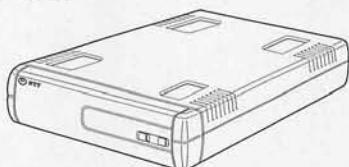
C-MTV <>



■カラーカメラドアホン用テレビアダプタ

一般的のテレビを接続し、テレビ画面およびカラー表示付留守番電話機にカラーカメラドアホンからの映像を映し出すことができます。

C-TVADP



■アナログコードレス電話機

■アナログコードレスホン接続装置

アナログコードレスホン接続装置を使うと、内線電話機としてアナログコードレス電話機を増設することができます。

ABS-ACL-PS <1> <W/K>



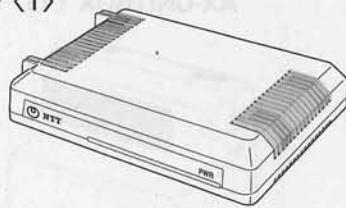
ABS-ACL-BCS <1> <W/K>



■電話機アダプタ

現在お使いの電話機を内線電話機としてお使いいただけます。また、ファクスを接続してお使いいただくこともできます。

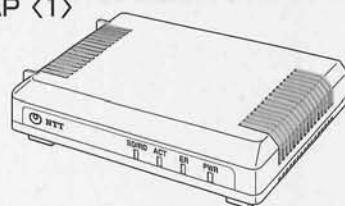
ABS-BSLAP <1>



■パソコンアダプタ

パソコンアダプタを接続すると、内線でパソコンを使用することができて、インターネットなどにアクセスすることができます。

ABS-BPCAP <1>



■デジタルコードレス電話機

■デジタルコードレスホン接続装置

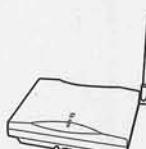
デジタルコードレスホン接続装置を使うと、内線電話機としてデジタルコードレス電話機を増設することができます。また、デジタルコードレスホン接続装置には、当社のデジタルコードレス電話機を接続してお使いいただけます。ネットコミュニティシステム AX と接続している場合は、ネットコミュニティシステム αGX デジタルシステムコードレス電話機取扱説明書に記載されている表示のしかたと異なる場合があります。

接続できる機種については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

GX-DCL-PS- <1> <K>



GX-DCL-B <1> CS- <1> <>

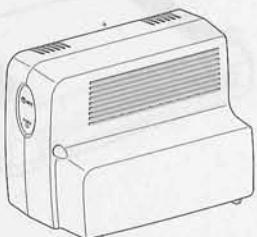


ご利用になれるオプション装置

■ユニットボックス

主電話機に接続してユニットボックス内にIPブロードバンドルータユニットを装着すると、VoIP回線をご利用いただけます。

AX-UNITBOX <1>



■IPブロードバンドルータユニット

IP網を利用して、内線電話機からIP電話をご利用することができます（本ユニットはユニットボックスに装着されますので、ユニットボックスが必要です）。

■IP電話用アダプタ

IP電話用アダプタは、内線電話機に直接接続するためのアダプタです。IP電話用アダプタは、内線電話機とIP電話機との間で音声信号を変換する機能を持っています。また、IP電話用アダプタは、内線電話機とIP電話機との間で音声信号を変換する機能を持っています。また、IP電話用アダプタは、内線電話機とIP電話機との間で音声信号を変換する機能を持っています。

IP電話用アダプタは、内線電話機とIP電話機との間で音声信号を変換する機能を持っています。

IP電話用アダプタは、内線電話機とIP電話機との間で音声信号を変換する機能を持っています。



■二子端子式オーディオ端子

二子端子式オーディオ端子は、内線電話機と外線電話機との間で音声信号を交換するための端子です。

C-AUT-2



■セーフティードライバードイツ式端子

セーフティードライバードイツ式端子は、内線電話機と外線電話機との間で音声信号を交換するための端子です。

C-AUT-3



■音源端子

音源端子は、内線電話機と外線電話機との間で音声信号を交換するための端子です。

C-AUT-1/C-AUT-2/C-AUT-3

VGA-ADP-008 <1> QWIK

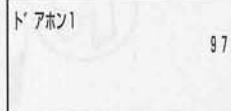


ドアホンとお話しするには

ドアホン（オプション）およびドアホンユニット（オプション）を接続しているときは、どの電話機でもドアホンからの呼び出しに応えたり、ドアホンの周囲の音を聞いたりすることができます。カラーカメラドアホン（オプション）、ドアホンユニット（オプション）およびカラーカメラドアホン用テレビアダプタ（オプション）、映像アダプタ（オプション）またはカラーカメラドアホン用モニタ（オプション）を接続しているときは、カラー表示付留守番電話機を使って相手の方の映像を見ながらお話しできます。

ドアホンからの呼び出しに応答する

- 1 ドアホンからの呼び出しがあると、ドアホンのチャイム音が2回鳴り、ランプが点滅する。
ドアホンからの呼び出しであることが表示されます。



ドアホンを2台接続したときは、チャイム音が異なります。

ドアホン1:「ピーンボーン」
(ゆっくりとしたチャイム音)
ドアホン2:「ピンポン ピンポン」(速いチャイム音)

- 2 ハンドセットを取りあげて、お話しをする。



- 3 お話し終わったら、ハンドセットを置く。



ワンポイント

- カラーカメラドアホンで周囲の音を聞いているときは
ハンドセットを取りあげて、ドアホン番号を押してから、約8分間周囲の音を聞くことができます。
- ドアホンを2台設置しているときは
1台のドアホン側の方とお話し中、もう1台のドアホンから呼び出されてもチャイム音は鳴りません。
- ドアホンの名前を変更するには
「ドアホン1」「ドアホン2」と設定されている名前を変更することができます。（☞P80）



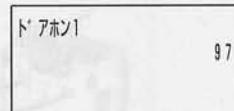
- ▶ 内線でお話し中にドアホンからの呼び出しに応答するには（☞P89）
- ▶ 外線でお話し中にドアホンからの呼び出しに応答するには（☞P89）

ドアホンの周囲の音を聞く

- 1 ハンドセットを取りあげる。
「ブーブーブー…」という音を確認してください。



- 2 ドアホン番号（⑨ ⑦ または ⑨ ⑧）を押す。
ドアホンの周囲の音が聞こえます。ドアホン側の方とお話しすることもできます。



ドアホン1: ⑨ ⑦
ドアホン2: ⑨ ⑧

ドアホンとお話しするには
ご利用になれるオプション装置



お知らせ

- システム設定により、どの内線電話機をドアホンから呼び出すか指定することができます。指定した内線電話機以外ではチャイム音が鳴りません。（☞P111）
- ドアホンからの呼び出しに応答するときは、チャイム音が鳴り始めてから約20秒以内に行ってください。この時間を超えると、ハンドセットを取りあげても応答することはできません。
- ドアホンの呼び出しをワンタッチボタンに登録することができます。（☞P79）
- カラーカメラドアホンとのお話しは約8分間で自動的に切れます。
- ドアホンとお話しをするときには、ハンズフリー通話の機能はご利用いただけません。

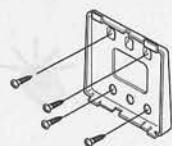
付属品／添付品をご利用になるには

その他のオプションをご利用になるには

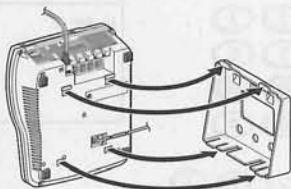
オプションの壁掛け用品をご利用いただくと、電話機を壁に掛けてお使いいただけます。

■電話機を壁に取り付ける

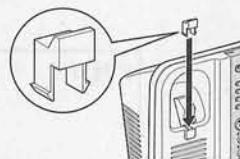
- 壁掛け用品をネジで壁に取り付けます。



- 電話機を壁掛け用品に取り付けます。
上側のツメをはじめに差し込み、次に下のツメを指で
上にたわませながら差し込みます。



- 壁掛け用品に添付されているハンドセット受けを
電話機に取り付けます。



注意

ご使用になる前に、確実に取り付け
られているか確認してください。薄
いベニヤ板や柔らかい壁などに取り
付けると、重みでネジが抜けて電話
機が落下し、故障やけがの原因とな
ることがあります。

付属品をご利用になるには

■ワンタッチダイヤルカードを使う

- 本体の右上にあるノブに指をかけて電話機パネル
を手ではすします。



- ワンタッチダイヤルカードをセットして、電話機
パネルの下側のツメを電話機に差しこみます。

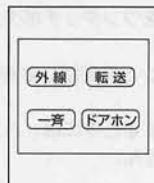


- ワンタッチダイヤルカードを取りだし、ワンタッ
チダイヤルに登録した相手先を記入します。

- 電話機パネルをたわませながら、上側のツメを電
話機に差し込みます。



- ワンタッチボタンに「外線」「転送」などを登録し
ているときは、ワンタッチダイヤルカードに電話
機用シールを貼りつけます。



システム設定するとご利用になれる機能

主電話機からお客様が登録・設定できる機能のほか、システム設置時にあらかじめシステム設定で登録・設定しておく機能があります。システム設定すると、次の機能をご利用いただけます。システム設定するときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

保留・転送

■ハンドセットから保留メロディが聞こえないようにする（保留音受話）

通常は、外の相手の方とのお話しを保留したとき、ハンドセットから保留メロディが流れますが、保留メロディが聞こえず、内線発信音が倍の速さの音で聞こえるように設定することができます。

■長時間保留にした場合、回線を自動的に切断する時間を設定する（保留切断タイマ登録）

④ ボタンを押してから、システム設定した時間が経過すると、電話が切れるように設定することができます。ただし、共通設定で「警報音送出タイマ」(→P99) を「0」以上で設定している必要です。

VoIP通話

■VoIP回線収容

ユニットボックス（オプション）にIPプロードバンドルータユニット（オプション）を装着すると、IP網を利用してIP電話を利用することができます。また、ワンタッチボタンに外線を割り付け、外線3、外線4として使用することができます。

VoIP回線で規制している電話番号（110、119など）を外線1または外線2を使用して発信することができます。ま

た、「VoIP規制解除番号」(→P97) に電話番号を登録することで、VoIP回線（外線3または外線4）を使用して発信することができます。ご利用できない電話番号に発信を行うと「ブツブツ…」という音が聞こえる場合があります。このときは外線1または外線2でかけ直してください。（ネットコミュニティシステム αGX IPプロードバンドルータユニット取扱説明書を参照してください。）

アナログ2回線利用

■アナログ2回線利用

主電話機にはアナログ回線の差込口を2つ搭載しています。アナログ回線を2回線ご利用になります。アナログ回線を追加する場合は、別途当社との利用契約（有料）が必要です。

ドアホン

■指定した内線電話機のみ、ドアホンから呼び出すようにする（ドアホン鳴動電話機設定）

ドアホンから呼び出すことができる内線電話機を指定することができます。指定した内線電話機以外ではチャイム音が鳴りません。

システム設定するとご利用になれる機能
付属品／添付品をご利用になるには

パソコンからの登録・設定について

ユニットボックス（オプション）を接続することで主電話機への登録・設定および電話帳登録は、ネットワーク上のパソコンからブラウザソフトを使っても行うことができます。日本語で表示されますが画面にしたがって各種データの設定を行います。パソコンから登録・設定を行う場合、ブラウザから主装置にログインし、メインメニューから設定するメニューを選択します。

主装置にログインする

パソコンから主電話機の登録・設定を行うには主装置にログインする必要があります。
画面にしたがってログインしてください。お買い求め時はパスワードは登録されていません。

- 1** パソコンのブラウザを起動する。
- 2** ブラウザソフトの「アドレス」に「<http://IPアドレス/user>」を入力し、[Enter] キーを押す。
認証画面が表示されます。
- 3** パスワードを入力する。
- 4** 「OK」ボタンをクリックする。
「OK」ボタンをクリックして、主装置にログインしてください。メインメニューが表示されます。

登録・設定作業を行う

■設定方法

本商品の各種設定は、メインメニューから行います。
メインメニューからは次の3つのメニューに進むことができます。

・設定メニュー

「設定メニュー」からは、「ユーザ設定メニュー」と「電話帳登録メニュー」を設定します。

「ユーザ設定メニュー」では「共通設定」と「個別設定」とに分かれています。「共通設定」は、すべての電話機に共通する設定を行うことができます。また、「個別設定」では各内線電話機の設定を行うことができます。

「電話帳登録メニュー」では共通電話帳と個別電話帳を登録することができます。また、電話帳に登録している内容をデータとしてパソコンに保存することができます。

・プログラムバージョンアップ

主装置のプログラムをダウンロードして、最新のものにバージョンアップするときに使います。

・再起動

主装置のプログラムをバージョンアップしたあとに、このメニューを選択して、再起動します。バージョンアップしたプログラムを起動して、主装置を最新の状態にします。



お知らせ

- 主装置のパスワードは以下の方法で初期化できます。
 - ① 主電話機の ボタンを押す。
 - ② ② ⑦ ③ を押します。
 - ③ ダイヤルボタンで「15357595#」を入力する。
パスワードが初期化（なし）されます。
- 主装置IPアドレスを忘れてしまった場合は、各内線電話機から確認してください。パスワードを忘れた場合は、各内線電話機から初期化してください。
- ブラウザ画面が正しく表示されない場合など、ブラウザソフトのJavaScriptの設定が有効になっているかご確認ください。
- ブラウザソフトのキャッシュが有効になっていると、最新のデータが表示されない場合があります、そのときはブラウザソフトの「更新」ボタンにより表示し直してください。
- ウィルス監視ソフトが動作していると、設定画面が完全に表示されないことがあります。この場合はウィルス監視ソフトを停止してから設定を行ってください。
- 表示される画面は、使用するブラウザにより多少異なります。
- 2台以上のパソコンから同時にデータ設定を行わないでください。
- 電話機からメニューの登録・設定作業を行っているときは、パソコンからのメニューの登録・設定作業や電話帳からのダウンロード・アップロードは行わないでください。データが正常に反映されない場合があります。



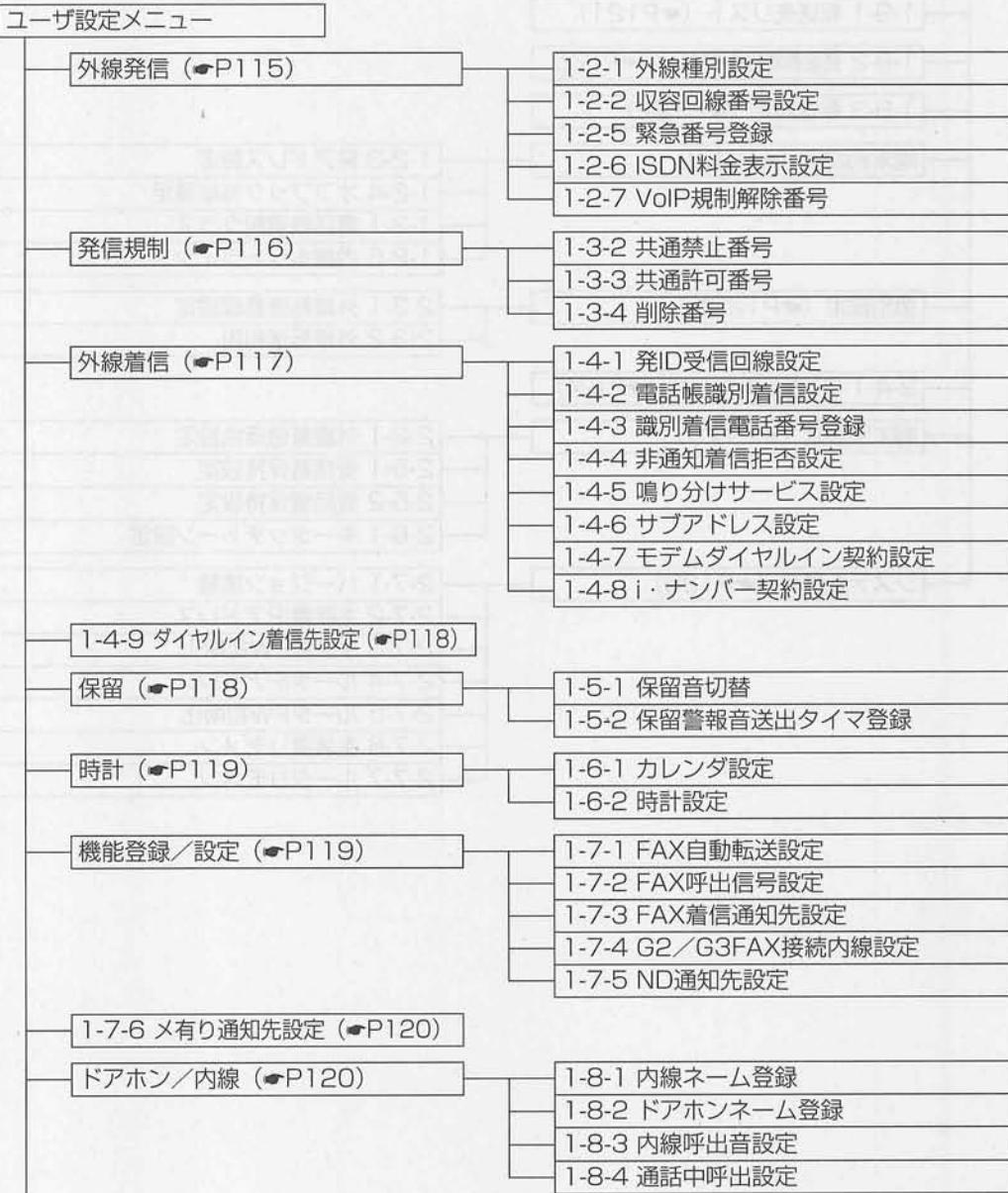
お知らせ

- 使用するブラウザは以下のものを推奨します。
Microsoft® Internet Explorer 6.0 (SP1) 以上
- 主装置のIPアドレスとサブネットマスクは以下の方法で確認できます。
 - ① 各内線電話機の ボタンを押す。
 - ② ② ⑦ ② を押す。
主装置のIPアドレスが表示されます。
 - ③ ボタンを押す。
主装置のサブネットマスクが表示されます。
- ユーザ名は入力しないでください。入力した場合、ログインできません。
- お買い求め時は、パスワードは設定されていません。
- 認証画面で「パスワードを保存する」のチェックボックスをチェックしても、入力したパスワードはパソコンに保存されません。次回、主装置にログインする場合は再度パスワードを入力する必要があります。

ユーザ設定を行う

各種ユーザ設定を行います。

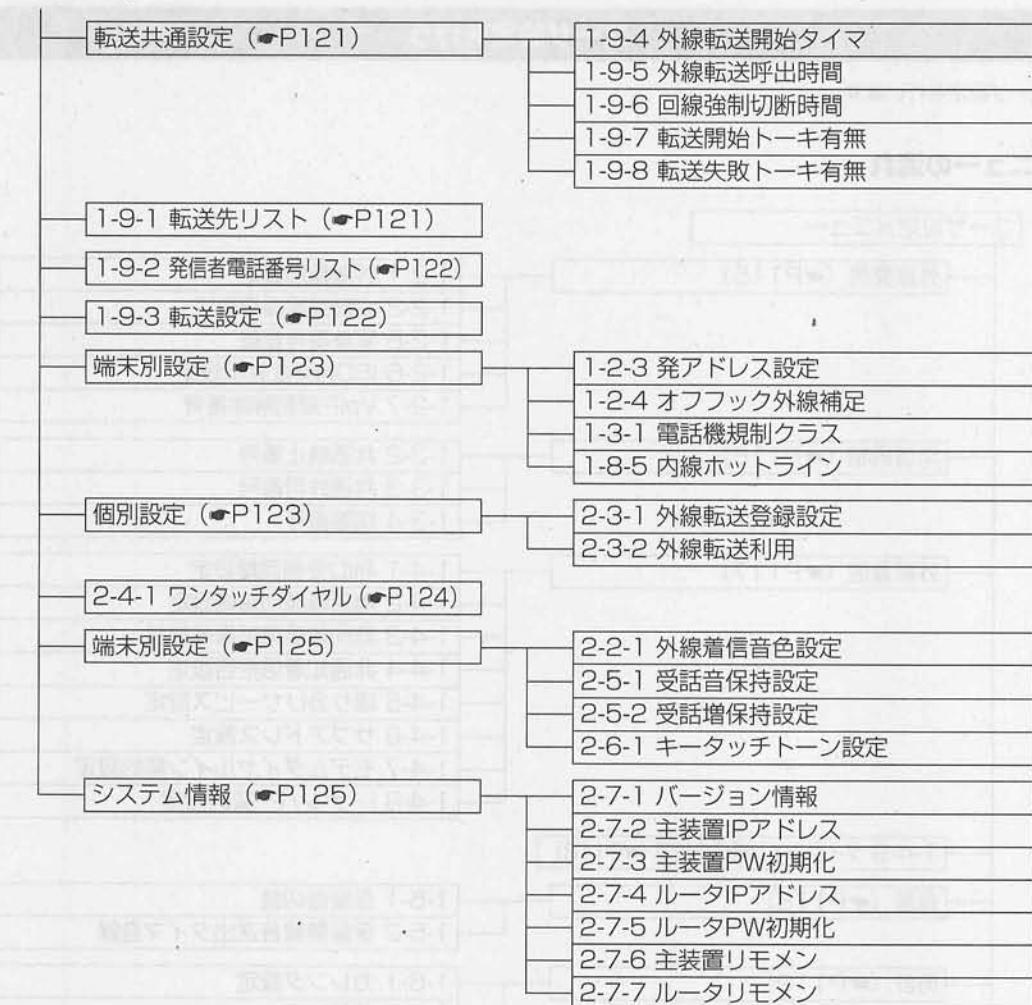
■メニューの流れ



(次ページにつづく)

パソコンからの登録・設定について

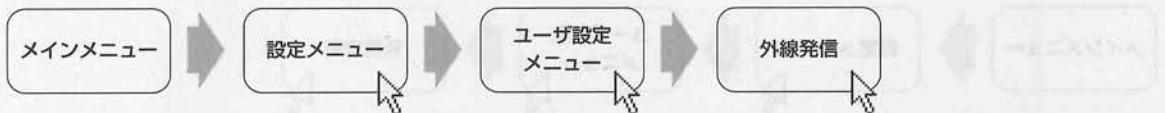
(前ページのつづき)



■外線発信（共通設定）

外線発信の設定を行います。

「外線発信」画面を表示するには、ユーザ設定メニューの「外信発信」をクリックします。



名称	説明	設定範囲	初期設定
外線種別設定 (外線1、2)	電話回線の種別を設定します。	DP (1OPPS) / DP (2OPPS) / PB / ISDN	PB
収容回線番号設定 (外線1~4)	外線番号を登録します。外線3、4が設定できるのはVoIP回線収容時だけです。	最大32文字（半角文字） (0~9、*、#)	-
緊急番号登録 (1~10)	ある特定の電話番号を緊急番号として登録します。緊急番号に電話をかけて、いったん電話を切ったあと、緊急番号から電話がかかってきたときすべての電話で着信音が鳴ります。	最大6文字（半角文字） (0~9、*、#)	110、119、118
ISDN料金表示設定*1	ISDN回線ご利用時、通話終了時の通話料金が通知されるサービスを利用して、料金を表示させるように設定します。	あり／なし	あり
VoIP規制解除番号*2 (1~10)	VoIP回線で規制している電話番号を解除します。	最大5文字（半角文字） (0~9、*、#)	184、186

*1 : ISDN回線ご利用時のみ有効

*2 : VoIP回線ご利用時のみ有効



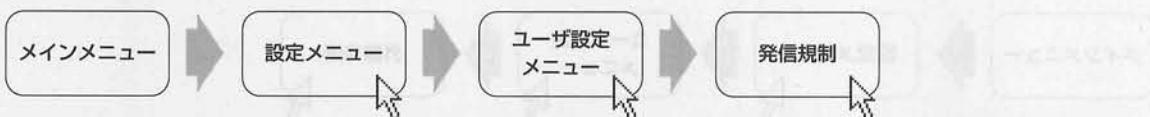
お知らせ

- ISDN回線をご利用時に、「外線種別設定」で「DP (1OPPS)」、「DP (2OPPS)」または「PB」を設定した場合、設定操作は正常に終了しますが、設定されません。ISDN回線をご利用の場合は、「ISDN」を選択してください。
- アナログ回線をご利用時に、「外線種別設定」で「ISDN」を設定した場合、設定操作は正常に終了しますが、設定されません。アナログ回線をご利用の場合は、ご利用の回線種別に合わせて「DP (1OPPS)」、「DP (2OPPS)」または「PB」を選択してください。また、外線1の「外線種別設定」は、「DP / PB切替スイッチ」の設定が優先されます。（☞P18）
- 「ISDN料金表示設定」はISDN回線をご利用時の設定項目です。アナログ回線をご利用時に設定しても料金表示は行いません。
- 内線または外線使用中に「外線種別設定」を行うと、設定したデータが反映されません。または、「外線種別設定」以降の設定も反映されません。

■発信規制（共通設定）

発信規制の設定を行います。

「発信規制」画面を表示するには、ユーザ設定メニューの「発信規制」をクリックします。

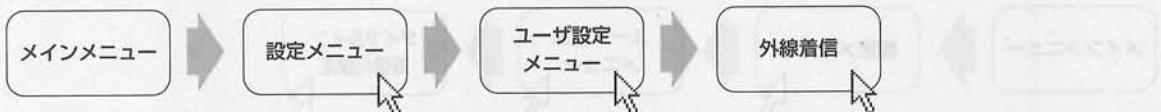


名称	説明	設定範囲	初期設定
共通禁止番号 (1~10)	特定の電話番号への発信を規制します。ダイヤルQ2や遠距離市外局番など特定の電話番号を登録し、その番号へは内線電話機から電話をかけられないように設定します。	最大32文字（半角文字） (0~9、*、#)	—
共通許可番号 (1~10)	特定の電話番号への発信を許可します。	最大32文字（半角文字） (0~9、*、#)	—
削除番号 (1~10)	184、186、122は削除番号として登録されています。削除番号を登録しているとき、削除番号のあとに共通禁止番号をダイヤルしても、共通禁止番号には電話をかけられません。（☞P65）	最大6文字（半角文字） (0~9、*、#)	184、186、122

■外線着信（共通設定）

外線着信の設定を行います。

「外線着信」画面を表示するには、ユーザ設定メニューの「外線着信」をクリックします。



名称	説明	設定範囲	初期設定
発ID受信回線設定*1	ナンバー・ディスプレイを表示する外線を設定します。	外線1／外線2	外線1・2
電話帳識別着信設定	外線が着信すると電話帳との照合を行い、電話帳の登録されている電話番号からの着信であれば、電話帳に登録されている情報(名前など)を表示するかどうかを設定します。	あり／なし	あり
識別着信電話番号登録（1～10）	識別着信機能を使う相手の電話番号を設定します。	最大32文字（半角文字） (0～9, *, #)	—
非通知着信拒否設定	「非通知」とした外線からの着信の場合、応答メッセージで応対し、通話を拒否するかどうかを設定します。	あり／なし	なし
鳴り分けサービス設定	なりわけサービスの有無を設定します。	あり／なし	なし
サブアドレス設定	サブアドレスを設定します。	あり／なし	なし
モデムダイヤルイン契約設定*1	モデムダイヤルインの契約の有無を設定します。	外線1／外線2	—
i・ナンバー契約設定*2	INSネットサービスのi・ナンバーサービス（有料）をご契約されているときに設定します。	あり／なし	なし

*1：アナログ回線ご利用時のみ有効

*2：ISDN回線ご利用時のみ有効



お知らせ

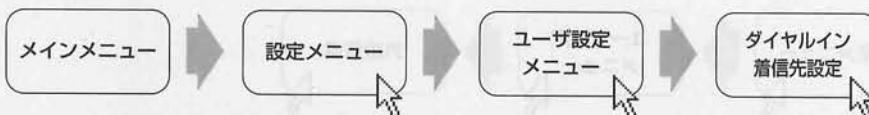
- 「発ID受信回線設定」はアナログ回線をご利用時の設定項目です。ISDN回線／VoIP回線をご利用時に設定されても無効です。
- 「モデムダイヤルイン契約設定」はアナログ回線をご利用時の設定項目です。ISDN回線／VoIP回線をご利用時に設定されても無効です。
- 「i・ナンバー契約設定」はISDN回線をご利用時の設定項目です。アナログ回線をご利用時に設定されても無効です。

パソコンからの登録・設定について

■ダイヤルイン着信先設定（共通設定）

ダイヤルイン着信先の設定を行います。（最大10件）

「ダイヤルイン着信先設定」画面を表示するには、ユーザ設定メニューの「ダイヤルイン着信先設定」をクリックします。

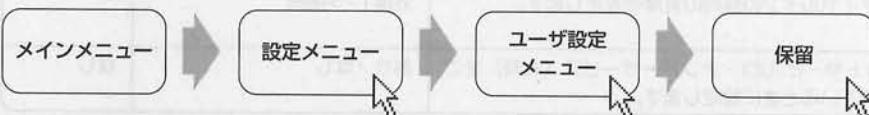


名称	説明	設定範囲	初期設定
電話番号	i・ナンバーサービス、モデムダイヤルインを使って、着信されたい電話番号を市外局番から設定します。	最大32文字（半角文字） (0~9、*、#)	-
着信回線	着信させたい外線を設定します。	外線1／外線2	-
鳴動端末	着信させたい内線電話機を設定します。	内線1／内線2／内線3／内線4／内線5／内線6／内線7／内線8	-

■保留（共通設定）

保留の設定を行います。

「保留」画面を表示するには、ユーザ設定メニューの「保留」をクリックします。

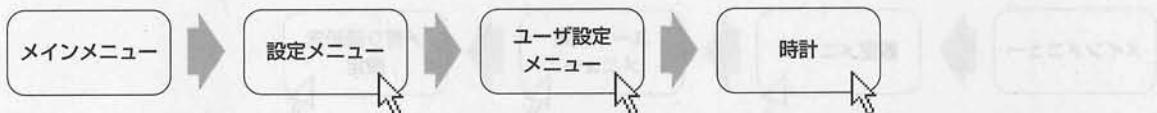


名称	説明	設定範囲	初期設定
保留音切替	保留のときに流れる音楽を設定します。 ・保留1…グリーンスリーブス ・保留2…咲の我が家 ・保留3…カノン ・保留4…Super caltrangilistic expiaidocious ・保留5…TO LOVE YOU MORE ・保留6…春の歌 ・保留7…主よ人の望みの喜びよ ・保留8…メヌエット	保留1／保留2／保留3／保留4／保留5／保留6／保留7／保留8	保留1
保留警報音送出タイム登録	保留の状態を長時間続いている場合、警報音をスピーカーから鳴らすことができます。警報音を鳴らすまでの保留の時間（秒）を設定します。	0~255（半角文字）	0

■時計（共通設定）

時計の設定を行います。

「時計」画面を表示するには、ユーザ設定メニューの「時計」をクリックします。

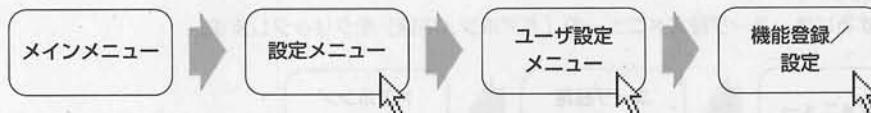


名称	説明	設定範囲	初期設定
カレンダ設定	現在の日付を西暦・月・日で設定します。	2003年1月1日～ 2095年12月31日	2003年 1月1日
時計設定	現在の時刻を24時間制で設定します。	00:00～23:59	—

■機能登録／設定（共通設定）

機能の登録、設定を行います。

「機能登録／設定」画面を表示するには、ユーザ設定メニューの「機能登録／設定」画面をクリックします。



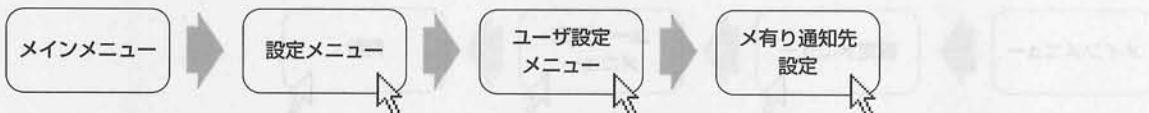
名称	説明	設定範囲	初期設定
FAX自動転送設定	外線ファクス着信に電話機が応答したとき、自動で電話機アダプタに接続されているファクス（内線ファクス）を呼び出すかどうかを設定します。	あり／なし	なし
FAX呼出信号設定	電話機アダプタに接続されているファクス（内線ファクス）への呼出信号を設定します。	16／1300 (Hz)	16
FAX着信通知先設定	電話機アダプタに接続されているファクス（内線ファクス）に受信したことを通知する内線電話機を設定します。	内線1／内線2／内線3／内線4／内線5／内線6／内線7／内線8	—
G2／G3FAX接続内線設定	ファクスが接続されている電話機アダプタの内線番号を設定します。	内線1／内線2／内線3／内線4／内線5／内線6／内線7／内線8	—
ND通知先設定	ナンバー・ディスプレイを表示する内線電話機を設定します。	内線1／内線2／内線3／内線4／内線5／内線6／内線7／内線8	—

パソコンからの登録・設定について

■メ有り通知先設定（共通設定）

メ有り通知先の設定を行います。（最大5件）

「メ有り通知先設定」画面を表示するには、ユーザ設定メニューの「メ有り通知先設定」をクリックします。



名称	説明	設定範囲	初期設定
電話番号	メッセージ到着お知らせサービスを通知する電話番号を設定します。	最大32文字（半角文字） (0~9、*、#)	-
着信端末	通知先に使う内線電話機を設定します。	内線1／内線2／内線3／内線4／内線5／内線6／内線7／内線8	-

■ドアホン／内線（共通設定）

ドアホン／内線の設定を行います。

「ドアホン／内線」画面を表示するには、ユーザ設定メニューの「ドアホン／内線」をクリックします。



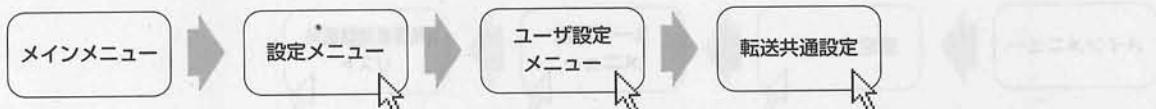
名称	説明	設定範囲	初期設定
内線ネーム登録	内線電話機の名称を登録します。	最大8文字（全角文字）*	内線1：内線1 内線8：内線8
ドアホンネーム登録	ドアホンの名称を登録します。	最大8文字（全角文字）*	ドアホン1： ドアホン1、 ドアホン2： ドアホン2
内線呼出音設定	内線電話機の呼出音を音声、トーン信号のどちらにするかを設定します。	音声／トーン	音声
通話中呼出設定	内線電話機が内線通話中でも着信音を鳴らすかどうかを設定します。	あり／なし	あり

* 名称の入力は「ボタンと文字の対応表」(P36) を参考にして登録してください。（ギリシャ文字、ギリシャ数字、丸数字などは電話機のディスプレイでは正しく表示されない場合があります）

■転送共通設定（共通設定）

転送の共通設定を行います。

「転送共通設定」画面を表示するには、ユーザ設定メニューの「転送共通設定」をクリックします。



名称	説明	設定範囲	初期設定
外線転送開始タイム	未応答時の転送開始時間を設定します。	0~255 (秒)	30
外線転送呼出時間	外線転送先の呼出時間を設定します。この時間を超えた場合は「外線転送リスト」に登録している次の転送先電話番号へ発信されます。	10~255 (秒)	60
回線強制切断時間	転送開始後、設定した時間を経過すると回線を切断します。「0」の場合は、回線は切断されません。	0~255 (分)	30
転送開始トーキ有無	転送を開始するときに「転送を開始します」という音声を出すかどうかを設定します。	あり／なし	なし
転送失敗トーキ有無	「外線転送呼出時間」が経過しても外線転送先の応答がない場合に、「応答がないため切断します」という音声を出すかどうかを設定します。	あり／なし	なし

■転送先リスト（共通設定）

転送先リストの設定を行います。

「転送先リスト」画面を表示するには、ユーザ設定メニューの「転送先リスト」をクリックします。

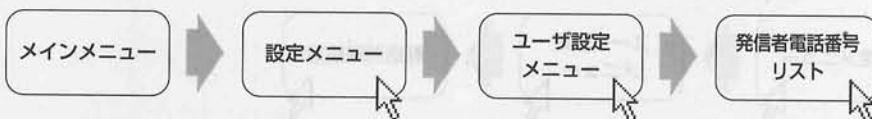


名称	説明	設定範囲	初期設定
テーブル	登録するテーブルを選択します。	1/2/3/4/5	-
転送先電話番号 (1~3)	外線転送先の電話番号を登録します。	最大32文字 (半角文字) (0~9、*、#)	-

■発信者電話番号リスト（共通設定）

発信者電話番号リストの設定を行います。

「発信者電話番号リスト」画面を表示するには、ユーザ設定メニューの「発信者電話番号リスト」をクリックします。

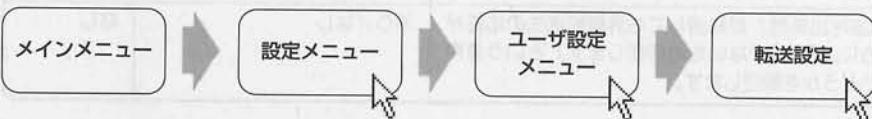


名称	説明	設定範囲	初期設定
テーブル	登録するテーブルを選択します。	1/2/3/4/5	-
発信者電話番号 (1~10)	発信者の電話番号で転送を行う電話番号を登録します。	最大32文字（半角文字） (0~9、*、#)	-

■転送設定（共通設定）

転送設定を行います。（最大5件）

「転送設定」画面を表示するには、ユーザ設定メニューの「転送設定」をクリックします。

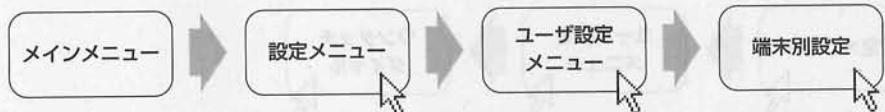


名称	説明	設定範囲	初期設定
条件選択	条件を選択します。	着信回線／着信DI	着信回線
着信外線（「着信回線」選択時）	着信外線を選択します。	外線1／外線2／外線3／外線4	-
着信ダイヤルイン番号（「着信DI」選択時）	着信ダイヤルイン番号を設定します。	最大32文字（半角文字） (0~9、*、#)	-
発信者テーブル番号	発信者電話番号リストのテーブル番号を選択します。	なし／テーブル1／テーブル2／テーブル3／テーブル4／テーブル5	なし
転送先テーブル番号	転送先リストのテーブル番号を選択します。	なし／テーブル1／テーブル2／テーブル3／テーブル4／テーブル5	なし
転送発信外線	転送発信外線を選択します。	外線1／外線2／外線3／外線4	-
転送時内線呼出	転送時に内線を呼び出すかどうかを設定します。	あり／なし	あり

■端末別設定（共通設定）

端末ごとの設定を行います。

「端末別設定」画面を表示するには、ユーザ設定メニューの「端末別設定」をクリックします。



名称	説明	設定範囲	初期設定
端末	設定する内線電話機を選択します。	内線1／内線2／内線3／内線4／内線5／内線6／内線7／内線8	内線1
発アドレス設定*1 (外線1～4)	発アドレスを設定します。	最大32文字（半角文字） (0～9、*、#)	-
オフフック外線捕 捉	外線ボタンを押さずに、ハンドセットを取りあげただけで外線がかけられるように設定します。	外線1／外線2／外線3／外線4	-
電話機規制クラス	電話機ごとに、外にかけられる範囲を、共通禁止番号、共通許可番号を使って制限することができます。 ・クラス0…共通禁止番号の規制を受けない ・クラス1…共通禁止番号の規制を受ける ・クラス2…内線のみだが、共通許可番号に設定されている番号は発信可能	クラス0／クラス1／クラス2	クラス1
内線ホットライン	ハンドセットを取りあげるか、スピーカボタンを押すだけで呼び出すことができる内線電話機を選択します。	なし／内線1／内線2／内線3／内線4／内線5／内線6／内線7／内線8／一斉呼出	なし

*1: ISDN回線／VoIP回線ご利用時のみ有効



お知らせ

- アナログ回線をご利用時に、「発アドレス設定」を設定しても反映されません。「発アドレス設定」はISDN回線／VoIP回線をご利用時の設定項目です。

■個別設定（個別設定）

個別の設定を行います。

「個別設定」画面を表示するには、ユーザ設定メニューの「個別設定」をクリックします。



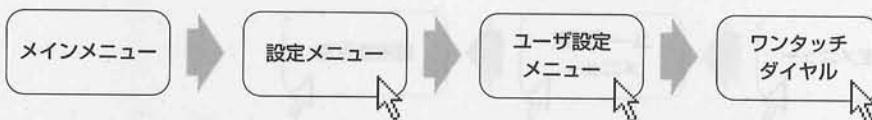
名称	説明	設定範囲	初期設定
外線転送登録設定	主電話機の「共通設定」の「転送設定」で設定した転送設定テーブル番号を選択します。	1／2／3／4／5	-
外線転送利用	外線への転送を行うかどうかを設定します。	あり／なし	なし

パソコンからの登録・設定について

■ワンタッチダイヤル（個別設定）

ワンタッチダイヤルの登録を行います。

「ワンタッチダイヤル」画面を表示するには、ユーザ設定メニューの「ワンタッチダイヤル」をクリックします。



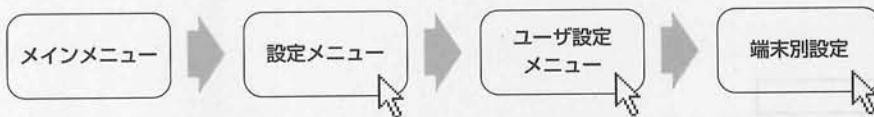
名称	説明	設定範囲	初期設定
端末	設定する内線電話機を選択します。	内線1／内線2／内線3／内線4／内線5／内線6／内線7／内線8	内線1
機能選択	ワンタッチボタンの機能を選択します。	ワンタッチダイヤル／ワンタッチ機能	ワンタッチダイヤル
機能（「ワンタッチダイヤル」選択時）	各電話機別で使用できるワンタッチボタンの発信先を選択します。	なし／外線1／外線2／外線3／外線4／内線／機能	なし
機能（「ワンタッチ機能」選択時）	各電話機別で使用できるワンタッチボタンに内線番号やドアホン呼び出しなどの機能を登録します。	内線呼出1／内線呼出2／内線呼出3／内線呼出4／内線呼出5／内線呼出6／内線呼出7／内線呼出8／ドアホン1呼出／ドアホン2呼出／一斉呼出	内線呼出1
名称（「ワンタッチダイヤル」選択時）	ワンタッチダイヤルの名前を入力します。	最大10文字（全角文字）*	—
電話番号（「ワンタッチダイヤル」選択時）	ワンタッチダイヤルに登録する電話番号を入力します。	最大32文字（半角文字）（0～9、*、#、-）	—

* 名称の入力は「ボタンと文字の対応表」(☞P36) を参考にして登録してください。(ギリシャ文字、ギリシャ数字、丸数字などは電話機のディスプレイでは正しく表示されない場合があります)

■端末別設定（個別設定）

端末ごとの設定を行います。

「端末別設定」を表示するには、ユーザ設定メニューの「端末別設定」をクリックします。

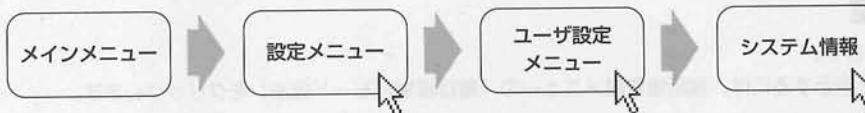


名称	説明	設定範囲	初期設定
端末	個別設定を行う内線電話機を選択します。	内線1／内線2／内線3／内線4／内線5／内線6／内線7／内線8	内線1
外線着信音色設定 (外線1～4)	外線がかかってきたときの着信音を設定します。 ・トーン…トーン ・メロディ1…グリーンスリーブス ・メロディ2…峠の我が家 ・メロディ3…カノン ・メロディ4…華麗なる大円舞曲 ・メロディ5…ハンガリア舞曲第5番 ・メロディ6…春の歌 ・メロディ7…主よ人の望みの喜びよ ・メロディ8…メヌエット	トーン／メロディ1／メロディ2／メロディ3／メロディ4／メロディ5／メロディ6／メロディ7／メロディ8	トーン
受話音保持設定	受話音量を調整したとき、お話しが終わっても調節後の音量レベルのままにするかどうかを設定します。	あり／なし	あり
受話増保持設定	受話増モードで受話音量を調節したとき、お話しが終わっても調節後の音量レベルのままにするかどうかを設定します。	あり／なし	なし
キータッチトーン設定	内線電話機のボタン操作時、短い発信音をスピーカから鳴らすかどうかを設定します。	あり／なし	あり

■システム情報（システム情報）

システム設定の参照および初期化を行います。

「システム情報」画面を表示するには、ユーザ設定メニューの「システム情報」をクリックします。



名称	説明	設定範囲	初期設定
主装置PW初期化 初期化パスワード 入力	主装置のパスワードを初期化します。	15357595	-
ルータPW初期化 初期化パスワード 入力	IPブロードバンドルータユニットのパスワードを初期化します。	15357595	-

電話帳の登録を行う

電話帳の登録を行います。

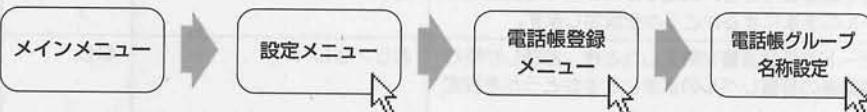
■メニューの流れ**電話帳登録メニュー**

- 1-1-2 電話帳グループ名称設定 (☞P126)
- 1-1-4 電話帳検索モード設定 (☞P126)
- 1-1-1 共通電話帳登録 (☞P127)
- 2-1-1 個別電話帳登録 (☞P128)
- データダウンロード (☞P129)
- データアップロード (☞P129)

■電話帳グループ名称設定

電話帳グループ名称の設定を行います。

「電話帳グループ名称設定」画面を表示するには、電話帳登録メニューの「電話帳グループ名称設定」をクリックします。



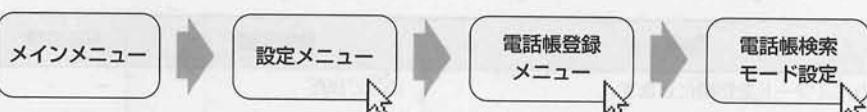
名称	説明	設定範囲	初期設定
グループ名称	共通電話帳、個別電話帳で使うグループ名称を設定します。	最大8文字（全角文字）*	0：グループ 9：グループ

* 名称の入力は「ボタンと文字の対応表」(☞P36) を参考にして登録してください。(ギリシャ文字、ギリシャ数字、丸数字などは電話機のディスプレイでは正しく表示されない場合があります)

■電話帳検索モード設定

電話帳検索モードの設定を行います。

「電話帳検索モード設定」画面を表示するには、電話帳登録メニューの「電話帳検索モード設定」をクリックします。

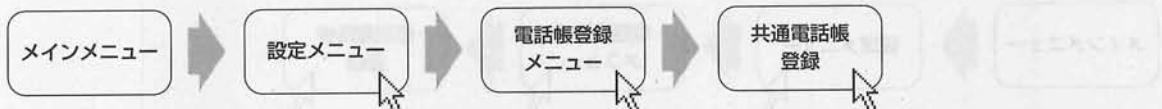


名称	説明	設定範囲	初期設定
検索モード	電話帳ボタンで共通電話帳、個別電話帳を検索する場合、最初に表示される検索モードを設定します。	メモリ番号検索／フリガナ検索／グループ検索	メモリ番号検索

■共通電話帳登録

共通電話帳の登録を行います。(最大300件)

「共通電話帳登録」画面を表示するには、電話帳登録メニューの「共通電話帳登録」をクリックします。



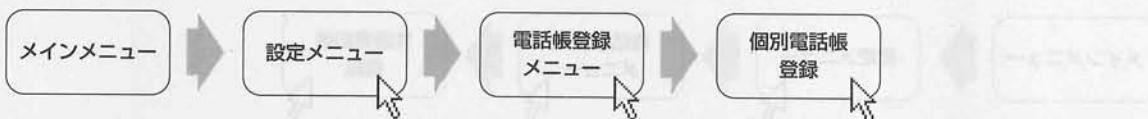
名称	説明	設定範囲	初期設定
電話帳番号	登録する電話帳番号を選択します。	000~009 ↓ 290~299	000~009
グループ	登録するグループを選択します。	グループ0/グループ1/グループ2/グループ3/グループ4/グループ5/グループ6/グループ7/グループ8/グループ9	グループ0
アイコン	登録する電話番号のアイコンを選択します。	0:なし/1:固定電話/2:携帯電話/3:ビル/4:一戸建て/5:代表/6:直通/7:FAX/8:ご飯/9:酒	0:なし
電話番号	登録する電話番号を入力します。	最大32文字(半角文字) (0~9、*、#、-)	-
フリガナ	登録する名称のフリガナを入力します。	最大12文字(全角文字)	-
名称	登録する名称を入力します。	最大10文字(全角文字)*	-

* 名称の入力は「ボタンと文字の対応表」(☞P36) を参考にして登録してください。(ギリシャ文字、ギリシャ数字、丸数字などは電話機のディスプレイでは正しく表示されない場合があります)

■個別電話帳登録

個別電話帳の登録を行います。

「個別電話帳登録」画面は表示するには、電話帳登録メニューの「個別電話帳登録」をクリックします。



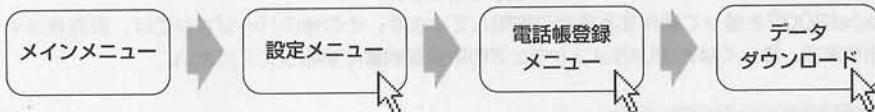
名称	説明	設定範囲	初期設定
端末	電話帳登録を行う内線電話機を選択します。	内線1／内線2／内線3／内線4／内線5／内線6／内線7／内線8	内線1
グループ	登録するグループを選択します。	グループ0／グループ1／グループ2／グループ3／グループ4／グループ5／グループ6／グループ7／グループ8／グループ9	グループ0
アイコン	登録する電話番号のアイコンを選択します。	0：なし／1：固定電話／2：携帯電話／3：ビル／4：一戸建て／5：代表／6：直通／7：FAX／8：ご飯／9：酒	0：なし
電話番号	登録する電話番号を入力します。	最大32文字（半角文字） (0~9、*、#、-)	-
フリガナ	登録する名称のフリガナを入力します。	最大12文字（全角文字）	-
名称	登録する名称を入力します。	最大10文字（全角文字）*	-

* 名称の入力は「ボタンと文字の対応表」(P36) を参考にして登録してください。(ギリシャ文字、ギリシャ数字、丸数字などは電話機のディスプレイでは正しく表示されない場合があります)

■データダウンロード

電話帳データをダウンロードします。

「データダウンロード」画面を表示するには、電話帳登録メニューの「データダウンロード」をクリックします。



登録した電話帳データをパソコンに一括保存することができます。

電話帳データの保存形式はCSV形式のデータです。

電話帳データをダウンロードするには、以下の操作を行います。

- ①「ダウンロード」を右クリックし、表示されたメニューの「対象をファイルに保存」を選択します。
- ②保存先を指定して、「保存」ボタンをクリックします。



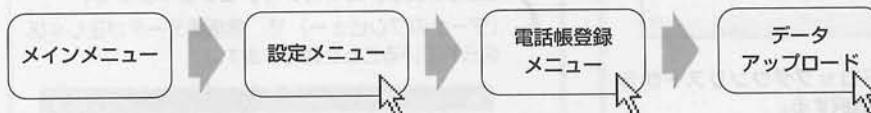
お知らせ

- 保存するときは、ファイルの種類（データフォーマット）を変更しないでください。変更した場合、電話帳データを書き込む（アップロード）ときに正しく設定されません。
- 電話帳データを保存するパソコンには、約5MB程度のハードディスクの空き容量が必要です。
- 電話帳データを保存中に何らかの原因でエラーが発生した場合は、エラー発生前の電話帳データは保存されますが、エラー発生以降の電話帳データは保存されません。
- ダウンロードした電話帳データの順序は、メモリ番号順になります。

■データアップロード

電話帳登録データのアップロードを行います。

「データアップロード」画面を表示するには、電話帳メニューの「データアップロード」をクリックします。



データダウンロードでパソコンに保存した電話帳データを本商品に書き込むことができます。

電話帳データを書き込む（アップロード）には、以下の操作を行います。

- ①「参照」ボタンをクリックし、アップロードするファイルを指定します。
- ②「実行」ボタンをクリックします。



お知らせ

- データダウンロードで保存した電話帳データと異なるデータフォーマットのデータを主装置に書き込みを行った場合、電話帳データが正しく設定されません。
- 電話帳データの書き込み中に何らかの原因でエラーが発生した場合は、エラー発生前の電話帳データは書き込まれますが、エラー発生以降の電話帳データは書き込まれません。
- 電話帳データのダウンロードまたはアップロード中は、電話機の動作が不安定になることがあります。
- アップロード中に電話帳データにエラーが見つかった場合は、「電話帳登録データアップロード失敗」というメッセージが表示されます。エラーがあったデータまではアップロードされますが、エラーがあったデータからはアップロードされません。

ダウンロードした電話帳データをExcelで編集する

パソコンにダウンロードした電話帳データを、Excelで読み込み、追加、修正などを行うことができます。Excelで編集した電話帳データを保存して、主装置の電話帳にアップロードすることができます。

ここでは、Windows XPでExcel2002を使って操作する場合で説明しています。その他のバージョンでは、画面表示や操作方法などが異なる場合があります。詳しくはお使いのソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

電話帳データを読み込む

パソコンにダウンロードした電話帳データをExcelで読み込みます。データダウンロード（P129）するときに「電話帳」という名称で「マイドキュメント」フォルダに電話帳データを保存した場合で説明します。

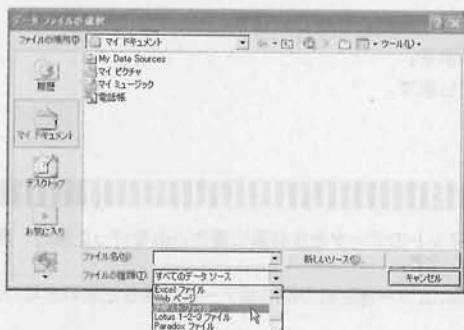
1 Excelを起動する。

2 メニューから【データ】→【外部データの取り込み】→【データの取り込み】を選択する。

【データファイルの選択】が表示されます。



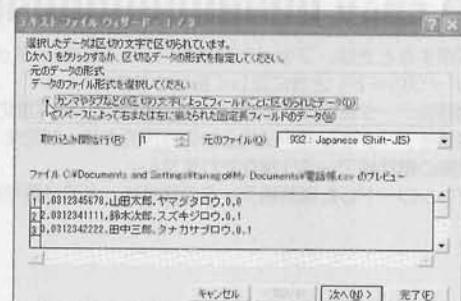
3 【ファイルの種類】のドロップダウンリストから「テキストファイル」を選択する。



4 ダウンロードした電話帳データを選択して【開く】をクリックする。

【テキストファイル ウィザード】が表示されます。

5 【元のデータの形式】の「カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ」をクリックする。



6 【次へ】をクリックする。

7 【区切り文字】の「カンマ」をチェックする。

【データのプレビュー】で、電話帳データが正しく区切られていることを確認します。



8 【次へ】をクリックする。

- 9** [データのプレビュー] で電話帳データの電話番号の部分をクリックして、[列のデータ形式] から「文字列」をクリックする。



- 10** [完了] をクリックする。

[データの取り込み] が表示されます。

- 11** 「既存のワークシート」または「新規ワークシート」のどちらかを選択して、[OK] をクリックする。

- 12** データが正しく取り込まれると、下図のように電話帳データが表示される。

データを編集します。データを追加する場合は「電話帳データにデータを追加する」(☞P132) を、データを保存する場合は「電話帳データを保存する」(☞P133) を参照してください。

	A1	B1	C1	D1	E1	F1	G1	H1	I1	J1
1	030312345678	山田太郎	ヤマダタロウ	0						
2	030312344444	山木次郎	ヤマキジロウ	0						
3	030312342222	田中三郎	タカハシサロウ	0						
4	400012343333	佐藤四郎	ソウタケイチ	0						
5	500012344444	佐藤五郎	ソウタケゴウ	0						
6	600012345555	井藤六郎	ヨウタケロウ	0						
7	700012346666	加藤七郎	カタケンセイ	0						
8	800012347777	山田正子	ヤマダマサコ	1.1						
9	900012348888	山田良子	ヤマダラコ	0						
10	100012349999	山田香子	ヤマダカコ	1.0						
11	200012340000	道辺弘	ワカヘヒロ	1.4						
12	300012341111	道辺義	ワカヘイ	1.3						
13	400012342222	道辺和	ワカヘハ	1.5						
14	300012340000	山本花子	ヤマモトハナコ	2.1						
15	300012341111	山口和子	ワカガハナコ	2.4						
16	304012344444	加藤由美子	カタケンミコ	2.0						
17										
18										
19										
20										

ワンポイント

● 電話帳データの形式とは

データダウンロードした電話帳データの形式は、次のようになります。

10.0312345678,山田太郎,ヤマダタロウ,0,1
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥

①メモリ番号：半角数字1桁～3桁（0～379）

②電話番号：半角数字と *、#、' が入力可能。ただし、' は最初に入力できません。32桁まで

③名前：全角10文字、半角20文字まで

④フリガナ：半角カタカナ、半角英字・数字12文字まで

⑤アイコン番号：半角数字1桁（0～9）

⑥グループ番号：半角数字1桁（0～9）

● メモリ番号について

メモリ番号は、電話機では3桁の数字で表示されます。ただし、ダウンロードした電話帳データでは、最初の「0」は削除されます。たとえば、メモリ番号「003」をダウンロードすると、「3」となってダウンロードされます。そのため、最初の「0」をとった数字でメモリ番号を入力してください。

● 個別電話帳のメモリ番号について

内線電話機ごとに登録した個別電話帳のメモリ番号は、「300～309」の3桁の数字で各内線電話機に表示されます。ただし、電話帳のデータをダウンロードした場合、個別電話帳のメモリ番号は内線電話機別に次のようにになります。

内線番号	内線電話機で登録したメモリ番号	ダウンロードしたときのメモリ番号
内線1	300～309	300～309
内線2		310～319
内線3		320～329
内線4		330～339
内線5		340～349
内線6		350～359
内線7		360～369
内線8		370～379

たとえば、内線番号8の個別電話帳のメモリ番号「309」に登録した電話帳のデータは、ダウンロードした場合は「379」と表示されます。

・内線番号8で表示されるデータ

309 グループ1
山田太郎
0312345678
ヤマダタロウ

・ダウンロードしたデータ
379,0312345678,山田太郎,ヤマダタロウ,0,1

パソコンからの登録・設定について

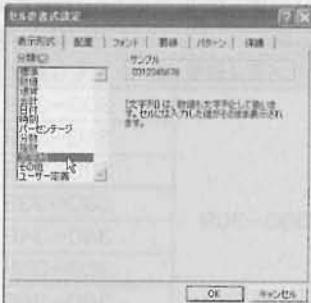
電話帳データにデータを追加する

Excelに読み込んだ電話帳データにデータを追加する場合は、最初に以下の操作を行ってから追加してください。この操作を行なわないと、電話番号を入力するときの最初の「0」がExcelで正しく認識されません。

- 1 電話番号の列を選択し、右クリックする。
- 2 表示されるメニューから「セルの書式設定」をクリックする。



- 3 [セルの書式設定] が表示され、[表示形式] の [分類] から「文字列」をクリックする。



- 4 [OK] をクリックする。
- 以上の操作で、電話番号の最初の「0」がExcelで正しく認識できるようになります。



ワンポイント

- 電話番号を入力するとき
半角数字と半角の「*」、「#」、「_」を32桁まで入力できます。ただし、最初に「_」は入力しないでください。
ボーズを入力するときは「_」を入力します。
- 入力できる文字数などの制限
入力できる文字数の制限などは35ページを参照してください。また、ギリシャ文字、ギリシャ数字、丸数字などは電話機のディスプレイでは正しく表示されない場合があります。



お知らせ

- 電話帳を編集する場合、次のことに注意してください。
電話帳データをアップロードするときは、すでにある電話帳に上書きされます。
そのため、電話帳のデータを1件または複数件、削除してアップロードしても、主電話機に保存されているデータは削除されません。電話帳のデータを削除する場合は、電話機で行うかパソコンのメニュー設定で行ってください。

また、電話帳データをアップロードするときは、上書きされるため、以下のようにデータが重複してしまうことがあります。

以下の3件を登録している電話帳のデータを例に説明します。フリガナやアイコンなどのデータは説明のため省略しています。

メモリ番号	名前	電話番号
001	山田	0312345678
002	鈴木	0312341111
003	佐藤	0312342222

Excelでメモリ番号001(1)の山田さんのデータをメモリ番号004(4)に変更するとExcelでは次のように表示されます。

4	山田	0312345678
2	鈴木	0312341111
3	佐藤	0312342222

このデータを保存して、電話帳データとしてアップロードするときのようになります。

001	山田	0312345678
002	鈴木	0312341111
003	佐藤	0312342222
004	山田	0312345678

以上のように、データが重複してしまいます。電話機やパソコンのメニュー設定から、重複したデータを削除してください。

電話帳データを保存する

Excelで編集したデータを保存します。すでにExcelが起動し、Excelで編集した電話帳データを「電話帳」という名称で保存する場合で説明します。

1 メニューから【ファイル】→【名前を付けて保存】を選択する。

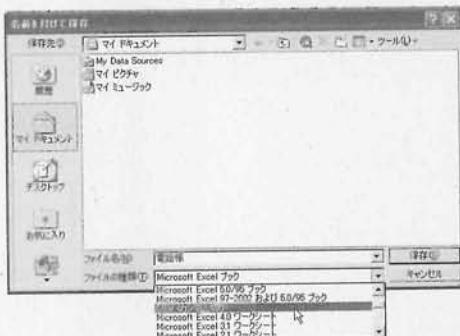
【名前を付けて保存】が表示されます。



2 保存先を指定する。

ファイル名を変更して保存する場合は、【ファイル名】に新しいファイル名を入力します。

3 【ファイルの種類】のドロップダウンリストから【CSV (カンマ区切り)】を選択する。



4 【保存】をクリックする。

すでに同じファイル名で同じ場所に保存している場合は、既存のファイルを置き換えるかどうかのメッセージが表示されます。

上書きする場合は【はい】をクリックします。上書きせずに保存する場合は【いいえ】をクリックしてファイル名を変更し、【保存】をクリックします。

5 「選択したファイルの種類は複数のシートを含むブックをサポートしていません。」というメッセージが表示されたら【OK】をクリックする。

6 「電話帳.csvには、CSV (カンマ区切り) と互換性のない機能が含まれている可能性があります。この形式でブックを保存しますか?」というメッセージが表示されたら【はい】をクリックする。



7 指定した場所に電話帳データが保存される。

保存されたデータの形式は、ダウンロードしたデータと同じ形式になります。

保存したデータを主装置の電話帳に書きこむ場合は、データアップロード（P129）を行います。

プログラムをバージョンアップする

主装置は、最新のプログラムをダウンロードしてバージョンアップすることができます。プログラムをパソコンに用意し、パソコンからの操作でバージョンアップを行います。



■バージョンアップの手順

- 1 最新のプログラムファイルを用意し、パソコンに新しいフォルダを作成して保存しておく。
- 2 データ設定画面の「プログラムバージョンアップ」をクリックする。
- 3 「参照」ボタンをクリックし、ダウンロードしたいプログラムを指定する。
- 4 「送信開始」ボタンをクリックする。
主装置にプログラムの転送を開始します。転送はネットワークの状況によって、しばらく時間を必要とする場合があります。
- 5 転送が正常に完了したら、「メインメニューへ戻る」ボタンをクリックする。
メインメニューの画面が表示されます。
- 6 次の「再起動を行う」を参照して、プログラムを再起動する。
プログラムの書き換えが実行され、正常に書き換えられると新しいプログラムで動作するようになります。



お知らせ

- プログラムの転送中および更新中は、絶対に以下の操作をしないでください。故障の原因となることがあります。
 - ・主電話機の電源を切る。
 - ・主装置を再起動する。
 - ・ユニットボックスとの接続コードを外す。
 - ・パソコンの電源を切る。
- プログラムをバージョンアップして、再起動しても、それまで主装置に登録・設定した内容は書き換えられません。
- バージョンアップにかかる時間は約20分です。(使用するパソコンの環境によって変わります。)

再起動を行う

主装置のプログラムをダウンロードしたあとに再起動を行うことで、バージョンアップしたプログラムで起動することができます。



- 1 メインメニューで「再起動」をクリックする。
再起動の確認画面が表示されます。

- 2 「OK」ボタンをクリックする。
主装置が再起動します。

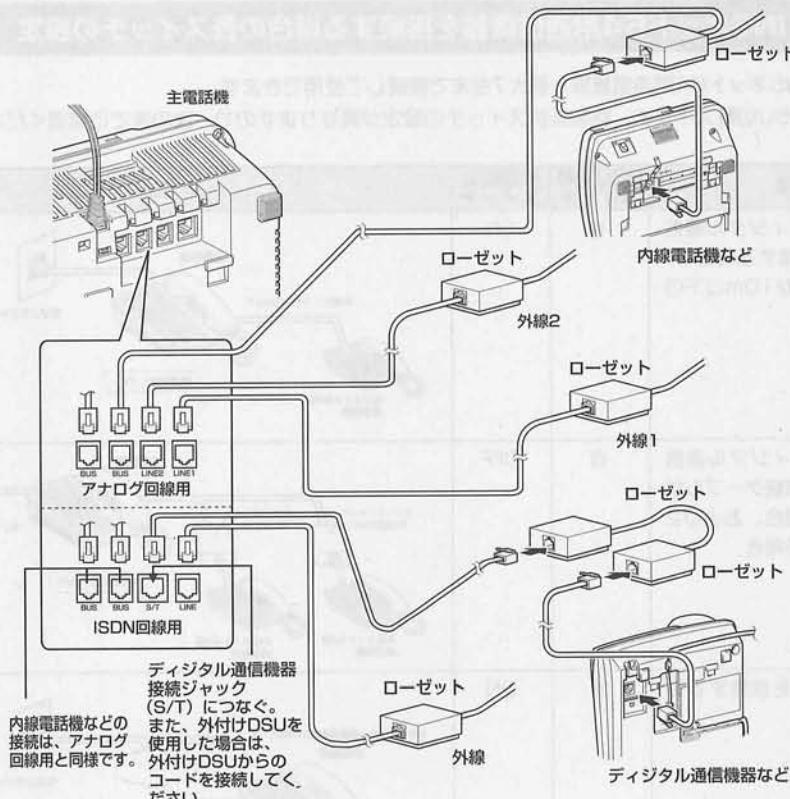


お知らせ

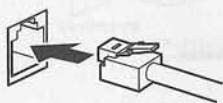
- 再起動は、電話機が何も動作(通話など)を行っていないときに操作してください。
- 再起動にかかる時間は、約1分です。

設置と接続について

最初に設置される場合、内線電話機を増設されたり移設される場合は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。内線電話機とローゼットは、電話機コードで接続されていますが、お手入れするときなど、コードを外されて再度接続するときは、間違えないようにご注意ください。

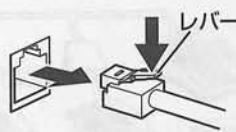


- ハンドセットコードや電話機コードを差し込むとき



「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

- ハンドセットコードや電話機コードを引き抜くとき



レバーを押さえながら引き抜いてください。



ワンポイント

- 内線番号を変更するときは

当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

- 現在お使いの電話機などを接続するには

現在お使いの一般的な電話機、コードレス電話機、留守番電話機、ファクス、モデルなどの接続については、必ず当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。



お知らせ

- 接続する場合、電話機コードを差し込んでから主電話機の電源を入れてください。また、接続し直すときも同様の手順で接続してください。
- 停電時は、ISDN回線用主電話機に接続したディジタル通信機器などは利用できません。
- 外付けDSUを使用する場合は、DSU切替スイッチを必ず「無」に設定してください。

設置と接続について

INSネット64用通信機器を複数台接続する場合、各電話機の接続方法によってDSU切替スイッチ、終端抵抗スイッチの設定が異なります。DSU切替スイッチはモジュラジャックに接続する際の接続方法によってDSU側の接続端子が異なるため、DSU切替スイッチの有無によってDSU側の接続端子が異なる場合があります。

INSネット64用通信機器を接続する場合の各スイッチの設定

本商品のほかに、INSネット64用通信機器を最大7台まで接続して使用できます。

接続方法によってDSU切替スイッチ、終端抵抗スイッチの設定が異なりますので、次の表でご確認ください。

接続方法		DSU切替 スイッチ	終端抵抗 スイッチ	接続図
内蔵DSU	主電話機にデジタル通信機器が1台接続する場合で、接続ケーブルが10m以下の場合	有	ON	<p>主電話機 接続ケーブル10m以下 INSネット64用通信機器 終端抵抗: ON</p>
	主電話機にデジタル通信機器が1台で接続ケーブルが10m以上の場合、および2~7台接続する場合	有	OFF	<p>主電話機 モジュラジャック (終端抵抗付き) モジュラジャック (終端抵抗無し) INSネット64用通信機器 INSネット64用通信機器 終端抵抗: OFF</p>
外付けDSU	主電話機のみを接続する場合	無	ON	<p>INSネット64用通信機器が本商品1台 主電話機 外付けDSU モジュラジャック 終端抵抗: ON</p>
	主電話機がDSUから最遠端の場合	無	ON	<p>本商品をDSUから見て最遠端に接続 主電話機 モジュラジャック (終端抵抗無し) モジュラジャック (終端抵抗無し) INSネット64用通信機器 INSネット64用通信機器 終端抵抗: ON</p>
	主電話機がDSUから最遠端でない場合	無	OFF	<p>本商品をDSUから見て最遠端でない位置に接続 外付けDSU モジュラジャック (終端抵抗付き) モジュラジャック (終端抵抗無し) 主電話機 モジュラジャック (終端抵抗無し) INSネット64用通信機器 INSネット64用通信機器 終端抵抗: OFF</p>

※ モジュラジャックの有無は、接続のしかたによって異なります。

停電になったときは

停電時は、留守番機能やナンバー・ディスプレイを利用した機能はご利用いただけません。また、停電中は、すべての内線電話機のランプとディスプレイの表示が消えます。主電話機では、電話をかけたり、受けたりすることはできますが、ダイヤルボタン以外のボタンを押して利用することはできません。

●停電時には以下のことご注意ください

停電になったとき	主電話機	外の相手の方とお話し中	ISDN回線用主電話機では電話は切れます アナログ回線用主電話機では電話は切れる場合があります
		スピーカ受話中	電話は切れます
		内線やドアホンとのお話し中	電話は切れます
停電中	アナログ回線留守番停電電話機	外の相手の方とお話し中	外線1でお話し中の場合は切れます 外線2でお話し中の場合はお話しを続けることができます
		保留中	電話は切れます
		スピーカ受話中	電話は切れます
		内線やドアホンとのお話し中	電話は切れます
停電中	主電話機以外の内線電話機	外の相手の方とお話し中	電話は切れます
		スピーカ受話中	電話は切れます
		内線やドアホンとのお話し中	電話は切れます
停電中	主電話機 またはアナログ回線留守番停電電話機	電話をかけるには	ハンドセットを取りあげてから、ダイヤルボタンを押してかけてください
		電話がかかってきたときは	ハンドセットを取りあげてお話ししてください
		電話がかかってきたときは (ナンバー・ディスプレイをご利用のとき)	応答時に「ビュッ」という音が聞こえることがあります。この場合は一度電話を切って、再度着信音が聞こえてから応答すると、相手の方とお話しできます
		内線やドアホンとのお話しは	内線やドアホンとのお話しはできません
停電中	主電話機および、アナログ回線留守番停電電話機以外の内線電話機	電話をかけるには	電話はかけられません
		電話がかかってきたときは	着信音が鳴らず、電話は受けられません
		内線やドアホンとのお話しは	内線やドアホンとのお話しはできません



お知らせ

- 停電中は、カレンダ・時計表示は消えますが、設定内容はそのままです。
- 停電中の着信音は、通常時とは異なります。
- 内線電話機として留守番停電電話機が接続されても停電時には、発信や着信など、すべての機能をご利用いただくことができません。
- 停電中に主電話機を使ってお話ししているときに停電が復旧すると電話は切れます。また、アナログ回線用留守番停電電話機でお話ししているときは、電話は切れません。

こんな音がしたら

●こんな音がしたら

	音	こんなときに…	音の意味
電話をかける 受ける	ブーブーブー… (内線発信音)	ハンドセットを取りあげたとき、または  ボタンを押したとき	他の内線電話機を呼び出します
	ツー (外線発信音)	 ボタンを押したとき	電話をかけられます
	ブーッブーッ… (話中音)	電話をかけた相手の方がお話し中のとき、または他の内線電話機が使用中のとき	お話し中です
	ブルルル… (外線着信音) *1 *2	外の相手の方から電話がかかってきたとき	電話がかかってきています
	ブルル… (話中外線着信音)	内線でお話し中に外の相手の方から電話がかかってきたとき	電話がかかってきています
	ビルルル… (停電時着信音)	停電中に外の相手の方から電話がかかってきたとき	電話がかかってきています
	ブルルルッブルルルッ… (CES、PBX着信音)	CES(事業所集団電話)やPBX(構内交換機)の内線から電話がかかってきたとき	CES(事業所集団電話)やPBX(構内交換機)の内線から電話がかかってきています
	ブブップブッ… (内線呼出音)	他の内線電話機を呼び出しているとき、または呼び出されているとき	他の内線電話機を呼び出しているか、呼び出されています
	ピーピー… (保留警報音)	保留の状態が続いたとき	保留状態が続いています
登録設定	ピー (登録確認音)	登録を受け付けたとき	登録されました
	ビビビビビ (登録エラー音)	登録に誤りがあるとき	登録エラーがありました
その他	ピーーンボーン (ドアホン1チャイム音)	ドアホン1から呼び出されたとき	ドアホン1から呼び出されています
	ピンポン、ピンポン (ドアホン2チャイム音)	ドアホン2から呼び出されたとき	ドアホン2から呼び出されています
	ピッ (キータッチトーン)	ボタンを押したとき	ボタンが押されました
	メロディ (保留音) *1	電話を保留したとき	電話が保留されています
	(外線着信音) *1	外の相手の方から電話がかかってきたとき	電話がかかってきています

*1 設定によりメロディや音を切り替えることができます。(→P98、102)

*2 モデムダイヤルイン、i・ナンバー契約時に鳴動指定を1台のみに登録した場合、着信音は通常の着信音と異なります。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、修理に出す前に次の点をご確認ください。

●電話機（電話をかける／受ける）

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
全部の内線電話機が使えない	主電話機の電源コードが抜けている	電源コードを正しく接続してください	――
	主電話機とローゼットが接続されていない	主電話機とローゼットを正しく接続してください	☞P135
一部の内線電話機が使えない	主電話機の電源コードが抜けている	電源コードを正しく接続してください	――
	主電話機または他の内線電話機の電話機コードが抜けている	電話機コードを正しく接続してください	☞P135
ダイヤルできない	共通禁止番号が設定されている	故障ではありません	☞P97
着信音が鳴らない	着信音が鳴らないように設定されている	故障ではありません	――
	着信音量が「切」になっている	着信音量を「大」「中」「小」のどれかにしてください	☞P83
「ツー」という発信音が聞こえない	他の内線電話機が使用している	他の内線電話機のお話しが終わってからかけ直してください	――
共通電話帳が登録できない	主電話機以外の内線電話機から行っている	主電話機で登録してください	☞P32
	33桁以上の電話番号を登録しようとしている	32桁までの電話番号を登録してください	☞P32
個別電話帳が登録できない	33桁以上の電話番号を登録しようとしている	32桁までの電話番号を登録してください	☞P32
カレンダ・時計が設定できない	主電話機以外の内線電話機から行っている	主電話機で設定してください	☞P24
内線で呼び出すと「ブーッブーッ…」という音が聞こえ、呼び出せない	相手の電話機がお話し中	故障ではありません	☞P39
	内線番号が違う	内線番号を確認してください	――
内線で呼び出すと他の内線電話機の呼出音が鳴る	内線番号が違う	内線番号を確認してください	――
ディスプレイに「受話器はずれ」と表示される	スピーカ受話またはハンズフリー通話終了後、またはボタンを押していない	いったんハンドセットを取りあげてから、置き直してください	――
停電時に電話をかけられない	主電話機以外の内線電話機を使っている	主電話機でかけてください	☞P137
外線ランプが使用中表示（赤点灯）していて使えない	他の内線電話機が使用している	故障ではありません	――
	外線の極性が反転している	当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください	――

故障かな?と思ったら
こんな音がしたら

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理に出す前に次の点をご確認ください。

●電話機（留守番機能）

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
留守をセット／解除ができない	通話中もしくは着信中	通話を終えるか、着信が終わるまでお待ちください	☞P43、44
応答メッセージ1で留守セットできない	応答メッセージ1が録音されていない（応答1ランプが消えている）	応答メッセージ1を録音してください	☞P46
	停電のため	故障ではありません	☞P137
留守をセットしたとき、応答メッセージが聞こえない	応答メッセージを録音するとき、無音で録音した	もう一度録音をやり直してください 応答メッセージ（無音）を消去し再度録音をやり直してください	☞P46
	スピーカ音量が小さくなっている	スピーカ音量を調節してください	☞P83
応答メッセージ2で留守をセットできない	応答メッセージ2が録音されていない（応答2ランプが消えている）	応答メッセージ2を録音してください	☞P46
	留守をセットしたあと、応答メッセージ2を再生しなかった	留守をセットしたあとで、応答メッセージ2を再生してください	☞P43
	停電のため	故障ではありません	☞P137
応答メッセージを録音／再生／消去できない	通話中もしくは着信中	通話を終えるか、着信が終わるまでお待ちください	_____
留守中に応答しない	停電のため	故障ではありません	☞P137
内蔵の応答専用メッセージに変わる	録音エリアが満杯なため	録音されている用件を確認して消去してください	☞P45
用件がきちんと録音されない	相手の方の声が小さかったため	故障ではありません	☞P45
	相手の方が最初から約10秒間、何も話さなかったため	故障ではありません。最初から約10秒間、何も話されなかったら録音されずに用件は終了します	☞P45
	回線状態が悪いため	用件が不明瞭に聞こえますが、故障ではありません	_____
	相手の方が何も話さずに電話を切った	故障ではありません	☞P45
用件が録音できない	お話しの途中で録音が満杯になったため	故障ではありません	☞P43
	用件録音時間の設定が「無」（応答専用）に設定されている	設定を変更してください	☞P104
	用件が59件録音されている	録音されている用件を確認してから消去してください	☞P43
用件を再生／消去できない	用件が合計で約15分録音されている	録音されている用件を確認して消去してください	☞P43
	通話中もしくは着信中のため	通話を終えるか、着信が終わるまでお待ちください	_____
	_____	_____	☞P43

(つづき)

こんなときは	原 因	確認してください	参照ページ
留守をセットしていないのに応答する	在宅自動応答を「有り」にしている	応答しないようにするには、在宅自動応答を「無し」にしてください	☞P105
留守を解除したとき用件の件数がスピーカから流れない	スピーカ音量が小さくなっている	スピーカ音量を調節してください	☞P83
応答するまでの着信音の回数が違う	トールセイバに設定されている	留守応答着信回数の設定を変更してください	☞P104
留守転送しない	転送先の電話番号が登録されていない	転送先の電話番号を登録してください	☞P54
	転送をセットしていない(ディスプレイに「留守転送」の文字が表示されていない)	転送をセットしてください	☞P54
	転送先がお話し中のため	故障ではありません	☞P54
	転送先で電話に出なかったため	故障ではありません	☞P54
	用件がきちんと録音されていない	故障ではありません	☞P45
	用件が満杯になっていて、録音されていない	録音されている用件を再生して消去してください	☞P45
	留守にセットしていない	留守にセットしてください	☞P43
転送されてきた用件を聞けない	転送先の電話でプッシュ信号を送ることができない	プッシュ信号を送ることのできる電話機を転送先にしてください	☞P47
留守モニタができない	留守モニタを「無し」に設定している	留守モニタを「有り」に設定してください	☞P81、105
用件がすぐ満杯になる	アキュムレート録音を「有り」に設定している	アキュムレート録音を「無し」に設定してください	☞P104

●リモコン操作

こんなときは	原 因	確認してください	参照ページ
外出先からのリモコン操作ができない	リモート暗証番号が登録されていない	リモート暗証番号を登録してください	☞P48
	プッシュ信号の出せる電話機で操作していない	プッシュ信号の出せる電話機で操作してください	☞P47
	リモート暗証番号を間違って押した	正しいリモート暗証番号を押してください	☞P87
	最初の④ボタンが認識されない	最初の④ボタンを応答メッセージが止まるまで長めに押してください	☞P49
	携帯電話を使って操作した	音声の再生が終わってから操作してください	☞P49

アルファベット

CES（事業所集団電話）	27
DI着信先設定	98
DP/PB切替スイッチ	18
DSU切替スイッチ	18、136
Excelで電話帳データを編集する	130
FAX自動転送設定	99、119
FAX着信通知先設定	99、119
FAX呼出信号設定	99、119
G2/G3FAX接続内線	99、119
INSナンバー・ディスプレイ	60、63
INSナンバー・リクエスト	60
INSネーム・ディスプレイ	60
INSネット64通信機器を接続する	136
INSネットサービス	60
INSボイスワープ	60、77
INSマジックボックス	60
INSメッセージ到着お知らせサービス	60
IPアドレス	112
IPブロードバンドルータユニット	12、108
ISDN回線	26
ISDN料金表示設定	97、115
i・ナンバー	60、66
i・ナンバーサービス	66
i・ナンバー設定	98、117
設定する	61
設定例	62
Lモード	67、68
ND通知先設定	99、119
PBX（構内交換機）	26、27
VoIP回線	26
VoIP規制解除番号	97、115

五十音

【ア行】

アイコン	34、56
アキュムレート録音	42、104
アナログコードレス電話機	13、107
アナログコードレスホン接続装置	13、107
アンサーテークバック	59
暗証スキップ	105
暗証スキップ電話番号	87
一斉呼出	39
居留守応答	81
いろいろな機能を登録・設定するには	
共通設定	96
個別設定	102
留守設定	104
映像アダプタ	12、106
応答1ボタン	16
応答1ランプ	20
応答2ボタン	16
応答2ランプ	20
応答回線種別	105
応答専用	41、43
応答専用メッセージ	40

応答メッセージ

外線別に応答メッセージを分ける	87
自作の応答メッセージ	46
内蔵の応答メッセージ	41
お話しをスピーカで聞く	89
お話しを録音する	81
オプション	106
オフック外線捕捉	97、123
オンフックダイヤル	25
音量・電話帳・履歴ボタン	16、17
音量ボタン	23
音量を調節する	83、84

【力行】

外出先から用件を聞く	49、51
回線強制切断時間	101、121
外線コード差込口	19
外線種別設定	96、115
外線着信	27、117
外線着信音ミュート	83
外線着信音色設定	102、125
外線転送開始タイマー	100、121
外線転送登録設定	102、123
外線転送呼出時間	100、121
外線転送利用	102、123
外線発信	25、115
外線別応答メッセージ	104
外線別に応答メッセージを分ける	87
外線ボタン	16、17
外線ランプ	20
かかってきた電話にかけ直す	56
角度調節足	19
各部の名前	
主電話機	16、18、19
標準電話機	17、19
かけてきた方の電話番号を登録する	57
壁に取り付ける	
壁掛け用穴	19
電話機を取り付ける	110
カラーカメラドアホン	13、106
カラーカメラドアホン用テレビアダプタ	107
カラーカメラドアホン用モニタ	107
カラー表示付留守番電話機	12、106
カレンダー設定	24、99、119
キータッチトーン設定	103、125
機能登録/設定	119
機能ボタン	16、17
キヤッヂホンサービス	82
共通許可番号	97、116
共通禁止番号	65、97、116
共通設定	96
共通設定メニュー	90
共通電話帳登録	96、127
緊急番号登録	65、97、115
クリアボタン	16、17
グループで検索する	37
グループ名称設定	96、126
警報音	85
故障かな?と思ったら	139
個人情報の消去	8

個別設定	94、102、123
個別電話帳登録	102、128
こんな音がしたら	138

【サ行】

再起動	134
再ダイヤル	29
在宅自動応答	41、105
削除番号	65、97、116
サブアドレス設定	98、117
サブアドレス通知サービス	60、66
サブアドレスを登録する	86
識別着信電話番号	98、117
自作の応答メッセージを録音する	46
システム構成図	12
システム情報	125
システム設定	111
自動応答	41
シャープボタン	16、17
終端抵抗スイッチ	18、136
収容回線番号設定	96、115
主装置IPアドレス	103
主装置PW初期化	103、125
主装置内蔵電話機	15、16
主装置リモートメンテナンス	103
受話音保持設定	103、125
受話音量を調節する	83
受話口	16、17
受話増機能	84
受話増保持設定	103、125
仕様	155
消去ボタン	16
初期化	8
スターボタン	16、17
スピーカ	16、17
スピーカ音量を調節する	83
スピーカボタン	16、17
スピーカランプ	20
設置と接続	135
設定/決定ボタン	16、17
セレクトボタン	16、17、23
送話口	16、17
外から特定の電話機を呼び出す	66

【タ行】

タイムスタンプ	44、45
ダイヤルインサービス	66
ダイヤルイン着信先設定	118
ダイヤルボタン	16、17、23
ダイレクトリモコン	51
ダイレクトリモコン操作番号	52
対話形式で聞こえる音声	50
対話形式でリモコン操作する	49
端末別設定（共通設定）	123
端末別設定（個別設定）	125
着信音量を切り替える	83
着信外線	122
着信ダイヤルイン番号	122

着信履歴	56、65
着信履歴から電話帳に登録する	57
着信履歴からワンタッチダイヤルに登録する	57
通話中呼出設定	99、120
通話中録音	81
デジタルコードレス電話機	13、107
デジタルコードレスホン接続装置	13、107
デジタル通信機器接続ジャック	19、135
ディスプレイ	16、17
ディスプレイの表示	88
ディスプレイの見かた	21
ディスプレイの文字表示例	22
停電になったとき	137
データアップロード	129
データダウンロード	129
電源コード	18、19
転送	53
転送先で用件を受ける	55
転送先を登録してセットする	54
転送とは	53
転送開始トーキ有無	101、121
転送共通設定	121
転送先テーブル番号	122
転送先リスト	72、100、121
転送失敗トーキ有無	101、121
転送時内線呼出	122
転送設定	73、100、122
転送電話	65、71
INSボイスワープ	77
条件を設定する	73
転送先リスト	72
転送電話とは	71
転送電話をセットする	75
発信者電話番号リスト	72、122
保留中の外線を他の外線電話へ転送する	85
転送発信外線	122
電話がかかってきたとき	27
電話機アダプタ	13、107
電話機規制クラス	97、123
電話機コード差込口	
外線コード差込口	19
内線電話機コード差込口	19
電話機ごとに名前を登録する	80
電話機用シール	15、110
電話帳	
検索する	37
電話帳ボタンから登録する	32
電話帳を使って電話をかける	37
名前の入力	35
フリガナの入力	35
メニューから登録する	33
電話帳グループ名称設定	126
電話帳検索	96、102
電話帳検索モード	96
電話帳検索モード設定	126
電話帳識別着信設定	98、117
電話帳データをExcelで編集する	130

電話帳登録メニュー	126
共通電話帳登録	127
個別電話帳登録	128
データアップロード	129
データダウンロード	129
電話番号にボーズ（待ち時間）を入れて登録する	86
電話番号を確認してからかける	26
電話をかける	25
電話を取りつぐ	38
ドアホン	12, 106
ドアホンとお話しする	109
ドアホン/内線	120
ドアホンネーム登録	99, 120
ドアホンユニット	12, 106
トールセイバ	41, 87
時計	119
時計設定	24, 99, 119

【ナ行】

内線通話	39
内線電話機コード差込口	19
内線ネーム登録	80, 99, 120
内線ボタン	16, 17
内線ホットライン	100, 123
内線呼出音設定	99, 120
内線ランプ	20
内蔵の応答メッセージ	41
長い電話番号をかける	89
名前の入力	35
鳴り分けサービス	98
鳴り分けサービス設定	117
ナンバー・ディスプレイ	63, 65
入力モードの切り替え	36
ネーム・ディスプレイ	64

【ハ行】

バージョンアップ	134
バージョン情報	103
廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意	8
パスワード初期化	112
パソコンアダプタ	13, 107
パソコンからの登録・設定	112
発ID受信回線設定	97, 117
発アドレス設定	96, 123
発信規制	116
発信者氏名登録機能	65
発信者テーブル番号	122
発信者電話番号リスト	72, 100, 122
発信者番号通知サービス	60
発信電話番号着信音設定	65
発信電話番号表示サービス	63
番号でできるリモコン操作	52
番号でリモコン操作する	51
ハンズフリー通話	
外線電話を受ける	59
外線電話をかける	58
内線電話を受ける	59
内線電話をかける	58
ハンドセット	16, 17

置いたまま受ける	59
置いたままかける	25, 58
取りあげてかける	25
ハンドセットコード	16, 17
ハンドセットコード差込口	19
非通知着信拒否設定	98, 117
日付と時刻の設定	24
標準電話機	12, 15
付属品	15, 110
フックスイッチ	16, 17
フックボタン	16, 17
ブッシュホンサービス	82
フリガナで検索する	37
フリガナの入力	35
プリセットダイヤル	26
プログラムのバージョンアップ	134
保守サービスのご案内	156
保留	28, 118
保留音切替	98, 118
保留音受話	111
保留警報音送出タイマ	99, 118
保留切断タイマ登録	111
保留中の外線を他の外線電話に転送する	85
保留転送	38
保留ボタン	16, 17
保留メロディ	28
本体	
主装置内蔵電話機（主電話機）	15
標準電話機	15

【マ行】

マイク	16, 17
マイクボタン	16, 17
マイクランプ	20
マジックボックス	67, 68, 70
ミックスダイヤル	89
メ有り通知先設定	68, 99, 120
メッセージ到着お知らせサービス	67, 68
メニュー	
項目の選択方法	23
メニュー画面での操作	23
メニューの操作	23

メニューの流れ

共通設定	90
個別設定	94
電話帳登録メニュー	126
ユーザ設定メニュー	113
留守設定	95
メニューボタン	16, 17
メモリ番号	32, 33
メモリ番号で検索する	37
モデルダイヤルイン	65
モデルダイヤルイン契約設定	117
モデルダイヤルインサービス	66
モデルダイヤルイン設定	98

【ヤ行】

ユーザ設定	113
外線着信	117

外線発信	115
機能登録/設定	119
個別設定	123
システム情報	125
ダイヤルイン着信先設定	118
端末別設定（共通設定）	123
端末別設定（個別設定）	125
転送共通設定	121
転送先リスト	121
転送設定	122
ドアホン/内線	120
時計	119
発信規制	116
発信者電話番号リスト	122
保留	118
メ有り通知先設定	120
ワンタッチダイヤル	124
ユニットボックス	12、108
ユニットボックスコード差込口	18
用件	
外出先から用件を聞く	49
外出先へ転送する	53
転送先で用件を受ける	55
転送先を登録してセットする	54
用件全消去	104
用件録音時間	104
用件を聞く	45
用件を消去する	45
録音可能時間を確認する	88

【ラ行】

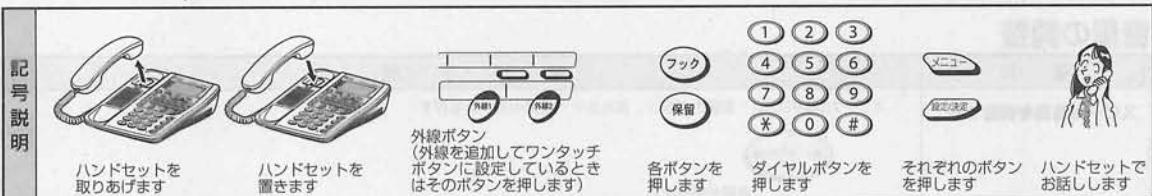
ランプの表記	20
リモート暗証番号	105
リモート暗証番号を消去する	48
リモート暗証番号を登録する	48
リモート暗証番号を変更する	48
リモート暗証番号を間違えたとき	87
リモコンカード	151
リモコン操作	47
ダイレクトリモコン操作番号	52
対話形式でリモコン操作する	49
番号でリモコン操作する（ダイレクトリモコン）	51
リモコン操作でできること	47
リモコン操作で転送電話をセットする	75
履歴を削除する	57
ルータIPアドレス	103
ルータPW初期化	103、125
ルータリモートメンテナンス	103
留守応答着信回数	41、104
留守設定	95、104
留守操作表示ランプ	20
留守操作ボタン	16
留守操作モード	44、45
留守転送	54、105
留守番停電電話機	12、106
留守番電話	
内蔵の応答メッセージ	41
留守番電話の便利な使い方	41

留守番電話を解除する	44
留守番電話をセットする	43
録音可能時間を確認する	88
録音された用件を聞く	45
留守ボタン	16、43、44
留守モニタ	105
留守ランプ	20
ログイン	112
録音可能時間を確認する	88
録音された用件を聞く	45

【ワ行】

ワンタッチ機能登録	103
ワンタッチダイヤル	124
機能を登録する	124
電話番号を登録する	124
内線を登録する	124
ワンタッチダイヤルで電話をかける	31
ワンタッチダイヤルを登録する	30
ワンタッチダイヤル登録	102
ワンタッチボタン	16、17、45
機能を登録する	79
登録できる機能	87
内線番号を登録する	78

(詳しくは、取扱説明書をご覧ください。)



電話をかける／受ける

項目	操作手順					
外へ電話をかける (外線発信)	→ → →	(電話番号)				
サブアドレスを指定してかける (ISDN回線利用時)	→ → → → →	(電話番号)		(サブアドレス)		
ハンドセットを置いたまま電話をかける (オフックダイヤル)	→ →	(電話番号)				
電話番号を確認してから電話をかける (プリセットダイヤル)	→ →	(電話番号)				
同じ相手にかけ直す (再ダイヤル)	→ →	(履歴ボタン)				
ワンタッチダイヤルでかける	→ →	(ワンタッチボタン)				
電話帳ダイヤルでかける	→ →	(電話帳ボタン) (メモリ番号: 共通電話帳) (メモリ番号: 個別電話帳)				
フリガナ、グループ名を検索してかける	→ → → → →	(電話帳ボタン) (フリガナ検索) (グループ検索)	(フリガナを入力) (△: 音量大ボタン) (▽: 音量小ボタン)	(△: 音量大ボタン) (▽: 音量小ボタン)		
電話を受ける (外線着信)	→					
内線でお話しをする	→ →	(内線番号)				

(詳しくは、取扱説明書をご覧ください。)

音量の調整

項目	操作手順
スピーカ音量を調整する	スピーカ受話中に△：音量大ボタン、または▽：音量小ボタンを押す  音量を調整する
着信音量を調整する	ハンドセットを置いたまま△：音量大ボタン、または▽：音量小ボタンを押す  音量を調整する
ハンドセット受話音量を調整する	お話し中に△：音量大ボタン、または▽：音量小ボタンを押す お話し中に△：音量大ボタンを2秒以上押す（受話増幅能）  または  音量を調整する 通常の状態に戻すには▽：音量小ボタンを2秒以上押す

通話中の機能

項目	操作手順
お話し中に相手の方に待っていただく (保留)	お話し中に  →  →  →  → 
電話を取りつぐ (保留転送)	お話し中に  →  (内線番号) →  ~  → 相手がハンドセットを取つて応答したら 
キャッチホンサービスを利用する (アナログ回線利用時)	お話し中にキャッチホンの信号音が聞こえたら →  → かけてきた相手の方とお話しをする  →  → 前の相手の方とお話しをする 
ブッシュホンサービスを利用する (DP→PB切替)	電話がつながったら  → 

(詳しくは、取扱説明書をご覧ください。)

いろいろな登録設定

項目	操作手順
ワンタッチダイヤルに電話番号を登録する	<p>(ワンタッチボタン) メニュー → ② → ④ → ① → [ワンタッチボタン] → 名前を入力する → [設定決定] 1 2 3 4 5 6 (電話番号) → [設定決定] 7 8 9 * 0 #</p>
電話帳に登録する	<p>メニューア -> ① -> ① -> ①: 共通電話帳 * 名前を ② -> ① -> ①: 個別電話帳 → [設定決定] → フリガナを 入力する → [設定決定] → 1 2 3 4 5 6 (電話番号) 7 8 9 * 0 #</p> <p>→ [設定決定] → グループを選択する → [設定決定] → アイコンを選択する → [設定決定]</p> <p>(メモリ番号) → 0 0 0 ~ 2 9 9: 共通電話帳 → [設定決定] 3 0 0 ~ 3 0 9: 個別電話帳</p>
ワンタッチボタンに内線番号を登録する	<p>(ワンタッチボタン) メニュー → ② → ④ → ② → [ワンタッチボタン] → 1 → ① → ① ~ ⑧ → [設定決定] (内線番号)</p>
ワンタッチボタンに機能を登録する	<p>(機能番号) ②: ドアホン呼出 → (ドアホン番号) ③: 一斉呼出 → ①または② → [設定決定] ④: キーパッド送出 ⑤: 受話増 ⑥: 外線転送利用</p> <p>(ワンタッチボタン)</p>
電話機ごとに名前を登録する* (内線ネーム登録)	<p>(内線番号) メニュー → ① → ⑧ → ① → ① ~ ⑧ → [設定決定] → 名前を入力する → [設定決定]</p>

*主電話機からのみ登録できます。

ドアホンをお取り付けのお客様へ

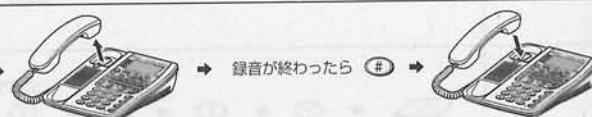
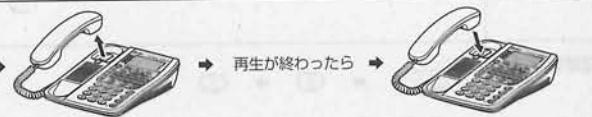
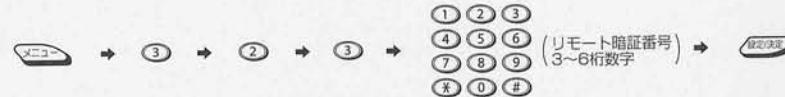
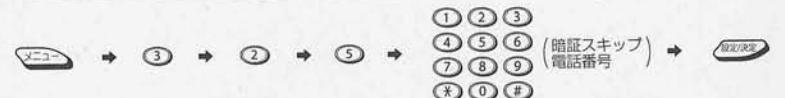
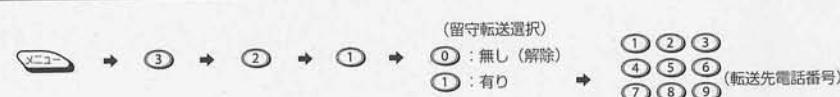
項目	操作手順
ドアホンとお話しをする	<p>ドアホンからの呼び出し → [ドアホン] → [人]</p>
ドアホンの周囲の音を聞く	<p>(ドアホン番号) ⑨ ⑦: ドアホン1 ⑨ ⑧: ドアホン2</p>

(詳しくは、取扱説明書をご覧ください。)

留守番電話として使う

項目	操作手順
留守にセットする／解除する	
用件1件あたりの録音時間を設定する	→ ③ → ① → ② → ①…無(応答専用) ①…1分 ②…2分 ③…3分 ④…4分 ⑤…5分
応答メッセージを外線ごとに設定する	→ ③ → ① → ⑤ → (外線別応答メッセージ選択) ①…無し(解除) ①…有り → 応答2で応答する外線番号を選択 → ①～④
留守応答着信回数を設定する	→ ③ → ① → ③ → ①…トールセイバ ①…1回 ②…2回 ③…3回 ④…4回 ⑤…5回 ⑥…6回 ⑦…7回 ⑧…8回 ⑨…9回
在宅自動応答を設定する	→ ③ → ② → ④ → (在宅自動応答) ①…無し ①…有り
アキュムレート録音を設定する	→ ③ → ① → ④ → (アキュムレート録音) ①…無し ①…有り
用件を再生する	→ → <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">用件をもう一度聞く</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"></div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="margin-right: 10px;">用件をとばして次の用件を聞く</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"></div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="margin-right: 10px;">再生途中で止める</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"></div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="margin-right: 10px;">用件を消去する</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"></div> </div> →

(詳しくは、取扱説明書をご覧ください。)

項目	操作手順
用件を消去する	消去する用件の再生中に 消去
用件をすべて消去する	 または 消去 を押しながら 留守
応答メッセージを録音する	応答1  または 応答2
応答メッセージを再生する	応答1  または 応答2
応答メッセージを消去する	消去  または 応答2
リモート暗証番号を登録する	 1 2 3 4 5 6 7 8 9 * 0 #
暗証スキップ番号を登録する	 1 2 3 4 5 6 7 8 9 * 0 #
用件の転送先電話番号を登録してセットする／解除する	 0 : 無し (解除) 1 : 有り

■リモコンカード

ネットコミュニティ
システム
AX 留守番電話のリモコン操作

この操作は必ずブッシュホン(またはブッシュ信号を送ることのできる電話機)で行ってください。

- ネットコミュニティシステム AXに電話をかけます。
- 応答メッセージが聞こえたら、
 ④、リモート暗証番号(3~6桁) □□□□□□、④ を押します。
 • 最初の④は応答メッセージが止まるまで十分長めに押すか、押し直してください。
 「留守設定は④ ① ④ を、転送設定は④ ② ④ を、どうぞ。」が聞こえ、次に羅白時刻が聞こえます。
 • ④ ① ④ を押すと件数および用件が再生されます。
 再生が終わると「対話形式でリモコンを行う場合は④ ① ④ を、直接リモコンを行う場合は④ ④ ④ を、リモコンを終了する場合は④ ④ ④ を、どうぞ。」が聞こえます。
- 続けて操作するとき
 - 対話形式でリモコン操作する場合は、④ ① ④ を押し、聞こえてくる音声にしたがって、実行なら④ ① ④ 、スキップなら④ ③ ④ を押します。
 - ダイレクトリモコン操作をする場合は、④ ② ④ を押し、裏面のダイレクトリモコン操作一覧をご参照ください。
- 電話を切るときは④ ④ ④ を押します。

(詳しくは、取扱説明書をご覧ください。)

項目	操作手順	
転送先で用件を受ける	転送先電話の ハンドセットを 取りあげる	 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ * ① # (リモート暗証番号) (3~6桁の数字) → ④ → 用件が再生される
通話中にお話しを録音	通話中に	留守操作  お話しを録音する  録音が終わったら
留守モニタを設定する		(留守モニタ)  ③ → ② → ② → ① :無し ① :有り
留守応答する回線を設定する	 (外線着信選択) ① ~ ④ →  (ダイヤルイン着信選択) (内線着信選択)	① :無し → ① :無し ① :有り ① :有り

留守番電話のリモコン操作 ◎

■ダイレクトリモコン操作一覧

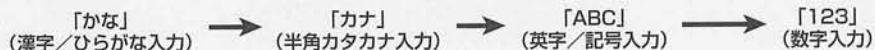
- 用件再生 ② #
- 用件戻し（用件を再生中に） ① #
- 用件送り（用件を再生中に） ③ #
- 用件消去（用件を再生中に） ④ #
- 留守モード解除 ⑤ #
- 動作停止（用件を再生中に） ⑥ #
- 最初の音声に戻る ④ ① #
- リモコン操作終了 ④ ① #

■留守のセットを忘れたら

外出先から電話をかける→着信後50秒経過する→応答専用メッセージが聞こえたら、④、リモート暗証番号、④を押す→設定されている応答メッセージに統いてメニューガイダンスが聞こえる→④ ① #を押して電話を切るか、続けてリモコン操作を行う。

■入力モードの切り替え

文字入力中にセレクトボタン4を押すたびに入力モードが切り替わります。



■ボタンと文字の対応表

入力モード ボタン	全 角		半 角	
	「かな」表示 (漢字／ひらがな入力)	「カナ」表示 (半角カタカナ入力)	「ABC」表示 (英字／記号入力)	「123」 (数字入力)
①	あ い う え お あ い う え お	アイウエオ アイウエオ		1
②	か き く け こ	カキクケコ	A B C a b c	2
③	さ し す せ そ	サシスセソ	D E F d e f	3
④	た ち つ て と っ	タチツテトッ	G H I g h i	4
⑤	な に ぬ ね の	ナニヌネノ	J K L j k l	5
⑥	は ひ ふ へ ほ	ハヒフヘホ	M N O m n o	6
⑦	ま み む め も	マミムメモ	P Q R S p q r s	7
⑧	や ゆ よ や ゆ よ	ヤユヨヤユヨ	T U V t u v	8
⑨	ら り る れ ろ	ラリルレロ	W X Y Z w x y z	9
⑩	わ を ん ー	ワラン・・-	() - _ @ .	0
*	入力行*2 入力中：「*」「#」の入力			*
#				#
△: 音量大ボタン ▽: 音量小ボタン	入力中の文字に対する漢字 変換候補を表示			
履歴ボタン 電話帳ボタン	決定行*1 カーソルの左右移動 入力行*2 変動範囲指定	カーソルの左右移動	カーソルの左右移動	カーソルの左右移動
	決定行*1 登録 入力行*2 選択された漢字変換候補を確定	登録	登録	登録
クリア *3	1文字削除、 または漢字変換キャンセル	1文字削除	1文字削除	1文字削除

*1 決定行：ディスプレイの2行目。確定された文字が表示されます。

*2 入力行：ディスプレイの3行目。漢字変換中またはフリガナ入力中の文字が表示されます。

*3 クリア ボタンを2秒以上押すと入力内容がすべて削除できます。